

松本市

諏訪郡豊田村

(ロ) 昇授 (九)

諏訪郡玉川村

諏訪郡湖東村

諏訪郡米澤村

諏訪郡泉野村

南安曇郡明盛村

埴科郡埴生村

更級郡小島田村

上水内郡大豆島村

上水内郡柳原村

三、乙種彰功旗 (二二)

小縣郡豊里村

下高井郡中野町

諏訪郡落合村

更級郡中津村

下伊那郡飯田町

下高井郡高丘村

西筑摩郡福島町

下高井郡平野村

下高井郡延徳村

上水内郡長沼村

下高井郡往郷村

上水内郡鳥居村

下高井郡瑞穂村

上水内郡古里村

下高井郡上木島村

更級郡上山田村

小縣郡丸子町

小縣郡神川村

上水内郡三水村

更級郡川柳村

小縣郡鹽尻村

上高井郡小布施村

其他

一、本會創立三十五周年記念式及總會

十一月六日本會創立三十五周年記念式を青山憲法記念館に於て開會、當支部村松副長功勞者として表彰せらる。記念式に引續き本會第三十五回總會開會、皇后陛下行啓あらせられ令旨を賜ふ。上諏訪分會は、支部を代表して彰功旗を樹立し表彰せらる。尙諏訪郡長地村分會はリボン授與制度以前の樹立につき本年授與せらる。

二、講習、講演

(イ) 當支部後援にて左記に依り洋裁講習支部廣間に於て開催

期日八月二日より五日間 講師東京音羽裁縫女學院教員

(ロ) 四月一日より十九日迄縣下二十七個所に於て本部派遣中山多可子を聘し滿洲派遣軍慰問の經過其他につき講演會を開く。

(ハ) 十一月二十九、三十日上諏訪町岡谷市及長地村に於て本部派遣薄田講師の講演會開催。

三、松本市分會の日光浴室献納

松本市分會にては、松本衛戍病院に日光浴室献納を企畫し纏に國旗章の街頭頒布、小唄と映畫の夕の催をなす等資金造成に努め一千二百餘圓を得たるに依り、直に師團經理部松本派出所に設計を依頼し、四月九日工事に着手五月廿五日竣工、六月三日衛戍病院娛樂室に於て献納式を舉行せり。

同室は東西二間半、南北二間、娛樂室に隣接して建築せらる(窓硝子は英國製「ヴァイク、グラス」價格約四百圓を使用す)總工費金一千圓を要せり。

四、本會創立三十五周年支部記念事業

イ、本會創立三十五周年記念特別事業資金造成の爲め小額寄附金を募集し、收入總額一千十一圓七十三錢の内支出總額六十一圓三十八錢を差引き金九百五十圓三十五錢を本年度臨時部特別事業資金中へ受入れたり。尙外に金二百四十九圓六錢の寄附金も同様特別事業資金に繰入る。

ロ、映畫會、非營業興業として會員券を發行し一月廿八日長野市より順次各地に於て開催す。映畫は「靖國神社の女神」全十巻其他にして、此映畫會収益金千七百九十七圓三十六錢を特別事業資金に繰入れたり。

以上特別事業資金を以て上山田陸軍轉地療養所及松本衛戍病院に娛樂器具等を献納の計畫なり。

ハ、三月六日地久節當日支部に於て愛國婦人會創立三十五周年記念式に併せて婦人報國祭を舉行せり。

五、佩有功章者數調 昭和十一年十二月末現在、佩有功章者數左の如し。

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 特別有功章 | 一等有功章 | 二等有功章 | 三等有功章 | 計 |
| 一〇 | 一一 | 一五 | 四二 | 一〇一 |
| 附加章 | 附加章 | 附加章 | 附加章 | |
| | | | | 一六七 |
| | | | | 一、五〇五 |
| | | | | 一、八五一 |

六、婦人報國運動

(イ) 愛國貯金

組合數

口數

加入人員

貯金總額

二

五五九

五五九

八五二一圓

(ロ) 國旗章

頒布個數

金額

三、〇〇〇

一二〇圓

(ハ) 選舉肅正運動

選舉肅正ポスター二千枚頒布。

頒布先は主として各分會、學校、諸團體にして一個當り賣價四錢

第八章 日支事變時代

〔昭和十二年〕

會員異動

十二月末 新入會員は總計九千四十二名、内年賦會員八千六百六十九名、一時出金に依る終身會員五百十六名にして現在會員數は特別維持會員二百五十七名、終身會員二萬九千二百九十四名、年賦會員四萬二千四百四十八名、合計七萬一千六百九十八名なり、而して前年に比し七千四百七十九名の増加なり。

軍事後援事業

一、本部の事業對處方針

七月十八日本部は事變に對處する左記方針を樹て之を全國地方支部へ指示せり。

一、今後軍事後援の爲め増大すべき必要の資源に備ふるの要あるに付ては、軍事後援費以外の新規事業は止むを得ざるものゝ外成るべく此の際計畫を見合せ又は計畫の遂行を保留すること。

一、一切の經費に付ても成るべく節約を旨とし、軍事後援の資源に充つる爲之に備ふることを。

一、時局の擴大に伴ひ將來社會事業其他軍事後援に直接必要な事業は止を得ざるに於ては一時之を中止又は縮少改變(軍事後援施設に)するの要あるべく、今より之が計畫順序等を豫め考慮し置くこと。

一、從來相當の經費を要し、而かも其の効果疑はしき施設の如きは此の際を機とし斷然廢止すること。

一、軍事後援上特に必要なるは、應召軍人家族、戰病死者遺族に對する生活の保障なるに付、之に關する迅速機宜の措置を爲すに苟も遲滯なきを期すると共に、之が資源に付豫め十分の考慮を用ひ準備を整へ置くこと。

一、軍事後援に付ては右の外精神的勞力的にも隣保相助の旨趣に依り十全を期し、分會其他を指導すること。
一、前二項の目的を達する爲且應召軍人家族、戰病死者遺族の調査に遲滯又は脱漏なきを期する爲にも此の際速に分會、分區、班、尙ほ成し得るに於ては組(五人又は十人組等の如し)の組織を整ふること、但し止を得ざるに於ては組に付ては、少くとも之に準ずる組織(例へば地域を定め擔當幹事又は委員等を設け、以て其の地域内軍人遺族家族の所在及生活狀態を調査せしむ)を整へ置くこと。

- 一、軍事後援に必要な資源に備ふる爲め勤勞、廢物利用、貯金等其の他に付會員の指導獎勵に意を用ると共に、必要に應じ募集の計畫を遂行すること。
- 一、同一の趣旨に依り従來の會員倍加運動計畫を遂行するは勿論、尙ほ夫れ以上に此の際大に會員の増募を行ふこと。
- 一、右に依るも資源に不足を告ぐる場合は救護、救濟積立金を之に充當すること（將來或は本部の承認を経るを要せざることとなすことあるべきも、夫れ迄は従前の通り取扱ふものとす）
- 一、時局の擴大に伴ひ多數の傷痍軍人を出すは必然なるところ、之が醫療上の施設に付ては軍部に於て萬全の策を講ぜらるべきも、退院後の傷痍軍人に對する措置並に待遇に付豫め適當に考慮し置くこと。
- 一、在滿支將士及び海軍將士に對する慰問の方法に付ても萬全を期し適當に措置すること。
- 一、軍の送迎其の他に付ては従前の方法に準じ機宜の措置を講ずること。
- 一、今後時局の状況に鑑み本部に於て軍器等の獻納其の他施設の計畫を立つる必要ありと認むる場合は本部より之を通牒すべきこと（他方本支部の計畫を阻止するの意にあらず）
- 一、會員に對し防空上の訓練及び應急看護法の講習等を行ふに遺憾なきを期すること。
- 一、此の際特に軍部 官廳、府、縣、市、町、村其の他各關係團體との連絡を力めて緊密になし置くこと。
- 二、七月廿一日附本會より事變對處の軍事扶助につき生活扶助は軍人後援會及愛國婦人會に於て其の全責任を負ふの覺悟を以て之に當らざるべからず云々と通達せらる。
- 三、本部の方針に基き支部に於ては軍部と連絡を執りつゝ屢々活動事項を協議し一方後援資金を募集すると共に一方着々として後援事業を實施す。
- 1、生活扶助

軍事救護法適用前後に於ける生活扶助及國、公共團體其他の施設の扶助を受け得ざる遺族及傷痍軍人家族を調査して扶助金を贈與せり、此金額支部分會を通じて金一萬一千五百九十五圓なり。

2、慰問

- (イ) 戦死者遺族には慰問金二十圓珠數其他の物品を贈呈し公葬の際は役員參列して香料金五圓を供養す。
- (ロ) 陸軍病院及海軍病院を慰問する事十回慰問金品及演藝を寄贈し、尙軍隊慰問をなし慰問金を贈呈せり。

3、派遣軍への慰問

- (イ) 慰問袋六千十二個、此見積金額八千八百二十六圓。
- (ロ) 慰問狀、慰問袋中へ數通宛の慰問狀を封入せり。

4、獻納

陸軍省學藝技術獎勵寄附金として金五百圓を獻納せり。

5、防空演習參加

- (イ) 參加人員二千九百餘名及配給班の業務を擔當す。
- (ロ) 國防講演會開催三回
- (ハ) 印刷物六萬三千枚を頒布す。

四、愛國獻金募集

七月七日北支事變（日支事變）勃發し既に皇軍出動の緊急情勢と成りしに鑑み一は國防費として獻金し一は銃後に



(近附所務事部支) 加參習演空防

ありて軍事後援事業に最善を盡す爲、會員のみならず廣く一般よりも義金を募集する事とし、七月十八日各分會長に依頼狀を發す。而して其決算概要左の如し。

| | | |
|-----------------------|----------------|---------------------------|
| 昭和十二年度募集愛國献金並特別義金收支決算 | | 總額 |
| 收入 | 金壹萬壹千四百九十貳圓拾五錢 | 總額 |
| 内譯 | 金九千七百五拾六圓七拾八錢 | 第一回分 |
| | 金壹千七百參拾五圓參拾七錢 | 第二回分 |
| 支出 | 金壹萬壹千四百九拾貳圓拾五錢 | 總額 |
| 内譯 | 金七千四百七拾五圓 | 昭和十二年度雜收入へ受入 |
| | 金參千八百八拾五圓九拾九錢 | 昭和十三年度寄附金の内軍事後援事業指定寄附金へ受入 |
| | 金壹百參拾壹圓拾六錢 | 献金袋印刷其他雜費 |

五、感謝狀

- (イ) 宇都宮陸軍病院上山田轉地療養所所長より皇軍傷病者の爲慰問金品寄贈に對する感謝狀二通を受く。
 - (ロ) 松本陸軍病院長より同様感謝狀二通を受く。
 - (ハ) 陸軍大臣より出動軍隊慰問の爲恤兵品寄贈に對する感謝狀四通を受く。
 - (ニ) 海軍大臣より同様感謝狀一通を受く。
 - (ホ) 陸軍大臣より滿洲事變に際し出動軍隊慰恤の爲慰問袋寄附に對し感謝狀を受く。
- 社會事業

一、農繁期託兒所

本年度左記開設八ヶ所に對し補助金二百六十一圓二十錢を補助す。

| 開設分會設置場所 | 開設期間 | 託兒數 | 實人員 | 延人員 | 經費 | 職員 | 會員中 奉仕人 |
|----------------|---------------|-------|--------|-------|-----|-----|------------|
| 小縣郡中鹽田村中野(公會堂) | 自六、一至八、末三五日間 | 50 | 1,700 | 50 | 10 | 10 | 10 |
| 北佐久郡本牧村(學校) | 自六、一至一、末三〇日間 | 100 | 1,200 | 110 | 15 | 15 | 15 |
| 上伊那郡宮田村(寺院) | 自六、一至七、末三三日間 | 60 | 1,900 | 135 | 10 | 10 | 10 |
| 下水内郡永田村(學校) | 自六、一至一〇、末二五日間 | 250 | 1,300 | 50 | 7 | 7 | 7 |
| 南佐久郡野澤町(公會堂) | 自六、一至一〇、末二五日間 | 100 | 1,500 | 100 | 10 | 10 | 10 |
| 小縣郡川邊村(公會堂) | 自七、一至九、末三〇日間 | 60 | 1,200 | 30 | 11 | 11 | 11 |
| 下伊那郡鼎村(學校) | 自六、一至九、末三〇日間 | 300 | 1,800 | 25 | 12 | 12 | 12 |
| 諏訪郡長地村(學校) | 自六、一至一〇、末三一日間 | 150 | 1,000 | 131 | 11 | 11 | 11 |
| 計 | | 1,210 | 14,000 | 1,121 | 126 | 103 | 103 |

二、滿洲農業移民後援

滿洲農業移民遭難者に對し弔慰金及滿洲農業移民出發に際し苹果を贈呈せり、其費用金四百六十九圓四十九錢なり。

三、講習講演會及其他の集合

- (イ) 本部職員鈴木歌子を聘し縣下各地に於て會旨普及及滿洲事變に付講演會を開會し併せて各種娛樂を加へ講演と娛樂の夕を催す。
- (ロ) 本部派遣薄田清を聘し諏訪郡各地に於て母性愛に就ての講演會を開催す。

- (ハ) 會旨普及活動寫真會を諏訪郡原村分會其他七ヶ村に於て開會す。
- (ニ) 協議會座談會開會十六回、本年度講演講習費として支出合計金は六百一圓なり。

四、乳幼児愛護運動

縣社會事業協會及日赤長野支部と合同して左記に依り乳幼児愛護週間を實施す。

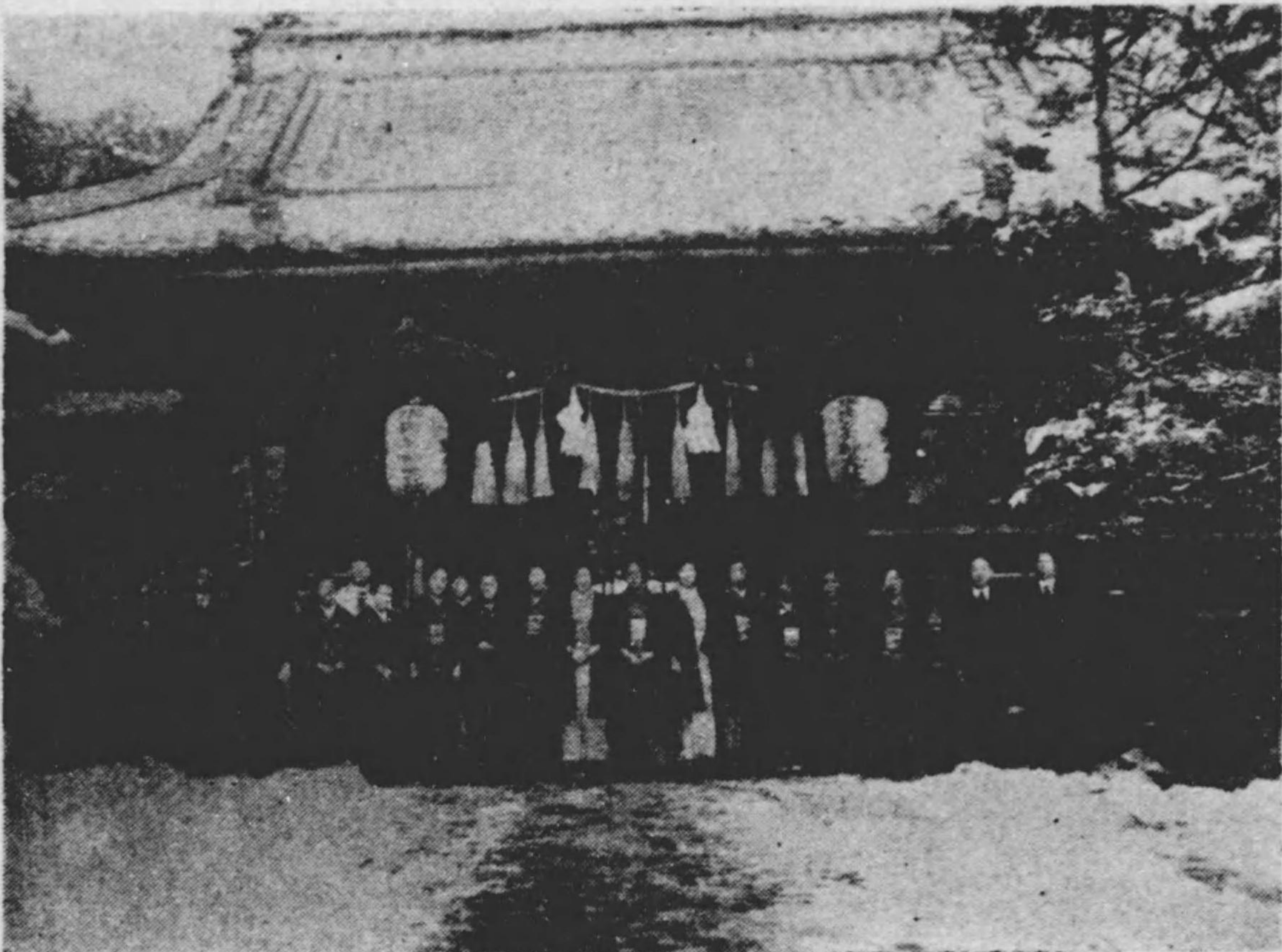
- (イ) ポスター頒布五千枚
- (ロ) リーフレット頒布二千枚
- (ハ) 講演會映畫會開催
- (ニ) 乳幼児審査會 審査兒童五十三名入選兒八名。
- (ホ) 幼兒運動會 本年度右費用として金八十三圓を支出す。

五、罹災救助

- (イ) 長野市外四ヶ村水害に際し金三百圓を贈與。
- (ロ) 上伊那郡赤穂村外五ヶ町村火災に際し金二百五十圓贈與。
- (ハ) 小串鑛山災害に際し金百圓を贈與

一、集會

| | 開催回数 | 開催市町村數 | 來會者數 | 經費 |
|---------|------|--------|--------|-------|
| 講演會 | 二九 | 二六 | 二〇、五〇〇 | 五六六 |
| 映畫會 | 八 | 八 | 四、一〇〇 | 四五 |
| 協議會、座談會 | 一六 | 一〇〇 | 九三八 | 五六一 |
| 計 | 五三 | 一三四 | 二五、五三八 | 一、一七二 |



祭願祈勝健子御之日

二、愛國貯金

組合數二、加入人員五百六十一名、貯金總額九千八百四十四圓十錢なり。

三、選舉肅正運動

ポスター三千枚を印刷頒布す。

四、日之皇子の祝ひ日

十二月二十三日長野市城山縣社に於て日之御子健勝祈願祭を執行し、後勤勞者教育中央會講師中山龜太郎の講演會を開催す。

五、國旗章

頒布個數五千個 一個賣價五錢

彰功旗授與

本年度彰功旗授與左の如し。

一、附加章 (一) 上諏訪町

二、甲種彰功旗 (一一二)

- | | |
|---------|---------|
| 南佐久郡野澤町 | 南佐久郡大澤村 |
| 北佐久郡本牧村 | 北佐久郡大里村 |
| 西筑摩郡福島町 | 東筑摩郡新村 |
| 南安曇郡倭村 | 南安曇郡安曇村 |

| | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 北安曇郡南小谷村 | 北安曇郡社村 | 上水内郡鳥居村 | 上水内郡神郷村 |
| 北佐久郡芦田村 | 北佐久郡横鳥村 | 小縣郡長瀬村 | 小縣郡鹽川村 |
| 下伊那郡座光寺村 | 下伊那郡河野村 | 東筑摩郡鹽尻町 | 南安曇郡梓村 |
| 南安曇郡豊科町 | 北安曇郡中土村 | 更級郡稻里村 | 埴科郡五加村 |
| 埴科郡松代町 | 下高井郡木島村 | 下水内郡飯山町 | 下水内郡柳原村 |
| 下水内郡外様村 | 下水内郡太田村 | 下水内郡秋津村 | 下水内郡常盤村 |
| 南佐久郡中込町 | 南佐久郡大澤村 | 上水内郡中郷村 | |

家庭表彰

六月、愛國婦人會分會八會員家庭表彰規程改正せられ、一家にして義務終了の會員三人以上を有する家庭に對し左の區分に依り會長之を表彰する事となる。

(イ) 義務終了會員三人を有する家庭に對しては表彰狀に木杯一個を添へ贈與す。
 (ロ) 同上四人以上を有する家庭に對しては表彰狀に木杯一組を添へ贈與す。

調査の結果(イ)に該當するもの、長野市一、上田市一、岡谷市九、飯田市二、諏訪郡上諏訪町七、本郷村四、中洲村一、永明村一、南安曇郡高家村一、計二十七家庭に對し規程の通り表彰あり。

總會、及役員會

一、本年度總會を開きたる分會左の如し。

| 種別區分 | 分會名 | 種別區分 | 分會名 |
|------|----------|------|---------|
| 分會總會 | 上伊那郡中箕輪村 | 同 | 埴科郡杭瀬下村 |

| | | | | | |
|---|--------------|---|---|---|-------------|
| 同 | 諏訪郡豊平村 | 同 | 同 | 同 | 五加村 |
| 同 | 南安曇郡梓村外二ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 下高井郡木島村 |
| 同 | 諏訪郡長地村 | 同 | 同 | 同 | 諏訪郡上諏訪町 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 松本市 |
| 同 | 中洲村 | 同 | 同 | 同 | 諏訪郡宮川村 |
| 同 | 川岸村 | 同 | 同 | 同 | 永明村 |
| 同 | 北安曇郡南小谷村外四ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 上田市 |
| 同 | 更級郡稻里村外五ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 上高井郡日野村 |
| 同 | 諏訪郡落合村 | 同 | 同 | 同 | 南佐久郡中込町外七ヶ村 |
| 同 | 上高井郡仁禮村 | 同 | 同 | 同 | 埴科郡松代町外五ヶ村 |
| 同 | 北佐久郡本牧村外九ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 諏訪郡湊村 |
| 同 | 南佐久郡小海村外五ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 北佐久郡大里村 |
| 同 | 上高井郡豊洲村 | 同 | 同 | 同 | 上水内郡中郷村 |
| 同 | 諏訪郡泉野村 | 同 | 同 | 同 | 小縣郡東鹽田村 |
| 同 | 岡谷市 | 同 | 同 | 同 | 長野市 |
| 同 | 北安曇郡大町外五ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 上水内郡鳥居村 |
| 同 | 下水内郡飯山町外九ヶ村 | 同 | 同 | 同 | 南安曇郡豊科町 |
| 同 | 東筑摩郡鹽尻町 | 同 | 同 | 同 | |
| 同 | 東筑摩郡新村 | 同 | 同 | 同 | |

二、分會役員會

| | | | |
|----|---------|-------|---|
| 會場 | 南佐久郡小海村 | 參加分會數 | 八 |
|----|---------|-------|---|

| | | | |
|----|-----|-------|---|
| 會場 | 岡谷市 | 參加分會數 | 一 |
|----|-----|-------|---|

| | | | | | |
|------|------|----|------|------|----|
| 南佐久郡 | 白田町 | 八 | 上高井郡 | 須坂町 | 一四 |
| 同 | 中込町 | 七 | 長野市 | 野市 | 一 |
| 北佐久郡 | 小諸町 | 八 | 東筑摩郡 | 片丘村 | 一 |
| 同 | 岩村田町 | 九 | 下水内郡 | 飯山町 | 一〇 |
| 南安曇郡 | 豊科町 | 一〇 | 北安曇郡 | 南小谷村 | 五 |
| 同 | 梓村 | 五 | 同 | 大町 | 六 |
| 松本市 | 市 | 一 | 同 | 池田町 | 六 |

一、五月六日、本會第三十六回總會青山憲法記念館に於て開會、皇后陛下行啓あらせられ令旨を賜ふ當日、優良分會として表彰並に記念リボンの授與を受けたる分會は、長野市分會及岡谷市分會なり。

二、土地建物の整備

(イ) 土地
支部事務所前の道路擴張に依り敷地の一部を提供し且建物を整備して其面目を一新するに至る。

都市計畫に依る縣道大正町壽町線擴張工事に付支部用地買收の爲め長野市大字南長野字幅下六九一番の二に於て七〇、四一坪(此價格金千五百六圓十五錢)又六九二番の三に於て一一九、一三坪(此價格金千七百八十六圓九十五錢)合計一八九、五四坪を減ず。此價格金二千八百四十三圓十錢なり。

(ロ) 建物
前記地域内にありたる小使室兼物置等の事務所附屬建物を六九一番の二に改築し、之に伴ふ庭園改修費を合せて金二千六十圓四十五錢を要し、移轉補償料金七百九十一圓四十錢及舊小使室整理金百十五圓を收入す。

(ハ) 現在不動産内譯は左の如し(昭和十四年に所得せるものを加ふ)
不動産内譯

| 所在地 | 種別 | 坪數 | 坪合 | 價格 | 地價 | 用途 | 所得年月日 | 登記年月日 |
|-------------------|----|--------|----|---------|-------|------------|--------------|--------------|
| 長野市大字南長野字幅下六八八番ノ二 | 宅地 | 一一一、〇〇 | | 五、八〇、〇〇 | 一五、六〇 | 事務所敷地 | 明治四十二年七月二十九日 | 明治四十二年七月二十九日 |
| 同上 | 同上 | 三、四、六六 | | 一、六三、六八 | 五五、四五 | 同上 | 同年八月六日 | 同年八月六日 |
| 同上 | 同上 | 七、〇〇 | | 三、四八、〇〇 | 二二、六〇 | 同上 | 同年七月廿八日 | 同年七月廿八日 |
| 同上 | 同上 | 一一八、五九 | | 六、七二、三三 | 二〇、七四 | 同上 | 同 | 同 |
| 同上 | 同上 | 二五、三三 | | 一、二五、八四 | 四〇、五二 | 同上 | 同 | 同 |
| 同上 | 同上 | 一四、三七 | | 六、九、七六 | 三、九 | 同上 | 昭和十四年十月五日 | 昭和十五年一月二十六日 |
| 同上 | 同上 | 一三三、二二 | | 三、九六、六〇 | — | 事務所 | | |
| 同上 | 同上 | 二九、一四 | | 一、〇五、〇〇 | — | 宿直室兼小使室及物置 | | |

三、九月十一日、時局に對し總裁宮殿下より次の御諭旨を賜はる。

諭旨

愛國婦人會會員諸子ハ克ク本會ノ主旨ヲ體シ會員ノ本分ニ從ヒ熱誠會務ニ盡率シツアルハ深ク満足スル所ナリ近時東亞ノ情勢ハ愈々紛糾ヲ重ネ事態益々擴大スルニ至レリ本會カ其ノ創立以來婦人ノ鞏固ナル結束ト統制アル訓練トニ意ヲ用ヒ併セテ諸般ノ奉仕事業ニ従事シタル所以ノモノハ豫メ有事ノ日ニ備ヘムカ爲ニシテ會員タルモノ今日ノ時局ニ處シ心ヲ一ニシ力ヲ協セ以テ銃後ノ後援ヲ全ウシ報國ノ實ヲ舉ケムコトヲ要ス

事變ノ前途固ヨリ豫測シ難キモノアリ會員諸子益々堅忍持久ノ節ヲ堅ウシ出征軍人ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメ本

會ノ使命ヲ達成スルニ於テ苟モ遺算ナカラムコトヲ期スヘシ

昭和十二年九月十一日

愛國婦人會總裁故依仁親王妃勳一等 周 子

四、愛國婦人會創立三十五周年支部特別事業資金積立

(イ) 前年に引續き映畫會收益金三百七十二圓三錢

(ロ) 特別事業資金寄附金一千八十六圓七十一錢

合計一千四百五十八圓七十四錢を別途積立てたり。

〔昭和十三年〕

會員異動

十二月 新入會員は總數九千七百三十名、内年賦會員八千五百二十八名、一時出金に依る終身會員一千二百二名にして現在會員數は特別維持會員二百五十一名、終身會員三萬三千六百八十八名、年賦會員四萬六千八百八十二名、合計八萬百二十一名なり。而して前年に比し八千四百二十二名の増加なり。

軍事後援事業

一、生活扶助

(イ) 軍事扶助法適用前の一時期扶助として一千百九十五圓を贈與す。

(ロ) 上水内郡三水村、上伊那郡西春近村、南向村、下伊那郡伊賀良村、喬木村の火災及水害に依る罹災者に對し百七十五圓を賜與す。

二、産具配給

本部調製の産具を左記要項に依り配給せり。此配給産具代金百九十八圓なり。

配給要項

(イ) 無料配給を受くるもの

支那事變の爲め應召せる軍人家族にして居住市町村戸數割平均額の二分の一以下を納付するもの。

其の他分會長に於て特に其必要ありと認めたる應召軍人家族。

(ロ) 實費の半額を以て配給を受くるもの

前記(イ)に掲ぐるもの以外の應召軍人家族たる妊婦、但右妊婦が愛國婦人會員たる時は無料とす。

(ハ) 内容

母體用 襦布圍、丁字帶、腹帶、消毒壓抵巾、脱脂綿。

赤坊用 臍繃帶、臍帶カーゼ、消毒脱脂綿、臍帶結紮絲、入浴用ガーゼ、亞鉛華澱粉。

三、慰問

(イ) 戦死者遺族には前年に引き續き慰問金二十圓及珠數を賜呈し公葬の際は香料金五圓を供養す。



慰問袋整理

(ロ) 皇后陛下御歌御下賜の遺族に對し額縁を賜呈す。
 (ハ) 陸海軍病院及軍隊を慰問し金員、果物、雜誌、レコード、菓子、演藝等を寄賜す、此費用金四千四十九圓七十八錢なり。

四、犒軍(支部分會の成績を合算せる調)

(イ) 慰問袋 三萬八千八百二十個
 (ロ) 慰問品 一萬九千二百九十七點(眞綿、梅干、雜誌、其他)
 (ハ) 慰問狀 四萬五千通(概算)

五、設備建物の献納

(イ) 建物献納(其他の項参照)

上山田轉地療養所日光浴室献納此經費金五千圓。

(ロ) 設備献納

射撃場設備費中へ寄附金二百圓。

右合計金五千二百圓

六、軍人援護國防思想の普及

(イ) 講演、映畫會開催 二十五回 費用五百圓
 (ロ) 講習會開催 六十回 費用八百五十圓
 (ハ) 防空演習參加 二回 參加人員九千二百四十人
 (ニ) 印刷物頒布 八千部 此費用三百圓
 右費用合計金千六百五十圓

七、資源造成

(イ) 小額贈金 一回 金一萬六百三十一圓十七錢 支部
 (ロ) 募 集 一回 金三千圓 分會
 (ハ) 篤志寄附金 五十六件 金四千三百四十一圓二十錢 支部
 (ニ) 勤勞收入 二十件 金三百圓 分會
 (ホ) 販賣收入 五件 金三百圓 分會
 (ヘ) 廢物利用蒐集收入 三十八件 金五百圓 分會
 (ト) 催物收入 十件 金二千圓 分會
 右合計金 二萬一千七十二圓三十七錢

八、補助交付金

(イ) 厚生省、陸海軍省府縣配分金及府縣募集中より 十三回 金九千三百六十八圓四錢 支部
 (ロ) 府縣費より 一回 金七百圓 支部
 (ハ) 本部補助及交付金 三回 金二百五圓九十錢 支部
 右合計金 一萬二百七十三圓九十四錢

九、感謝狀

(イ) 松本陸軍病院長より、當病院收容の戦傷病兵慰問の爲慰問袋、雜誌、菓子寄贈に對する感謝狀三通を受く。
 (ロ) 陸軍大臣より今次事變に際し出動軍隊慰問の爲恤兵品寄贈に對する感謝狀五通を受く。

社 會 事 業

一、季節託兒所

| 開設分會 | 開設期間 | 收容兒童延數 | | | 經費 | 補助金 |
|---------|------|--------|------|-------|------|-------|
| | | 男 | 女 | 計 | | |
| 南佐久郡中込町 | 六四日 | 一、三三 | 一、一〇 | 二、四三〇 | 一、〇〇 | 一、四三〇 |
| 一八三 | | | | | | |

| | | | | | | |
|-------------------------------------|-----|-------|-------|--------|--------|-------|
| 南佐久郡前山村 | 二二日 | 九七九 | 八六六 | 一、八四五 | 二九三、一八 | 四三、〇〇 |
| 同 大澤村 | 二四日 | 三八〇 | 二七〇 | 六五〇 | 一五〇、〇〇 | 四三、〇〇 |
| 下高井郡平野村 | 二二日 | 八五五 | 八三五 | 一、六八〇 | 一八四、〇〇 | 四三、〇〇 |
| 諏訪郡長地村 | 二四日 | 一、一四四 | 一、四三八 | 二、五八三 | 一一、九 | 三〇、〇〇 |
| 下伊那郡鼎村 | 二二日 | 八、一八四 | 八、八六六 | 一七、〇〇〇 | 四一五、〇〇 | 三〇、〇〇 |
| 南佐久郡野澤町 | 三六日 | 三、四〇〇 | 二、〇〇〇 | 五、四〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 三〇、〇〇 |
| 右の内中込町、前山村、大澤村、平野村は新設なり。 | | | | | | |
| 二、満洲農業移民後援 | | | | | | |
| 満洲開拓農業移民壯行並に病歿者弔慰金として四百三十七圓十一錢を支出す。 | | | | | | |

一八四

三、講習講演會

- (イ) 三月六日、諏訪郡富士見村分會總會の際、上諏訪町分會長丸山榮臨講演。
 - (ロ) 二月十二日、諏訪郡本郷村分會總會に信濃毎日新聞藤澤松本支局長講演。
 - (ハ) 七月三、四日、支部に於て柑皮利用洗濯講習講師吉間洗心舍主。
 - (ニ) 九月廿六日より同廿九日迄上諏訪町片倉會館、松本市公會堂、長野市産業會館に於て本部派遣龜山倭子講演。
 - (ホ) 六月廿日より二十三日迄本部に於て講師指導講習懇談會開催、分會長及支部職員三名出席。
- 本年度講演講習會費として金二百二十圓十六錢を支出す。
- 四、婦人報國運動
- (イ) 印刷物頒布
婦人報國運動實踐要項一萬枚を印刷し配布す。
 - (ロ) 愛國貯金

| 組合數 | 口數 | 貯金月額 | 貯金總額 |
|-----|----|---------|--------|
| 新設 | 八 | 三七、五〇〇 | 三六、〇六圓 |
| 既設 | 八八 | 三〇錢乃至一圓 | 二六、〇六圓 |

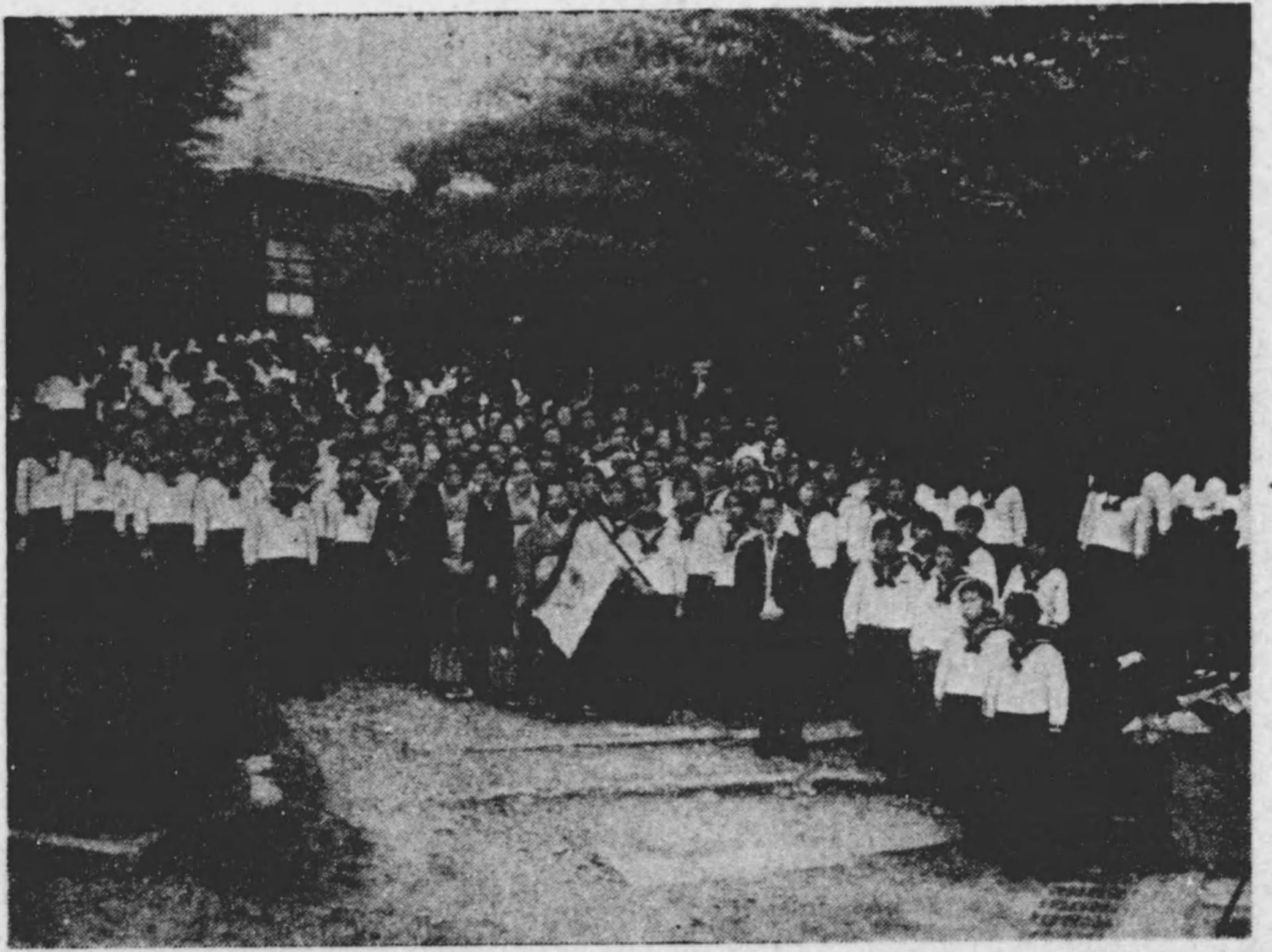
(ハ) 國旗章頒布
頒布個數 四千五百個 金額 百八十圓

(ニ) 日之皇子の祝ひ日
支部並に市分會其他主なる分會に於て奉祝式並に祈願祭舉行。

(ホ) 婦人報國祭
支部並に市分會其他主なる分會に於て舉式並に講演會開催。

五、愛國子女團設置
愛國婦人會の趣旨に遵ひ、婦人報國の精神を涵養する目的を以て、分會區域内の子女及高等女學校其他の女子學生生徒を以て組織する愛國子女團の設置狀況左の如し。

| 名 稱 | 設置年月日 | 團員數 |
|--------------|-----------|-----|
| 長野文化學院 | 昭和二三、三、六 | 四 |
| 愛國子女團 | 昭和二三、三、六 | 六 |
| 下伊那郡座光寺愛國子女團 | 昭和二三、三、一〇 | 五 |
| 松代高等女學校愛國子女團 | 昭和二三、三、二二 | 二 |
| 長野高等女學校愛國子女團 | 昭和二三、六、二〇 | 一 |
| 愛國子女團 | | 一 |
| 愛國會員 青年團員 其他 | | 計 |
| | | 九三 |
| | | 一〇三 |
| | | 一〇九 |
| | | 一九八 |
| | | 九八〇 |
| | | 九八〇 |



長野高等女學校愛國女子團結成

分會總會其他

| 種別/區分 | 分會又は分區名 | 種別/區分 | 分會又は分區名 |
|-----------|--------------------------|-------|---------------|
| 分會役員會議 | 南佐久郡野澤町外十四分會 | 分會總會 | 上伊那郡東箕輪村 |
| 同 (二回) | 北佐久郡岩村田町外十六分會 | 同 | 同 中箕輪村 |
| 同 | 小縣郡別所村外九分會 | 同 | 下伊那郡會地村 |
| 同 (二回) | 更級郡稻荷山町外八分會 | 同 | 同 上郷村 |
| 同 | 上水内郡古間村外六分會 | 同 | 東筑摩郡廣丘村 |
| 同 | 長野市 | 同 | 同 入山邊村 |
| 同 | 松本市 | 同 | 同 片丘村 |
| 同 | 上田市 | 同 | 同 里山邊村 |
| 同 | 岡谷市 | 同 | 同 今井村 |
| 同 | 飯田市 | 同 | 同 中山村 |
| 支部役員研究會 | 支部長、副長、評議員、幹事毎月第一日曜日(七回) | 同 | 南佐久郡川上村 |
| 支部議員會(三回) | 南佐久郡野澤町外七ヶ村聯合 | 同 | 更級郡西寺尾村 |
| 分會總會 | 同 白田町外六ヶ村聯合 | 同 | 更級郡稻荷山町外四ヶ村聯合 |
| 同 | 北佐久郡小諸町外四ヶ村聯合 | 同 | 埴科郡寺尾村 |
| 同 | 同 輕井澤町 | 同 | 同 杭瀬下村 |
| 同 | 同 岩村田町外九ヶ村聯合 | 同 | 上高井郡豊丘村 |
| 同 | 同 小縣郡丸子町 | 同 | 下高井郡木島村 |
| | | 同 | 上水内郡鳥居村 |

彰功旗授與

甲種彰功旗 (十二)

| | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 同 | 別所村外九ヶ村聯合 | 同 | 松本市 |
| 同 | 諏訪郡落合村 | 同 | 諏訪郡本郷村 |
| 同 | 同 埴村 | | |
| 南佐久郡白田町 | 南佐久郡中込町 | 南佐久郡櫻井村 | 北佐久郡伍賀村 |
| 諏訪郡落合村 | 上伊那郡東箕輪村 | 東筑摩郡今井村 | 東筑摩郡廣丘村 |
| 飯田市 | 南佐久郡大澤村 | | 更級郡西寺尾村 |

乙種彰功旗 (二十一)

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|
| 南佐久郡前山村 | 南佐久郡平賀村 | 南佐久郡内山村 | 南佐久郡穂積村 | 南佐久郡切原村 |
| 北佐久郡御代田村 | 北佐久郡南大井村 | 北佐久郡輕井澤町 | 北佐久郡北大井村 | 小縣郡別所村 |
| 小縣郡泉田村 | 小縣郡川邊村 | 小縣郡東鹽田村 | 上伊那郡中箕輪村 | 下伊那郡上郷村 |
| 東筑摩郡里山邊村 | 北安曇郡常盤村 | 埴科郡寺尾村 | 上高井郡仁禮村 | 上高井郡豊洲村 |
| 上高井郡豊丘村 | | | | |

其他

一、本會第三十七回總會日比谷公園内に開會
 皇后陛下行啓あらせられ令旨を賜ふ。尙當日優良分會として記念リボンを授與せられ彰功旗を樹立したる分會は
 松本市分會及諏訪郡本郷分會なり。

二、上山田轉地療養所へ日光浴室献納

(イ) 昭和十一年愛國婦人會創立三十五周年記念事業の一として支部に於ては、宇都宮陸軍病院上山田療養所に

娛樂室献納計畫を立て、資金造成に着手し映畫會開催、又寄附金募集等により、本年初頭大體豫定の資金額に達す。

(ロ) 時既に娛樂室は療養所擴張工事中に包含して設計済の趣に付、豫定を變更し一月二十日附を以て日光浴室一棟献納の儀を主務大臣に申請し、四月五日附を以て採納さる。

(ハ) 依て四月十二日経費五千圓を以て右設計を初め工事一切を師團經理部に委託し、五月二十日着工、七月十日竣工、續いて内部の運動具其他の裝備も完成せるを以て八月二十六日献納の手續を了し、時局柄簡素なる式典を舉行せり。

(ニ) 設備概要及經費收支狀況左の如し。

| | | | |
|---------------------|-------|------------|--------|
| 一、日光浴室 | 木造平家建 | 建坪貳拾壹坪貳合壹勺 | 一棟 |
| 一、渡廊下 | 同 | 貳坪四合五勺 | 一棟 |
| 一、溫室 | 同 | 九合八勺 | 一棟 |
| 一、排水管 | 同 | コンクリート造 | 延長貳拾貳間 |
| 一、溜水 | 同 | 同 | 壹ヶ所 |
| 一、露臺 | 同 | 同 | 壹ヶ所 |
| 一、電燈附屬配線共 | 同 | 同 | 貳個 |
| 以上新築經費金參千參百四拾六圓也 | | | |
| 一、室内裝備其他 | | | |
| 體操機械器具及テーブル、椅子等此の經費 | | | |
| 金壹千六百五拾四圓也 | | | |
| 合計金 | 五 | 千 | 圓也 |

一、資 源
金四千四百六拾六圓五錢

特別事業費積立金

昭和十一年度積立金參千七圓參拾壹錢

(寄附金) 壹千貳百九圓九拾五錢
(興業收益金) 壹千七百九拾七圓參拾六錢

昭和十二年度積立金壹千四百五拾八圓七拾四錢

(寄附金) 壹千八拾六圓七拾壹錢
(興業收益金) 參百七拾貳圓參錢

金五百參拾參圓九拾五錢

昭和十三年度事業費

合計金 五 千 圓也

三、褒狀及感謝狀

(1) 滿洲事變に關し左の褒狀下賜

褒 狀

愛國婦人會長野縣支部員有志

昭和六年乃至九年事變ニ關シ其ノ財ヲ寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

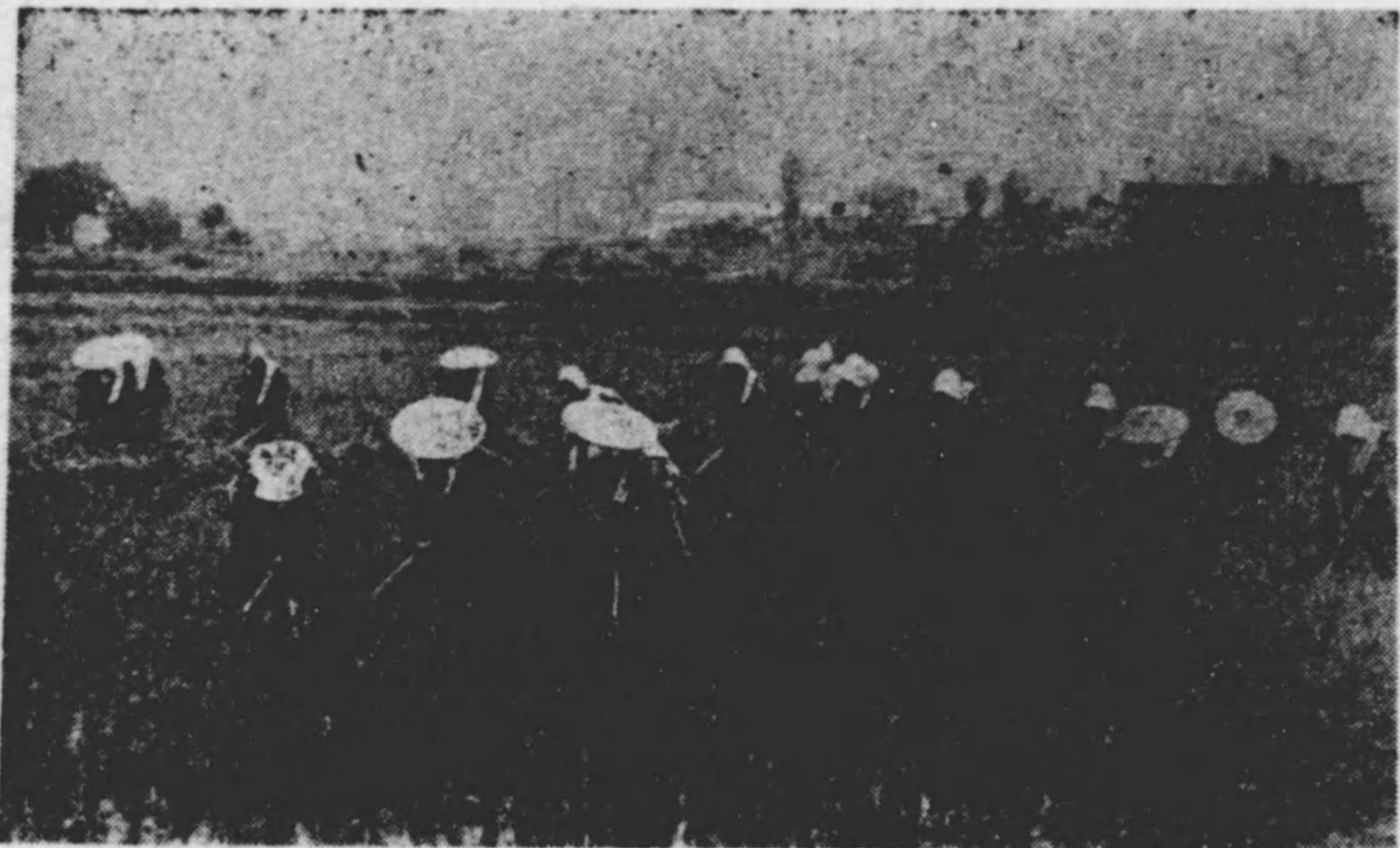
昭和十三年八月十九日

賞勳局總裁 從三位勳一等 下 條 康 麿

(2) 四月、宇品凱旋館建設資金として金參拾圓寄附せるにより建設會長廣島縣知事富田愛治郎より感謝狀を受く。

(3) 十二月、療養中の皇軍傷病者慰問の爲演藝を寄贈せしにより宇都宮陸軍病院上山田轉地療養所長角田安次郎

より感謝状を受く。



會分村居鳥 仕奉働勞の員會

〔昭和十四年〕

會員異動

十二月末 新入會員は總數一萬三千三百五十四名、内年賦會員一萬一千三百五十四名、一時出金に依る終身會員二千名にして現在會員數は特別維持會員二百七十名、終身會員三萬七千八百四十二名、年賦會員五萬三千八百四名、合計九萬一千九百十六名なり。而して前年に比し一萬一千七百九十五名の増加なり。

軍事後援事業

一、生活扶助

(イ) 一時扶助として金二十圓

(ロ) 罹災扶助、應召軍人家族中罹災者に對し金五十五圓贈與。

(ハ) 季節扶助

歳末に際し金三千六百九十二圓贈與。

二、産具配給

前年の要項に依り産具配給を繼續す。配給産具代金五百三十一

圓なり。

三、慰問

(イ) 遺族慰問、額縁贈呈前年に繼續して之を實施す。

(ロ) 陸海軍病院慰問接待及勞力奉仕、回数五十九回奉仕人員一千八百八十人に及ぶ。

(ハ) 遺族及軍人家族慰安會を開く事三十八回。

(ニ) 入營者及軍隊慰問、回数三十五回慰問人員五百五十人。

(ホ) 祈願祭執行、百十回、参加人員一萬三千五百人。

(ヘ) 皇后陛下御歌御下賜の遺族に對し同額縁を贈呈す。

四、犒軍

(イ) 慰問袋 三萬四千七百個 (ロ) 慰問品 一千五百點

(ハ) 慰問狀 三萬五千點 (ニ) 療養所内神社建設資金として金四百圓を贈呈

五、軍人援護國防思想の普及

(イ) 講演、映畫會開催 五十五回 費用一千三百七十圓

(ロ) 講習會開催 七十二回 費用二千四百圓

(ハ) 防空演習参加 三回 参加人員九千人

(ニ) 印刷物頒布 一萬五千部 費用百五十圓

六、資金造成

(イ) 小額募金 一回 金五千六百三十三圓二十錢

(ロ) 募金 一回 金二萬五百圓

(ハ) 篤志寄附金 五十三件 金四千四百五十四圓

支部 分會 支部

| | | | |
|--------------|------|-------------|----|
| (ニ) 勤勞收入 | 五十件 | 金八百圓 | 分會 |
| (ホ) 販賣收入 | 十件 | 金三百五十圓 | 同 |
| (ヘ) 廢物利用蒐集收入 | 四十五件 | 金七百圓 | 同 |
| (ト) 催物收入 | 七件 | 金五百圓 | 同 |
| 右合計 | | 金三萬二千四百六十七圓 | |

七、補助交付金

| | | | |
|---------------|----|-------------|----|
| (イ) 御下賜金 | | 金五百圓 | 支部 |
| (ロ) 府縣費 | 一回 | 金七百圓 | 同 |
| (ハ) 本部補助金及交付金 | 九回 | 金七千二百九十圓一錢 | 同 |
| 右計 | | 金八千四百九十一圓一錢 | |

八、感謝狀

- (イ) 松本陸軍病院長より病院收容中の戰傷病兵慰問の爲菓子、雜誌、レコード寄贈に對し感謝狀六通を受く。
- (ロ) 宇都宮陸軍病院上山田轉地療養所長より、療養中の皇軍傷病者慰問の爲、雜誌、林檎、演藝寄贈に對し感謝狀四通を受く。
- (ハ) 傷痍軍人長野療養所長より療養所入所の傷痍軍人慰問の爲林檎、演藝、揮寄贈に對する感謝狀一通を受く。
- (ニ) 陸軍大臣より今次事變に際し出動軍隊慰問の爲恤兵品寄附に對する感謝狀十二通を受く。

社會事業

一、季節託兒所

| 名 稱 | 開設期間 | 兒童數 | 會員奉仕實人員 |
|---------------|------|-----|---------|
| 東筑摩郡今井村農繁期保育所 | 三〇日 | 一〇一 | 三六 |
| 小縣郡長瀬村託兒所 | 二一 | 六五 | 二五 |

| | | | |
|---------------|-----|-----|-------|
| 下伊那郡松尾村農繁期託兒所 | 一八 | 三二九 | 二八 |
| 輕井澤町鹽澤保育所 | 三〇 | 八三 | 三八 |
| 同 杏掛保育所 | | | |
| 上高井郡豊洲村農繁期託兒所 | 一一二 | 五〇 | 三〇 |
| 南佐久郡野澤町託兒所 | 四二 | 二〇〇 | 一〇 |
| 南佐久郡前山託兒所 | 三〇 | 八〇 | 一二 |
| 下伊那郡那村農繁期託兒所 | 一一二 | 三八九 | 三六 |
| 南佐久郡中込町農繁期託兒所 | 一六 | 一〇〇 | |
| 諏訪郡長地村農繁期託兒所 | 三〇 | 一四〇 | |
| 經費總額 | | | 二千六百圓 |

二、罹災救助

- (イ) 火災水災罹災者百七十名に對し現金二百五十三圓、物品見積金九十八圓、計三百五十一圓贈與。
- (ロ) 降雹及土地崩壞による罹災者千二百二十五名に對し金二百二十五圓給與。

三、婦人報國運動

(イ) 愛國貯金

| 組 合 數 | 口 數 | 貯金月額 | 貯金總額 |
|-----------|-----|-------|----------|
| 新設 | | | |
| 既設 | | | |
| 計 | | | |
| 二二七八 | 八八 | 二、三六六 | 五四、六三五 |
| (ロ) 國旗章頒布 | | | |
| 頒布個數 | 一千個 | 金額 | 五十圓 |
| | | | 三三、五五九円 |
| | | | 六一八、七三八円 |

(ハ) 選舉肅正

議員候補者夫人に挨拶状を送付し且、選舉肅正チラシ一萬枚を印刷頒布す。

(ニ) 日之皇子の祝ひ日

○支部並に市分會其他主なる分會に於て奉祝式並に祈願祭を執行。

○育兒院及幼稚園兒童に對し慰問、慰問金二百二十圓。

(ホ) 婦人報國祭

支部及市分會其他主なる分會に於て舉式並に講演會開會。

分會總會其他の集會

| 種別/區分 | 分會又は分區名 | 種別/區分 | 分會又は分區名 |
|------------|---------------|-------|----------|
| 分會役員會議(二回) | 北佐久郡本牧村外十分會 | 分會總會 | 下伊那郡鼎村 |
| 同 | 上伊那郡小野村外三十分會 | 同 | 市田村 |
| 同 | 下伊那郡大島村外三十六分會 | 同 | 座光寺村 |
| 同 | 西筑摩郡大桑村外五分會 | 同 | 下條村 |
| 同 | 東筑摩郡洗馬村外七分會 | 同 | 東筑摩郡筑摩地村 |
| 同 | 埴科郡南條村外三分會 | 同 | 中山村 |
| 同 | 上高井郡保科村外十三分會 | 同 | 今井村 |
| 同 | 下高井郡中野町外廿四分會 | 同 | 笹賀村 |
| 同 | 上水内郡古間村外三分會 | 同 | 錦部村 |
| 同 | 上田市 | 同 | 島立村 |

同
支部役員研究會
支部評議員會(三回)
分會總會

| | | | |
|---|------------------------------|---|----------|
| 同 | 飯田市 | 同 | 會田村 |
| 同 | 支部長、副長、評議員、幹事 毎月第一月曜(十二回) | 同 | 坂北村 |
| 同 | 上伊那郡伊那町外六ヶ村聯合 | 同 | 更級郡上山田村 |
| 同 | 同 高遠町外六ヶ村聯合 | 同 | 稻里村 |
| 同 | 下伊那郡龍丘村外四ヶ村聯合 | 同 | 青木島村 |
| 同 | 東筑摩郡中川手村外三ヶ村聯合 | 同 | 眞島村 |
| 同 | 埴科郡戸倉村外三ヶ村聯合 | 同 | 中津村 |
| 同 | 下高井郡穂高村外四ヶ村聯合 | 同 | 更府村 |
| 同 | 上水内郡柳原村外三ヶ村聯合 | 同 | 埴科郡森村 |
| 同 | 南佐久郡岸野村 | 同 | 豊榮村 |
| 同 | 北佐久郡本牧村 | 同 | 五加村 |
| 同 | 諏訪郡本郷村 | 同 | 寺尾村 |
| 同 | 同 湖東村 | 同 | 杭瀬下村 |
| 同 | 同 上諏訪町 | 同 | 上高井郡川田村 |
| 同 | 同 宮川村 | 同 | 豊洲村 |
| 同 | 同 金澤村 | 同 | 下高井郡市川村 |
| 同 | 同 落合村 | 同 | 瑞穂村 |
| 同 | 上伊那郡中箕輪村 | 同 | 科野村 |
| 同 | 同 片桐村 | 同 | 上水内郡大豆島村 |
| | | 同 | 神郷村 |

分會總會

同 上伊那郡上片桐村
 同 三義村
 同 下伊那郡山吹村
 同 大島村
 同 河野村
 同 上久堅村
 同 下久堅村
 同 松尾村

分會總會

同 上水内郡鳥居村
 同 三水村
 同 諏訪郡永明村
 同 豊平村
 同 上伊那郡箕輪村
 同 上田 市
 同 上田市城下區

彰功旗授與

一、附加章

諏訪郡玉川村
 南佐久郡野澤町

東筑摩郡中川手村

長野市

松本市

二、甲種彰功旗

下伊那郡川路村
 東筑摩郡中川手村
 上水内郡古間村
 北佐久郡輕井澤町
 下高井郡平穩村
 下高井郡科野村
 上高井郡日野村

下伊那郡三穗村
 上伊那郡南箕輪村
 上水内郡富士里村
 下伊那郡山吹村
 東筑摩郡坂北村
 上伊那郡長藤村
 上高井郡豊丘村

東筑摩郡上川手村
 上水内郡信濃尻村
 東筑摩郡會田村
 下伊那郡大島村
 更級郡中津村
 更級郡稻里村
 下高井郡往郷村

東筑摩郡東川手村
 上水内郡柏原村
 南佐久郡前山村
 諏訪郡豊平村
 東筑摩郡笹賀村
 南安曇郡穂高村
 埴科郡森村

三、乙種彰功旗

埴科郡豊茶村
 東筑摩郡生坂村
 上伊那郡藤澤村
 下伊那郡下久堅村
 上伊那郡伊那里村
 埴科郡坂城町
 上伊那郡箕輪村
 下伊那郡松尾村
 下伊那郡下條村

下伊那郡龍丘村
 上伊那郡伊那町
 上伊那郡東春近村
 上伊那郡上片桐村
 上伊那郡三義村
 埴科郡戸倉村
 下高井郡市川村
 下高井郡夜間瀬村
 南佐久郡岸野村

下伊那郡龍江村
 上伊那郡西箕輪村
 上伊那郡手良村
 上伊那郡高遠町
 上伊那郡長藤村
 埴科郡南條村
 上高井郡須坂町
 上高井郡井上村

下伊那郡千代村
 上伊那郡富縣村
 上伊那郡片桐村
 上伊那郡美和村
 上伊那郡美簗村
 埴科郡中之條村
 下高井郡倭村
 下伊那郡鼎村

滿蒙開拓女子修練所

一、趣旨

滿蒙開拓者の配偶者及將來配偶者たらんとする者、並に之等後援者に對し其使命を全うする爲の精神陶冶を行ひ且須要なる知識技能の修練を施すを以て目的とす。

二、修練の方法、修練科目

中心指導者と寢食起居を共にし、其の生活行事の全體を修養訓練の機会たらしめ、其の間團體生活に慣れしめ、加ふるに左記の精神訓話、講演及實習により其の目的を達するものとす。

皇國精神、滿洲移民の國家的使命、滿洲移民地の事情、滿洲移民の將來、滿洲移民配偶者の使命等。

割烹、育兒衛生、看護の大意
時々茶話會、映畫會、座談會開催

三、期間及科目、講師

七日間共同宿泊訓練を行ふ。

| 科 目 | 講 師 |
|--------------|-----------------|
| 日本精神と滿洲移民の基調 | 阿部 國治 |
| 皇國農民の使命 | 佐藤得一郎 |
| 農民道と移民問題 | 同 御牧原修練道場 西村富三郎 |
| 女子の修練に就て | 同 小松清重 |
| 食物の調理と栄養に就て | 本縣工場課 漢那朝祥 |
| 農村更正と分村計畫に就て | 本縣規畫課 小西徳治郎 |
| 出産育児看護に就て | 本縣衛生課 加茂智榮 |
| 滿洲に於ける食生活 | 陸軍糧食會講師 |



(村書讀) 所練修子女拓開蒙滿

四、入所資格

年齢十八歳以上の滿洲開拓者の婚約者
同上の配偶者たらしんとする者 但し職業、學力を問はず、同上の既婚者。

五、開催地及開催月日、會場

| 開催地 | 開催月日 | 會場 |
|----------|------------------|-----------|
| 下伊那郡上久堅村 | 自二月十五日 至同廿一日 | 小 學 校 |
| 下伊那郡千代村 | 自二月十七日 至同廿三日 | 小 學 校 |
| 下伊那郡泰阜村 | 自二月十九日 至同廿五日 | 田本福壽院 |
| 西筑摩郡讀書村 | 自二月廿七日 至三月五日 | 三留野等覺寺 |
| 上伊那郡長藤村 | 自三月一日 至三月七日 | 組合製絲三共社 |
| 下伊那郡川路村 | 自三月三日 至同 九日 | 小 學 校 |
| 北佐久郡岩村田町 | 自三月十一日 至同十七日 | 荒町圓滿寺 |
| 同 大日向村 | 自三月十三日 至同十九日 | 本郷龍興寺 |
| 諏訪郡富士見村 | 自三月十五日 至同廿一日 | 富士見實科中等學校 |
| 下高井郡穂高村 | 自三月十七日 至同廿三日 | 下高井農林學校 |
| 西筑摩郡吾妻村 | 自昭和十五年二月十三日至同十七日 | 妻籠光徳寺 |
| 同 讀書村 | 自二月十四日 至同十八日 | 三留野等覺寺 |
| 諏訪郡富士見村 | 自二月十五日 至同十九日 | 小 學 校 |
| 上伊那郡七久保村 | 自二月十六日 至同 廿日 | 組合製絲美篤館 |
| 北安曇郡會染村 | 自二月十七日 至同廿一日 | 會染村靜修寮 |

長野縣婦人滿洲移民地視察團

婦人指導者をして滿洲農業移民地を實地に視察し、時局下に於ける國策農業移民の重要性に付て一層認識を深めしめんが爲に本縣と合同して、滿洲移住地婦人視察團を派遣す。

- 一、期日 八月廿四日より九月十三日迄二十一日間
- 二、視察箇所

第四次哈達河移民團 第五次黑台信濃村

哈爾濱訓練所

- 三、參加者 支部派遣尾崎はつ外二十六名

滿蒙開拓民後援

一、滿蒙開拓農業移民及青少年義勇軍の出發に際しては、壯行會を開催し記念品を贈呈して、其前途を激勵す。

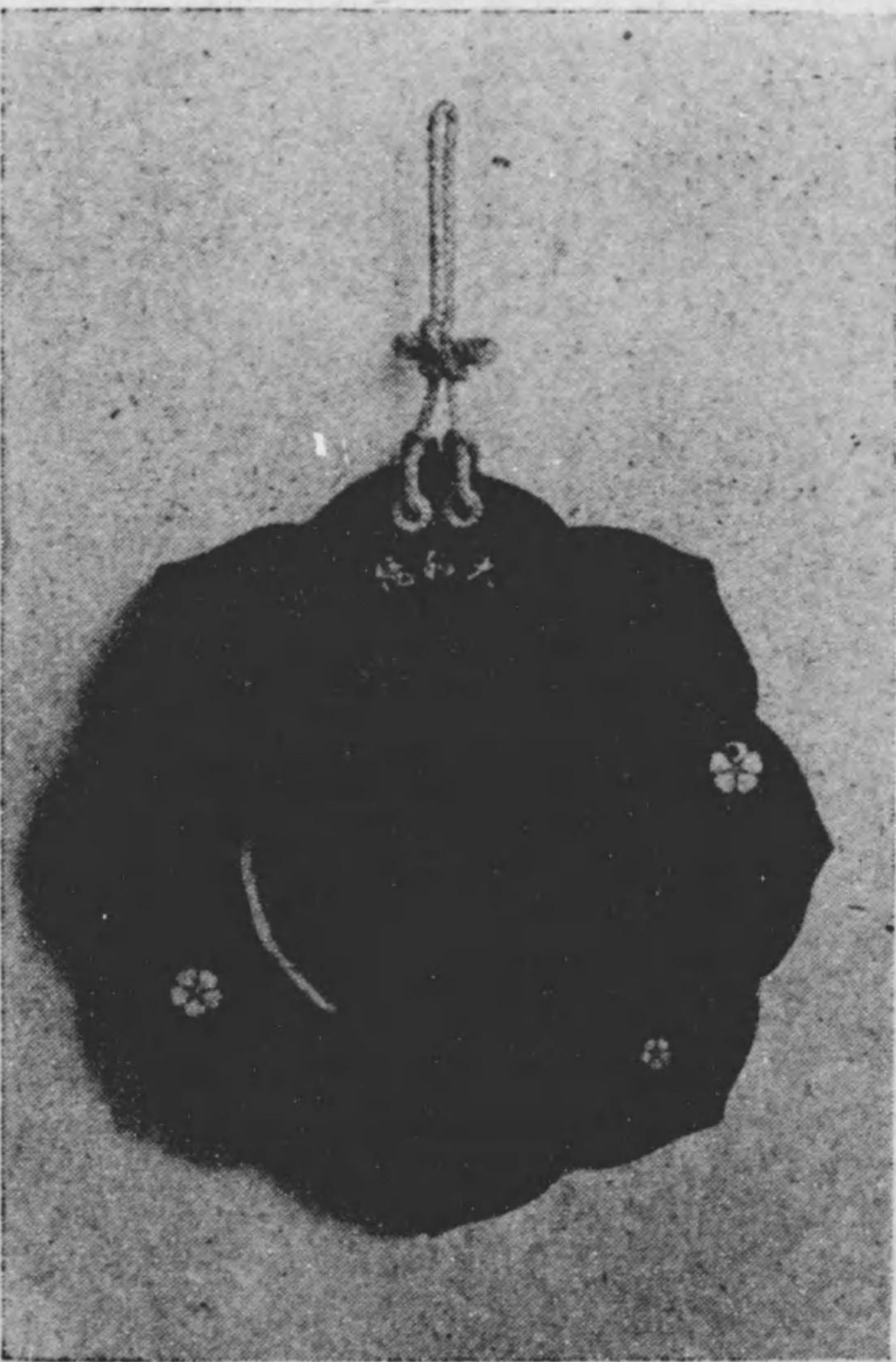
二、滿蒙開拓農業移民と結婚し現地を赴く花嫁に對しては支部長の祝詞と共に御祝として、「大和鏡」一面を贈りて祝福の意を表することとす。

祝詞

遠き古より彌榮ゆる御國の、より榮え、より伸びむと致します時にあたり、重き使命と希望とを負ふて輝しい首途をなします姉に對し、會員一同より心からの御祝ひを申し上げます。



滿洲移民地視察團一行



大和鏡

眞の滿蒙開拓は、心身共に健全なる若き人々に俟つ事多きを思ひ、姉の堅固なる志操と、日頃の修練とに大なる期待をおかけ致すもので御座います。

茲に御喜びの意をこめて、いさゝかの品を記念として御贈り申上げました、何卒日本女性として、よき妻、よき母たる使命を充分御はたし下さいますやう。私共亦家郷より幾久しく御多幸ならむことをつねに御祈り申上げます。

中堅婦人講習會

一、趣旨

國民精神總動員の趣旨體得及本會の使命に對する認識を深め東亞新秩序建設下に於ける、市町村の指導階級たるべき中堅婦人を養成するを目的とす。

二、講師

愛國婦人會事務副長 飛鋪 秀一

同 講師 薄田 清

同 長野縣支部主事 五味 繁作

三、會場

第一會場 長野市西町西方寺(宿泊所共)

第二會場 松本市松本女子師範學校(宿泊所淺間溫泉鷹の湯)

四、期日

長野 自五月二十二日至同二十三日

參加郡市

南佐久、北佐久、小縣、更級、埴科、上高井、下高井、上水内、下水内、長野

松本 自五月二十五日至同二十六日 參加郡市 右以外の郡市

五、映畫講演會

中堅婦人講習會を機とし本部映畫班の派遣を乞ひ會旨普及映畫講演會を左の箇所に於て開催せり。

| | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 五月廿二日 | 長野市 | 五月廿三日 | 上高井郡綿内村 |
| 同 廿四日 | 更級郡稻里村 | 同 廿五日 | 松本市 |
| 同 廿六日 | 東筑摩郡鹽尻町 | 同 廿七日 | 岡谷市 |
| 同 廿八日 | 諏訪郡原村 | | |

其 他

一、本會總會

本會第三十八回總會、五月四日、明治神宮外苑競技場に於て開會、皇后陛下御名代東久邇宮稔彦王妃聰子内親王殿下の御台臨を仰ぎ令旨を賜ふ。

尙當日優良分會として記念リボンを授與せられ、彰功旗を樹立せし分會は諏訪郡宮川村分會並に同郡四賀村分會なり。

二、軍用飛行機信州婦人號献納計畫

五月、支部主催の中堅婦人講習會に當り下高井郡科野村須藤分會長より「毎日一握宛の米を節約し一ヶ月に一升蓄へる精神を基とし全信州各家庭婦人に呼びかけ軍用飛行機を献納しては如何」との提案あり、會衆に多大の共鳴を與へたり。之を動機として今回支部に於ては、本部及陸軍省の諒解を得、軍用飛行機信州婦人號献納運動を起すに至る。其献納運動趣旨左の如し。

飛行機信州婦人號献納運動

趣 旨

武力戦に於ける飛行機の威力が如何に偉大なるかは、我が忠烈なる荒鷲勇士の活躍に依つて遺憾なく證明せられて居ります。今や歐洲に於ける國際關係は何日何時世界戦争を捲起し、それが東洋に迄波及するやも分らない切迫した状態であります。殊に滿蘇國境に於ては既に飛行機戦が行はれて居るではありませんか。私共は何だか蘇聯飛行機の爆音が、空高く聞えて來るやうな氣がしてなりません。我が國が一層軍備充實の必要なることは申す迄もないと存じます。

私共は此の際、全信州の婦人が打つて一丸となり、總親和、總協力を以て軍用機信州婦人號壹機を献納し、非常時國策に對應し婦人報國の誠を效したいと存じます。本縣下三十三萬戸各家庭婦人の皆様方が此の精神を眞に御理解下さつて、例へば一ヶ月間毎日一握み宛のお米(一升となる)、麥秋に精麥一升五合、藪上りに藪二十五粒、又は消費節約に依る等、其の何れなりを飛行機献納の爲に御寄附下さいましたならば信州婦人號は出來るのでございます。

斯様に致しましたならば音に大切な飛行機献納が出來ますのみならず、動もすれば弛みがちな私共婦人の心を引きしめて、消費節約に資源愛護に又増産擴充に、一層國民精神總動員の趣旨を強化し以て銃後の守りを固ふることが出來ること、信じます。全信州婦人の皆様方、何卒此の際お互に手を握り合つて一大奮起し此の目的達成の爲に御贊助御協力下さいますことを切に御願ひ申し上げます。

昭和十四年七月

愛國婦人會長野縣支部

三、郷土部隊慰問使派遣

宇都宮師團管下栃木、群馬、茨城三縣と聯合し、婦人慰問班を北支に派遣する事となる。本縣代表丸子町分會長金子みつる外女子演藝師三名は四月二十三日東京驛出發廿六日北京に到着、其後軍の指示に従ひ順次第一線郷土部隊並に病院を慰問し、五月二十六日使命を果して歸縣せり。

四、トーカーの設備

支部にては本年、本部の補助金を得て十六ミリ光音D型映寫機一台を購入し出征軍人遺家族慰安に又銃後強化運動其他に利用せらるゝに至る。

〔昭和十五年〕

會員異動

一、新入會員は總數一萬三千四百五十七名、内年賦會員一萬六百七十一名、一時出金に依る終身會員二千七百八十六名にして現在會員は特別維持會員は三百十二名、終身會員四萬四千二百九十六名、年賦會員五萬八千七百八十五名、合計十萬三千三百九十三名なり、而して前年に比し、一萬一千四百七十五名の増加なり。

感謝狀

愛國婦人會長野縣支部

曩ニ本會が昭和十五年皇紀二千六百年ヲ期シ會員五百萬人以上ニ達セシムベク計畫ヲ樹立スルヤ之ニ對スル貴支部ノ成績顯著ニシテ克ク所期以上ノ目的ヲ貫徹セシハ蓋シ各本支部熱誠努力ノ賜ニシテ洵ニ感謝ニ堪ヘズ茲ニ記念トシテ特製卓子覆壹掛ヲ贈リ感謝ノ意ヲ表ス

昭和十五年十一月十日

愛國婦人會長 水野 萬壽子

軍事後援事業

一、生活扶助

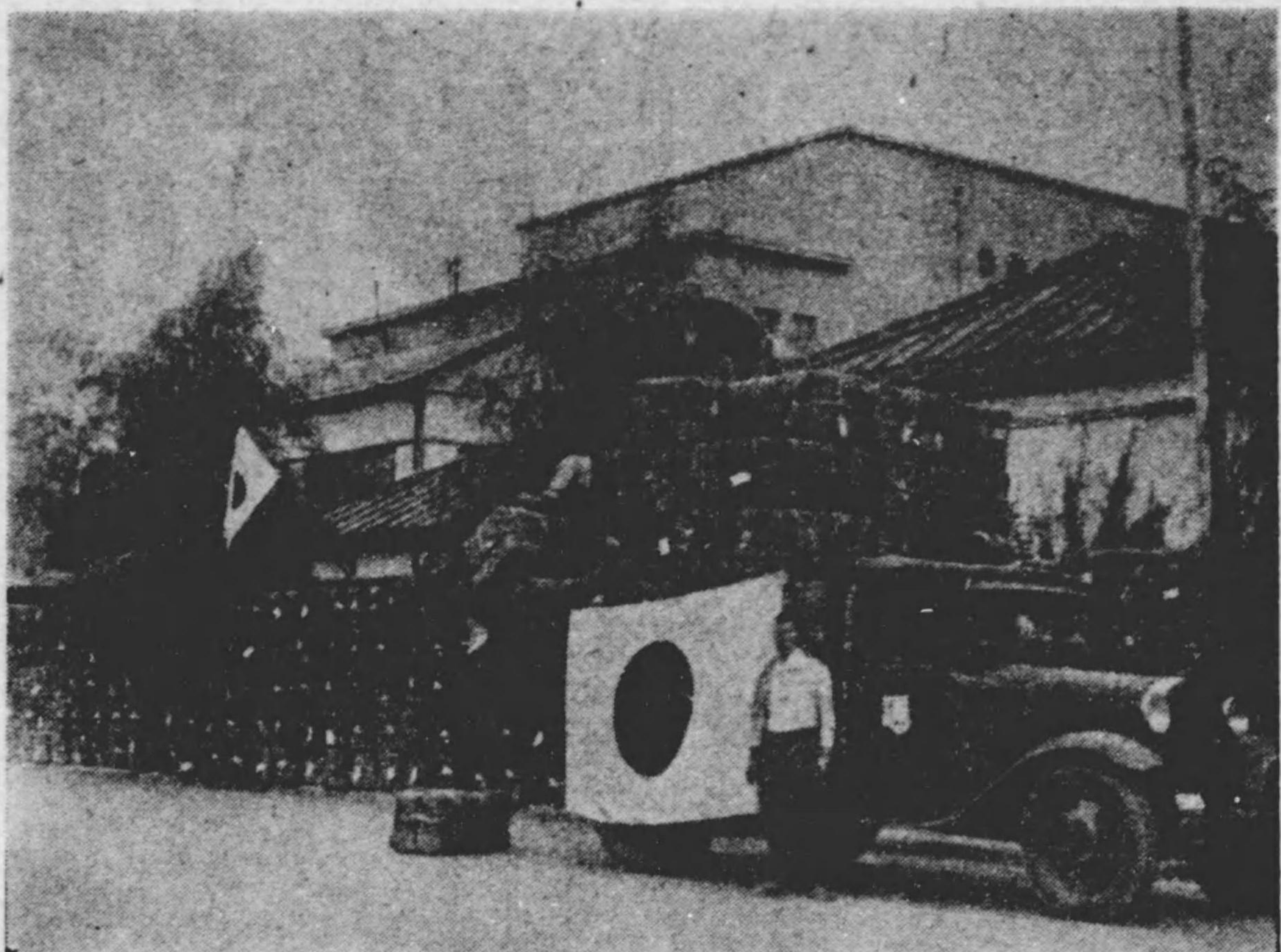
應召軍人家族にして罹災者家族に對し金二百六十八圓を贈與す。

二、産具配給

出征軍人遺家族（現役兵及歸還兵を含む）援助の爲めに綿、ガーゼ、油紙其他分婉に必要な産具一揃を無料（少數は有料）にて配給せる金額は一千百三十三圓二十錢なり。

三、弔慰、犒軍

- (イ) 戦死者遺族を弔問し金二十圓宛の慰問金を贈呈し尙公葬の際金五圓の香料及珠數を供養す。
- (ロ) 遺族及軍人家族慰安會を開きたる事三百四十四回に達す。
- (ハ) 陸海軍病院慰問接待及勞力奉仕の回数百五十五回、奉仕人員二千二百八十九人。
- (ニ) 入營者及軍隊慰問回数三十五回、慰問人員一千百八十一名。
- (ホ) 祈願祭執行三百三十回、参加人員二萬一千八百二十二名。
- (ヘ) 皇后陛下御歌御下賜の遺族に對し同額縁を贈呈す。
- (ト) 慰問袋 三萬六千五百二十五個、此見積價格



慰問袋發送

三萬六千五百二十五圓。

- (チ) 慰問品 二千七百三十點
 - (リ) 慰問狀 三萬七千通
 - (ヌ) 演習部隊慰問接待 五回
 - (ル) 傷痍軍人配偶者斡旋に關する諸費金五百四十七圓
- 四、資源造成
- (イ) 小額贖金 二萬五千八百七十九圓三十九錢
 - (ロ) 篤志寄附金 九十三件 六千二百二十五圓
 - (ハ) 販賣收入 一件 二百七十七圓

五、補助金及交付金

- (イ) 縣費補助金 八百五十二圓九十錢
- (ロ) 本部補助及交付金 二千二百七十圓七十四錢

六、拔毛及茶殻の蒐集

松本市分會は昭和十四年一月拔毛集めを開始し四ヶ月毎に整理賣却し本年十月迄に、百十六貫九百二十匁代金四百二十九圓四十二錢を得たるにより他の資金を合せて慰問袋を調製し十一月十八日松本聯隊區司令部へ一千五百八袋の發送方を依頼せり。

長野市分會にては十月蚊帳釣環を各家庭より蒐集せる際、以前より計畫中の茶殻を軍馬糧食として貯藏方を依頼し置き十一月下旬各分會幹事之を蒐集したるに一ヶ月約二十貫を得たり、今後毎月之を集め軍部に献納する事とせり。

七、滿洲農業移民後援

- 滿蒙開拓民壯行及弔慰金 二百二十七圓七十六錢
- 同 青少年義勇軍弔慰金 三十圓

八、感謝狀

- (イ) 宇都宮陸軍病院上山田轉地療養所長より療養中の皇軍傷病者慰問の爲レコード、雜誌類、舞踊寄贈に對する感謝狀五通を受く。
- (ロ) 松本陸軍病院長より病院收容中の戰傷病兵慰問の爲、菓子、雜誌、演奏會、其他寄贈に對する感謝狀二通を受く。
- (ハ) 陸軍大臣より、今次事變に際し出動軍隊慰問の爲恤兵品寄附に對し感謝狀八通を受く。
- (ニ) 海軍大臣より、今次事變に際し海軍將兵慰問の爲恤兵品を寄贈に對し感謝狀三通を受く。

社會事業

一、季節託兒所

| 開設所 | 開設日數 | 受託兒童數 | 奉仕人員 | 經費 |
|---------|------|-------|------|------|
| 南佐久郡切原村 | 三〇 | 101 | 122 | 331円 |
| 同 櫻井村 | 36 | 82 | 120 | 172 |
| 北佐久郡本牧村 | 22 | 110 | 42 | 232 |
| 小縣郡丸子町 | 15 | 06 | 25 | 122 |
| 同 縣村 | 22 | 22 | 17 | 221 |
| 同 神川村 | 12 | 22 | 12 | 222 |
| 同 長村 | 22 | 22 | 22 | 222 |

| | | | | | |
|----------|----|-----|----|----|----|
| 諏訪郡金澤村 | 一八 | 一六一 | 四 | 二七 | 二七 |
| 上伊那郡伊那富村 | 二四 | 三三 | 二 | 二七 | 二七 |
| 同 西春近村 | 三三 | 四〇 | 三〇 | 二七 | 二七 |
| 下伊那郡山吹村 | 二〇 | 二四〇 | 一〇 | 四八 | 四八 |
| 同 座光寺村 | 一五 | 一一 | 三 | 二〇 | 二〇 |
| 同 河野村 | 一五 | 六六 | 一三 | 一四 | 一四 |
| 西筑摩郡日義村 | 一五 | 八六 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 同 讀書村 | 一五 | 四三 | 七 | 一〇 | 一〇 |
| 東筑摩郡新村 | 一五 | 一三 | 七 | 一〇 | 一〇 |
| 同 錦部村 | 一六 | 一一〇 | 三 | 一六 | 一六 |
| 更級郡牧郷村 | 二五 | 一三 | 八 | 一六 | 一六 |
| 同 中津村 | 三三 | 八 | 一四 | 一六 | 一六 |
| 同 青木島村 | 三三 | 一三 | 一四 | 一六 | 一六 |
| 埴科郡屋代町 | 二二 | 二〇 | 七 | 一六 | 一六 |
| 同 埴生村 | 四〇 | 四 | 一四 | 一六 | 一六 |
| 上高井郡保科村 | 二〇 | 一一 | 三〇 | 一六 | 一六 |
| 同 豊丘村 | 二〇 | 二 | 三〇 | 一六 | 一六 |
| 下高井郡高丘村 | 一六 | 二 | 一 | 一六 | 一六 |
| 同 日野村 | 一五 | 一一 | 五 | 一六 | 一六 |
| 同 瑞穂村 | 一〇 | 一〇 | 二 | 一六 | 一六 |
| 同 夜間瀬村 | 一〇 | 三六 | 四〇 | 一六 | 一六 |

| | | | | | |
|---------|----|-----|-----|-----|-----|
| 上水内郡長沼村 | 一五 | 一六〇 | 一〇 | 一一〇 | 一一〇 |
| 長野市 | 四一 | 八二 | 一五 | 一一一 | 一一一 |
| 南佐久郡野澤町 | 四〇 | 一五七 | 四 | 一一〇 | 一一〇 |
| 同 中込町 | 五〇 | 一〇 | 三六 | 一一〇 | 一一〇 |
| 小縣郡長瀬村 | 二〇 | 八 | 二〇 | 一一〇 | 一一〇 |
| 下伊那郡鼎村 | 四四 | 七九 | 三 | 一一〇 | 一一〇 |
| 諏訪郡長地村 | 三〇 | 二九 | 八 | 一一〇 | 一一〇 |
| 下伊那郡松尾村 | 一六 | 一一〇 | 一七 | 一一〇 | 一一〇 |
| 上高井郡豊洲村 | 六〇 | 九 | 二四〇 | 一一〇 | 一一〇 |
| 小縣郡長窪古町 | 九 | 四 | 五 | 一一〇 | 一一〇 |
| 東筑摩郡豊尻町 | 一六 | 三〇 | 六 | 一一〇 | 一一〇 |
| 上水内郡若槻村 | 六 | 一〇 | 延入 | 一一〇 | 一一〇 |
| 南佐久郡榮村 | 二五 | 一七 | 三 | 一一〇 | 一一〇 |
| 諏訪郡玉川村 | 六 | 三三 | 六 | 一一〇 | 一一〇 |

右の内野澤町、中込町、長瀬村、鼎村、長地村、松尾村、豊洲村の七託児所は前年度より繼續にて各金三十圓を補助し、其他三十五町村託児所は本年度新設なり。支部にては開設日數、受託兒童數、經費等を斟酌して、金五十圓以内の補助を行ふ。補助合計金一千六百八十圓なり。

- 二、女子救済事業
- 女子救済資金貸付 一人に對し金三十圓
- 三、婦人報國運動

(イ) 集會

講演會開催 八回 經費金二百八十圓
 映畫會 二十四回 經費金三百九十五圓
 協議會、座談會 四回 經費金百八十五圓
 (ロ) 愛國貯金(一日一錢以上三年以上据置)

組合數

| 新設 | 既設 | 計 | 口數 | 貯金月額 | 貯金總額 |
|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 二〇〇 | 二、三二八 | 二、五二八 | 六、〇九八 | 三、〇三三 | 八三、〇〇〇 |

(ハ) 日の皇子の祝ひ日(十二月二十三日)

○支部及市町村の主なる分會に於て奉祝式並に祈願祭を舉行し尙不遇兒童收容所の慰問を行ふ。
 (三) 戰事物資回收献納

○茶設 三百六十八貫匁 價格六十七圓を献納。
 ○蚊帳吊鑽 一千九百七十八貫を回收献納。

分會總會其他の集會

| 種別/區分 | 分會又は分區名 | 種別/區分 | 分會又は分區名 |
|--------|----------------|-------|----------|
| 分會役職員會 | 南佐久郡白田町外二十二分會 | 分會總會 | 上伊那郡 宮田村 |
| 同 | 北佐久郡岩村田町外二十七分會 | 同 | 下伊那郡 生田村 |
| 同 | 小縣郡長久保新町外三十二分會 | 同 | 同 智里村 |
| 同 | 上田市分會 | 同 | 東筑摩郡 山形村 |

分會役職員會

西筑摩郡福島町外九分會
 東筑摩郡鹽尻町外二十七分會
 埴科郡屋代町外十六分會
 上水内郡大豆島村外十四分會
 岡谷市分會

支部役員研究會
 分會總會
 支部長、同副長、評議員
 毎月第一月曜(十二回)
 上伊那郡中箕輪村外二ヶ村聯合
 上水内郡朝陽村外十ヶ村聯合
 南佐久郡野澤町外四ヶ村聯合
 南佐久郡野澤町
 中込町
 海瀬町
 榮村
 穂積村
 諏訪郡本郷村
 玉川村
 金澤村
 原村
 落合村
 富士見村

分會總會

東筑摩郡 中山村
 同 本城村
 同 片丘村
 同 筑摩地村
 西筑摩郡 上松町
 更級郡 西寺尾村
 同 鹽崎村
 同 篠ノ井町
 同 東福寺村
 埴科郡 清野村
 同 屋代町
 同 雨宮縣村
 同 保科村
 上高井郡 延徳村
 同 木鳥村
 上水内郡 中郷村
 同 大豆島村
 北佐久郡 高瀬村
 小縣郡 豊里村
 同 神科村

| | | | |
|------|---------|------|----------|
| 分會總會 | 諏訪郡永明村 | 分會總會 | 小縣郡依田村 |
| 同 | 豐田村 | 同 | 同縣村 |
| 同 | 金澤村 | 同 | 下伊那郡大島村 |
| 同 | 米澤村 | 同 | 北安曇郡南小谷村 |
| 同 | 上伊那郡伊那町 | 同 | 埴科郡杭瀬下村 |
| 同 | 長野市 | 同 | 岡谷市 |
| 同 | 松本市 | 同 | 北佐久郡本牧村 |

彰功旗授與

一、附加章

| | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 南佐久郡野澤町 | 諏訪郡原村 | 埴科郡清野村 | 埴科郡屋代町 |
| 岡谷市 | 飯田市 | 上伊那郡東箕輪村 | 北佐久郡高瀬村 |
| 諏訪郡米澤村 | 南佐久郡中込町 | 上水内郡大豆島村 | 上水内郡柳原村 |
| 上水内郡神郷村 | 上水内郡島居村 | 上水内郡古里村 | 下高井郡科野村 |
| 北佐久郡本牧村 | 南佐久郡大澤村 | 南佐久郡櫻井村 | 南佐久郡前山村 |
| 東筑摩郡筑摩地村 | 東筑摩郡五常村 | | |
| 上高井郡保科村 | 東筑摩郡波田村 | 下高井郡木島村 | 東筑摩郡山形村 |
| 下高井郡市川村 | 下伊那郡生田村 | 東筑摩郡中山村 | 上水内郡中郷村 |
| 埴科郡清野村 | 埴科郡屋代町 | 埴科郡雨宮縣村 | 上伊那郡箕輪村 |
| 上伊那郡中箕輪村 | 南佐久郡海瀨村 | 小縣郡依田村 | 北佐久郡北大井村 |

二、甲種彰功旗

| | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 小縣郡縣村 | 北佐久郡高瀬村 | 南佐久郡榮村 | 東筑摩郡麻績村 |
| 上水内郡朝陽村 | 上水内郡長沼村 | 上水内郡若槻村 | 上水内郡淺川村 |
| 上水内郡芋井村 | 上水内郡小田切村 | 東筑摩郡本城村 | 南佐久郡穂積村 |
| 更級郡篠ノ井町 | 東筑摩郡片丘村 | 東筑摩郡筑摩地村 | 南佐久郡平賀村 |
| 北佐久郡本牧村 | | | |

三、乙種彰功旗

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 南佐久郡海瀨村 | 更級郡東福寺村 | 小縣郡神科村 | 小縣郡依田村 |
| 東筑摩郡日向村 | 南佐久郡青沼村 | 下伊那郡智里村 | 西筑摩郡上松町 |
| 上伊那郡宮田村 | | | |

軍用飛行機愛國第四三四號献納

昨年七月全國に率先して軍用飛行機信州婦人號献納計畫を發表せしより、僅々半歳の時日を以て資金造成を遂げ、然も輝かしき皇紀二千六百年紀元の佳節を卜し、陸軍戦闘機一機を指定し之が献納の手續を完了す。而して五月六日羽田東京飛行場に於て命名式を舉行せられ陸軍大臣より「愛國第四三四信州婦人」と命名せらる。當日は本縣献納者代表たる當支部長事故不參の爲め下高井郡科野村分會長須藤とく、上諏訪町分會長丸山不美子代表者として式に參列す。

尙ほ陸軍に於ては五月十日信州婦人號を以て信州上空に感謝飛行を實施せられ次いで二十三日信州婦人號は再度飛來し長野、松本、上田等に通信筒を投下して挨拶せらる。決算概要左の如し。

收 入
 金九萬四千六百十三圓八十錢
 寄 附 金
 金三百十二圓一錢
 預 金 利 子

收入合計金九萬四千九百二十五圓八十一錢

支出

| | |
|--------------------|------------------------|
| 金七萬五千六百九十一圓十四錢 | 飛行機献納費 |
| 金四千二百五十三圓六錢 | 交付金 |
| 金六百四十一圓七十六錢 | 會議費 |
| 金一千九百二十三圓四十四錢 | 事務費 |
| 金一萬二千四百十六圓四十一錢 | 陸軍省に献納金 |
| 支出計金九萬四千九百二十五圓八十一錢 | 飛行機献納に對する陸軍大臣の感謝狀左の如し。 |

感謝狀

戰國機 壹機

右献納ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘズ茲ニ深厚ナル謝意ヲ表ス

昭和十五年五月五日

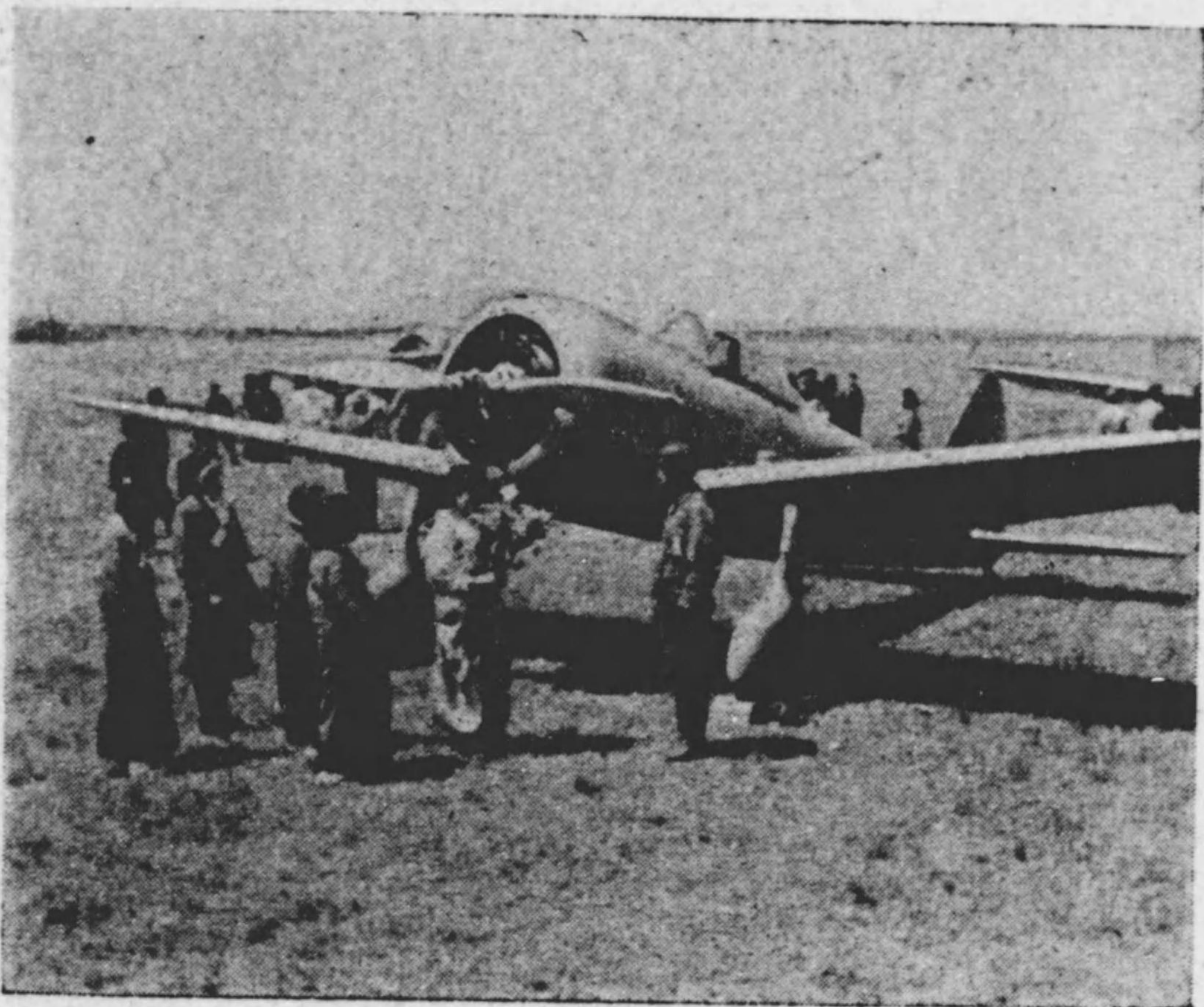
陸軍大臣 畑 俊 六

長野縣婦人

代表愛國婦人會長野縣支部長 富田マキ殿

創立四十周年本部記念事業計畫

明年は本會創立四十周年に相當するを以て之を記念する爲め本部に於ては次の記念事業を計畫し、尙益々會



愛國第四三四號信州婦人號

勢の伸展を圖り本會使命の達成に邁進せられたき旨の通牒あり。

- 一、陸軍及海軍へ「愛國婦人號」少くとも二十機以上献納、「愛國第四三四信州婦人號」献納は全國婦人を刺戟し、茲に本部の、本會創立四十周年記念事業愛國號献納計畫として現はるゝに至る。
- 二、愛國増産地設定
- 三、記念式舉行、功勞者表彰

皇紀二千六百年記念事業

一、長野縣護國神社へ建物献納（昭和十六年實施）

二、植樹植林實施

イ、實施計畫

○植林

一團地三反歩以上公有林野を無償にて借地し地拵へ及植栽等勞力一切分會員の奉仕により植林する事。右に對し支部は縣の獎勵金と併せ總經費の五分の二以内に相當する金額を補助す。

○植樹

空間地を利用し會員各自一戸一本を目標とし適當なる果樹を植栽す。一分會五十本以上植栽したる場合は豫算の範圍内に於て支部より補助をなす。

○神社に記念植樹

市町村内の神社に適當なる献木をなす。

ロ、實施狀況

○植林

| 市町村名 | 植林面積 | 植樹數 | 市町村名 | 植林面積 | 植樹數 |
|------|---------|---------|------|--------|--------|
| 御代田村 | 一町三反歩 | 三、〇〇〇本 | 福島町 | 六反歩 | 一、八〇〇 |
| 豊里村 | 六反歩 | 二、五〇〇 | 吾妻村 | 一町四反歩 | 四、〇〇〇 |
| 富士見村 | 三町歩 | 一、七〇〇 | 今井村 | 五町歩 | 四六、〇〇〇 |
| 河南村 | 五町三反七畝 | 一〇、〇〇〇 | 入山邊村 | 一町歩 | 三、〇〇〇 |
| 泰阜村 | 二町歩 | 六、〇〇〇 | 桑原村 | 五反歩 | 二、〇〇〇 |
| 市田村 | 五反一畝 | 一、五〇〇 | 上田市 | 一町七反八畝 | 二、五〇〇 |
| 平谷村 | 二町歩 | 四、〇〇〇 | 飯田市 | 六反六畝 | 一、八〇〇 |
| 計 | 二五町七反二畝 | 八九、六〇〇本 | | | |

○植樹
 植樹種類 檜、落葉松、杉、赤松等

空閑地を利用し梅、柿、櫻桃、胡桃等五十本以上を植樹したる分會は四十分會、其植樹數二萬二千三百本に及ぶ。

三、本部主催にかゝる榎原神宮外苑に植樹及宮崎神官に石燈籠寄進の經費金百六十圓を送附す。

其他

一、十月九日日本會第三十九回總會明治神宮外苑競技場に於て開會、皇后陛下行啓あらせられ令旨を賜はる。當日支部を代表して彰功旗を樹立し優良分會として表彰せられたるは諏訪郡金澤村分會及同郡中洲村分會なり。

二、傷痍軍人配偶者祝賀
 今次事變に際し名譽の傷痍軍人たる者と結婚せる婦人に對し祝意と敬意を表する爲、支部より祝詞並に記念品（黒塗文庫）を贈呈する事とし實施す。

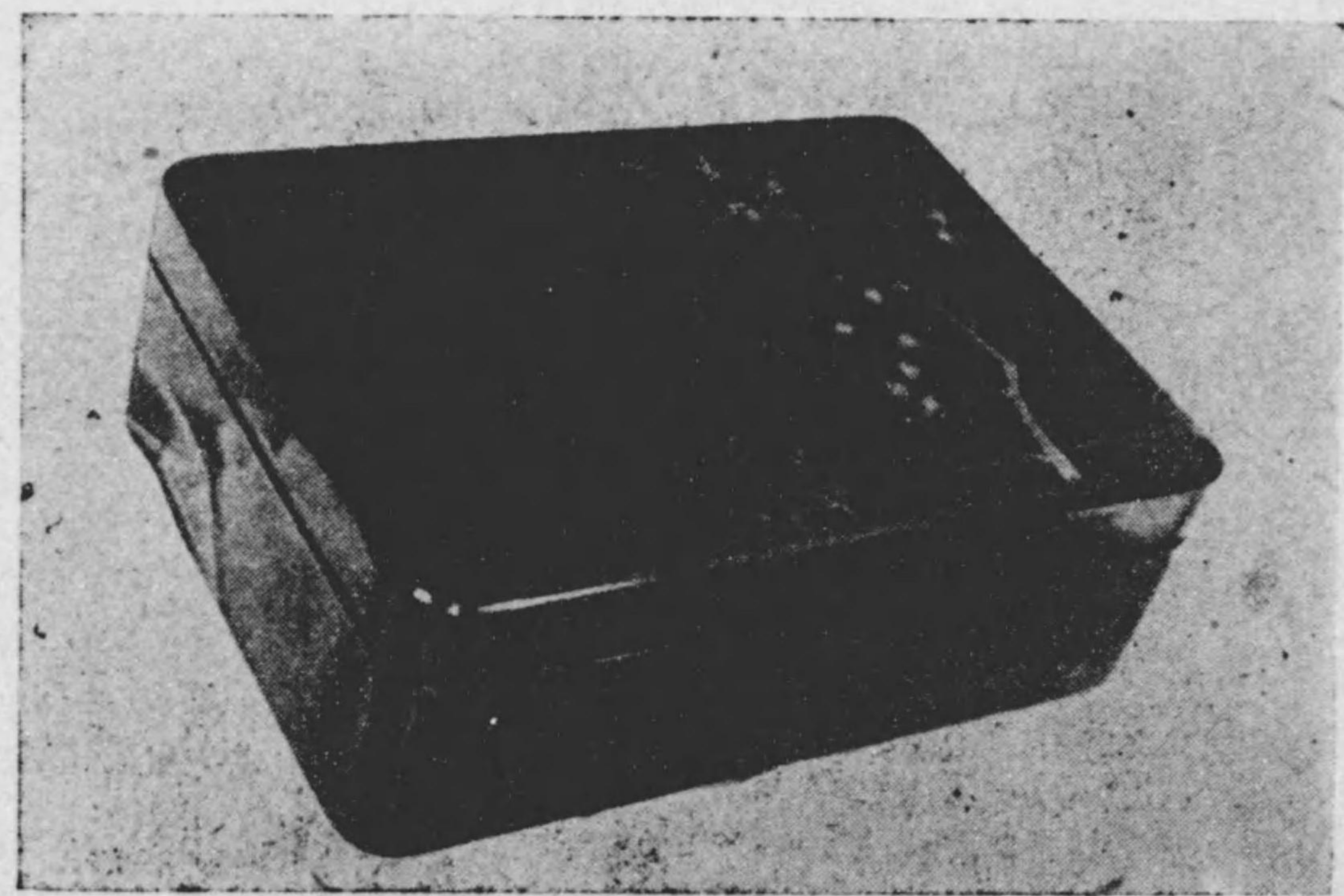
祝詞

皇國の榮えある歴史を、更に光輝あらしめんと、國を擧げて立つ此の時に際し大君の御楯と征きて名譽の戦傷を負はれられた勇士にその生涯の良き伴侶、無二の慰安者たるべく嫁ぎゆかれます、姉に對し、私共一同は敬慕祝福の念に堪へません。就いては今日の御かどでを私達もともども記念致し度く御よろこびの意をこめていさゝかの品を御餞けと致します、何卒生來の、高潔溫雅なる御心を以つて更正の第一歩を踏み出ださるゝ夫君を護り、幾久しく御幸福なる家庭生活に精進遊ばされますやう御祈り申上げて祝詞と致します。

年 月 日 愛國婦人會長野縣支部長

二、静岡市罹災義捐金品

一月十五十六日に亘る静岡市大災に際し義捐金を募集し左記の通り送附す。
 金四百九十五圓九十七錢當支部取纏め分、本部へ送金す、外分會より直接静岡縣支部へ送附分。
 金五百五十四圓八十六錢
 白米二石、衣類日用品千六百七十四點、學用品百五十四點、漬物十二樽、餅菰包十二個、菓子菰包二個



庫文の呈贈に者偶配人軍傷痍

〔昭和十六年〕

一、新入會員數 (九月末日現在調査)

| 一時出金 | 特別維持 | 特別 | 通常 | 合計 | 賛助員 |
|-------|------|-----|-------|-------|-----|
| 年 賦 一 | | 一〇四 | 一、四〇六 | 一、五一〇 | 一 |
| 年 賦 二 | | 二二〇 | 七、三四七 | 七、五五九 | 一 |
| 合計 | 二 | 三三四 | 八、七五三 | 九、〇六九 | 一 |

二、現在會員數

| 一時出金 | 特別維持 | 特別 | 通常 | 合計 | 賛助員 |
|---------|------|-------|---------|---------|-----|
| 年 賦 一八四 | | 六、四二五 | 四一、七〇三 | 四八、三二二 | 一 |
| 年 賦 一三〇 | | 二、三六四 | 六〇、二五〇 | 六二、七四四 | 一 |
| 合計 | 三一四 | 八、七八九 | 一〇一、九五三 | 一〇一、〇五六 | 八四〇 |

軍事後援事業 (九月末日現在)

- 一、生活扶助
一戸に對し金二十圓贈與。
- 二、産具配給
配給數二百三十二個分金六百七十六圓贈與。
- 三、罹災救助
應召軍人家族中長野地方震災及埴科郡森村の火災其他の罹災者に對し金七百八十五圓贈與。

四、弔慰

- イ、戦死者遺族を弔問し金二十圓の慰問金を贈呈し、公葬の際は香料金五圓を供養す、尙中元には遺族に水晶の手掛念珠を贈呈す。
 - ロ、皇后陛下御歌御下賜を蒙りたる遺族に對し同額縁を贈呈す。
- 五、慰問袋
献納數九千四百三十五個、此見積金額一萬四千百五十二圓五十錢
恤兵品献納に對し左の感謝狀を受領す。

感謝狀

今次事變ニ際シ出動軍隊慰問ノ爲恤兵品ノ御寄附ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘス茲ニ深厚ナル謝意ヲ表ス
昭和十六年四月
陸軍大臣 東 條 英 機

六、國防資材献納
愛國婦人會長長野縣支部殿

本部募集、本會創立四十周年記念事業たる軍用機献納資金として金九千五百圓を寄附す、而して献納式は九月二十日に舉行せらる。
右に對する陸海軍大臣よりの感謝狀左の如し。

感謝狀

國防資材ノ献納ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘス茲ニ深厚ナル謝意ヲ表ス
昭和十六年九月二十日

陸軍大臣 東條英機

社団法人愛國婦人會
長野縣支部殿

感謝狀

今次事變ニ際シ國防充實ノ趣旨ニ依リ献金ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘ
ス茲ニ深厚ナル謝意ヲ表ス
昭和十六年八月

海軍大臣 及川古志郎

愛國婦人會長長野縣支部殿

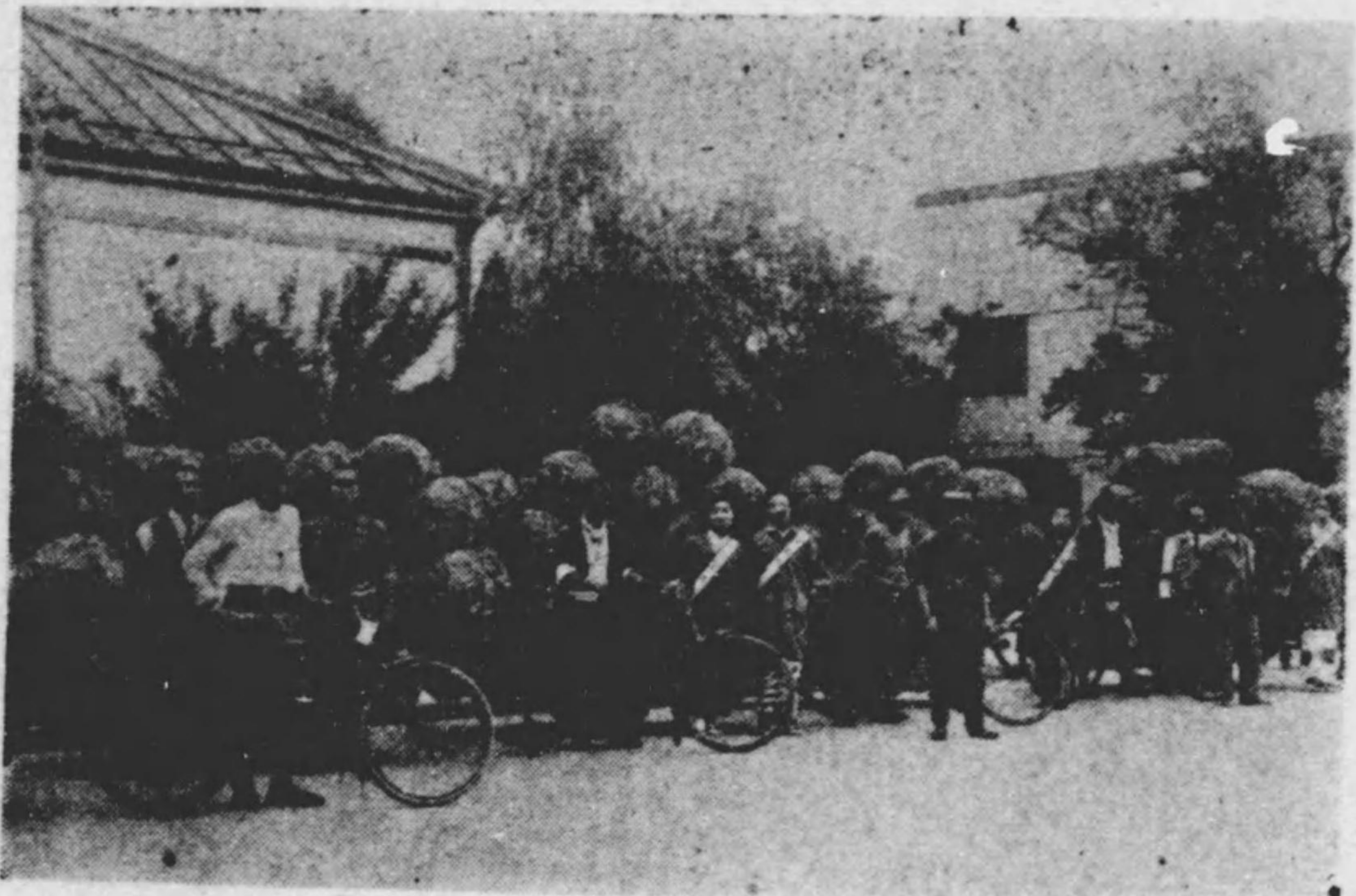
七、慰問狀發送

支部に於て一般現地將兵に對する慰問文を募集し七月末に集
まれる六千四百九十六通を聯隊區司令部を経て發送せり。

八、茶殼献納

前年度より繼續して各家庭より茶殻を蒐集し、支部へ送附せら
れし左記分會分を梱包し六月九日献納の手續を採りて發送せり
相數百三十二個 正味實數三百九貫四百匁

内譯 二百七十一貫六百五十匁 長野市分會
二十二貫四百匁 福島町分會
十五貫三百五十匁 岸野村分會



九、陸海軍病院及軍隊慰問

(イ) 三月二十五日、宇都宮陸軍病院上山田分院及長野療養所入院中の傷病將士慰問を行ふ。奥野、青山兩評議員出張。

(ロ) 五月六日、八日の兩日東京市へ出張中の鈴木支部長、村松副長外評議員數名は東京第一、第二陸軍病院、軍醫學校日本赤十字社病院、横須賀海軍病院に、尙先般村松副長は宇都宮陸軍病院及同分院に入院中の本縣出身戦傷病將兵を慰問す。

(ハ) 六月十三日長野市外若槻村傷痍軍人長野療養所庭内神社春季例祭に付村松、引田兩副長、藤井、尾崎兩評議員、小林長野市分會副長其他慰問す、尙餘興萬歳、喜劇、浪曲、詩吟、舞踊等を寄贈す。

(ニ) 七月五日、宇都宮陸軍病院上山田分院の傷病將兵を慰問す。尙縣廳内大空を仰ぐ會の會員の音楽、詩吟、漫談等あり。村松、引田兩副長、杉山、高野兩評議員出張す。

(ホ) 七月廿五日軍隊慰問の爲め鈴木支部長、村松、引田兩副長松本市に出張。

(ヘ) 八月四日軍隊慰問の爲め鈴木支部長引田副長松本市に出張。

九月二十八日支部長代理松本市分會長百瀬ゑい軍隊慰問を行ふ。
以上慰問金として七百十九圓二十五錢支出す。

十、支那事變に於ける金品寄贈又は奉仕事績調査

本部よりの通牒に依り昭和十二年七月七日より同十六年三月末日迄の間に於ける左記事項に關し功勞顯著なる者五百五十二名の調書を本部に報告せり。

一、金品寄贈

寄贈額十圓以上の金品を軍事援護の爲に出資せるもの。

二、勤勞奉仕参加回数

- イ、兵器々材献納運動、慰問袋蒐集及作製、廢品回收、愛國貯金、簡易保險集金
- ロ、遺族家族の職業又は家事上の手傳
- ハ、保育上への勞力奉仕
- ニ、陸海軍病院慰問
- ホ、戦死者葬儀参加
- ヘ、出征、戦傷病者、遺骨等の送迎
- ト、慰靈祭への参列
- チ、武運長久祈願

一一三二

但、出征、戦傷病者、遺骨等の送迎参加回数は三百回以上、其他の参加回数は合計百回以上を算するもののみ記載。

十一、滿洲开拓民後援

滿洲开拓民及青少年義勇軍壯行會には役員出席し菓子、青果を贈り死亡者に対しては香料を贈呈す。九月末現在に於て金九百八十九圓九十四錢を支出せり。

農繁期託兒所

| 開設所 | 開設日數 | 受託兒童數 | 奉仕人員 | 經費 |
|----------|------|-------|------|-------|
| 南佐久郡平賀村 | 一五 | 一六〇 | 二四 | 二〇〇 |
| 同 岸野村 | 一五 | 九〇 | 四五 | 七五 |
| 北佐久郡中佐都村 | 一六 | 四〇〇 | 三三 | 一九〇 |
| 小縣郡傍陽村 | 一六 | 二五二 | 四六〇 | 一、二八三 |
| 同 神科村 | 一五 | 三六七 | 九三 | 五二〇 |
| 同 西鹽田村 | 一五 | 一九八 | 一〇 | 九六五 |
| 諏訪郡宮川村 | 一六 | 二六 | 二 | 七三 |
| 下伊那郡千代村 | 一〇 | 一〇三 | 五 | 六〇一 |
| 東筑摩郡本城村 | 一〇 | 一六三 | 三〇 | 三四五 |
| 同 東川手村 | 一〇 | 一〇一 | 六 | 一九五 |
| 南安曇郡穂高村 | 一〇 | 一〇一 | 二 | 一五〇 |
| 同 倭村 | 一〇 | 七 | 二 | 一七〇 |
| 同 温村 | 一〇 | 二 | 二 | 一三〇 |

以上二十二個所は新設

| | | | | |
|---------|----|-----|-----|-------|
| 更級郡上山田村 | 二二 | 二八 | 三 | 一〇〇 |
| 同 御厨村 | 二五 | 二四 | 七 | 一四四 |
| 埴科郡五加村 | 三五 | 一五〇 | 七五 | 二五〇 |
| 同 西條村 | 三四 | 二一〇 | 三五 | 二六〇 |
| 同 豊榮村 | 二二 | 一〇〇 | 一四四 | 五五〇 |
| 下高井郡延徳村 | 一六 | 二二五 | 五 | 三三五 |
| 同 穂波村 | 二二 | 〇 | 一〇 | 一一九 |
| 上水内郡三水村 | 一四 | 五〇五 | 二八〇 | 一、九七〇 |
| 同 古間村 | 一四 | 二五三 | 二六 | 二九六 |
| 南佐久郡野澤町 | 二二 | 一五三 | 六四 | 二〇三 |
| 同 榮村 | 二七 | 一八四 | 一〇一 | 二一〇 |
| 同 切原村 | 二二 | 一三四 | 一八一 | 二二七 |
| 同 大澤村 | 二二 | 九八 | 四三 | 〇 |
| 同 櫻井村 | 一七 | 七四 | 八八 | 一三一 |
| 小縣郡長窪古町 | 九三 | 一〇五 | 一三三 | 一、二六三 |
| 同 縣村 | 三三 | 五九五 | 三〇 | 一、八三五 |
| 同 神川村 | 二七 | 三四八 | 一五 | 二、五三五 |
| 同 長村 | 三四 | 四九三 | 一八 | 一、五一一 |
| 同 長瀬村 | 二六 | 八八 | 五六 | 三三七 |



(會分村澤金) 所 兒 託

一一三三

| | | | | | | | | | |
|----------|----|--------|-----|-----|----------|----|-----|------|-----|
| 諏訪郡長地村 | 二七 | 二二一 | 八五 | 一六八 | 更級那牧郷村 | 三〇 | 四六〇 | 一三六 | 五四〇 |
| 同 玉川村 | 一九 | 一一四 | 九 | 四九四 | 同 中津村 | 三六 | 一八六 | 三〇 | 三〇三 |
| 同 金澤村 | 七 | 延一、一〇〇 | 八 | 一 | 同 青木島村 | 一〇 | 五〇 | 一〇 | 七五 |
| 上伊那郡伊那富村 | 二六 | 三六八 | 九七 | 七〇 | 埴科郡屋代町 | 三三 | 六二 | 六二 | 二一四 |
| 同 西春近村 | 二二 | 八〇八 | 三六 | 四〇五 | 同 埴生村 | 四〇 | 五〇 | 一 | 三〇一 |
| 下伊那郡座光寺村 | 八 | 一一四 | 四五 | 二一五 | 上高井郡保科村 | 二二 | 一四七 | 三三 | 三七五 |
| 同 鼎村 | 三三 | 八三六 | 三五 | 五五四 | 同 豊丘村 | 一〇 | 九〇 | 四三 | 一三八 |
| 同 松尾村 | 一〇 | 二一〇 | 四三 | 二二〇 | 同 豊洲村 | 六〇 | 三〇三 | 一八 | 四九五 |
| 西筑摩郡日義村 | 一七 | 二二六 | 八四 | 二二五 | 下高井郡夜間瀬村 | 一〇 | 五七 | 四〇 | 六五七 |
| 同 讀書村 | 一〇 | 四一〇 | 八 | 一三五 | 同 瑞穂村 | 一〇 | 三三七 | 二七 | 一八五 |
| 東筑摩郡錦部村 | 二〇 | 一三五 | 一一〇 | 二二五 | 上水内郡若槻村 | 五 | 二二二 | 延二〇六 | 八八〇 |
| 同 新村 | 二四 | 一四四 | 八六 | 二一〇 | | | | | |

補助金、新設分會に金九百圓、繼續分會に九百八十圓、合計一千八百八十圓を交付す。

愛國増産地設置

以上三十三個所は前年度より繼續

本會創立四十周年記念事業として國策上重要問題たる食糧確保の一端に資すると共に會員の勤勞、協同精神を一層強調し併せて分會事業資源造成の一助として、愛國増産地設置運動を實施す。

一、方法

(イ) 設置主體 愛國婦人會市町村分會又は分區。

(ロ) 土地 官、公有地、共有地、民有地の荒蕪地、沼澤地、濕潤地、河川敷地又は市街地附近の空閑地を成るべく無償にて拂下げ讓渡又は貸與を受くること。

(ハ) 栽培種目 水稻、陸稻、大小麥、玉蜀黍、粟等の穀物、豆類、甘藷馬鈴薯等の芋類、人參牛蒡其他の野菜類、蕎麥、麻、茶、ハブ草等の採種用菜。

(ニ) 作業 開墾、乾拓又は耕作は勤勞奉仕日を設定し一齊に従事するか、又は組を分ちて交互に作業を爲す。

(ホ) 收穫物處理 賣却して分會の收入とし成るべく國債の購入又は愛國貯金とすること。

二、獎勵方法

(イ) 申請により本部は實績を調査し豫算の範圍内に於て相當額を補助す。

(ロ) 實績優良と認むる分會(分區)には金壹封を贈りて表彰す。

三、右に依り愛國増産地を設置し、補助を申請したる分會の調査概要左の如し。

| 分會名 | 所在地 | 土地 | 耕作面積 | 奉仕人員 | 栽培種目 | 八月末迄ノ收穫物 | 分會支出經費 | 摘要 |
|---------|---------|----|-------|--------|-----------|----------|--------|---------------|
| 松本市分會 | 松本市丸ノ内 | 荒蕪 | 五〇〇坪 | 延一、一〇〇 | 馬鈴薯、大豆、大根 | 馬鈴薯三〇〇貫 | 一六三圓 | |
| 上山田分會 | 上山田村字新山 | 荒蕪 | 一一〇 | 延三三六 | 馬鈴薯、小豆 | 馬鈴薯三三貫 | 五四、三 | |
| 保科村分會 | 保科村字須谷 | 荒蕪 | 三九〇 | 延二五〇 | 馬鈴薯、大豆 | 馬鈴薯三〇貫 | 三九、五 | 其他各自空閑地利用一反歩 |
| 古里村分會 | 古里村字下駒澤 | 荒蕪 | 一一〇 | 延三九 | 馬鈴薯、棉花 | 馬鈴薯三〇貫 | 五七、〇〇 | |
| 金澤村分會 | 金澤村字馬銅場 | 荒蕪 | 三〇〇 | 延一九 | 藥草、當歸 | | 三〇、〇〇 | |
| 穗高町分會 | 穗高町六、五二 | 空閑 | 四〇〇 | 延一、〇〇三 | 馬鈴薯、大麻 | 馬鈴薯三五貫 | 八三、〇〇 | |
| 南佐久榮村分會 | 榮村、高野町 | 荒蕪 | 九九〇 | 延四〇〇 | 馬鈴薯、大麻、小麥 | 馬鈴薯五〇貫 | 一八五、〇〇 | 桑株拔五〇圓 小作料四〇圓 |
| 小海村分會 | 小海村新田外一 | 荒蕪 | 一、三九〇 | 延四九〇 | 馬鈴薯、小豆 | 馬鈴薯三七貫 | 一七五、〇〇 | 小作料六六圓 |
| 計 | | | 四、一〇〇 | 延一、七〇〇 | | | 七五八、二 | |

苧麻栽培奨励

厚生省の指示に基き醫藥ヒマシ油原料苧麻栽培を奨励し、結實せし種子は栽培分會に於て取纏め指定せられたる會社に賣却せしめたり。栽培分會次の如し。

- 長野市
 更級郡 篠ノ井町、共和村、中津村
 上水内郡 浅川村、若槻村、神郷村、鳥居村、中郷村
 上高井郡 保科村、豊洲村

彰功旗授與

附加章

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 埴科郡寺尾村 | 北佐久郡北大井村 | 更級郡共和村 |
| 上高井郡日野村 | 東筑摩郡會田村 | 南佐久郡岸野村 |
| 更級郡小島田村 | 下伊那郡市田村 | 下伊那郡山吹村 |
| 甲種彰功旗 | | |
| 更級郡共和村 | 東筑摩郡岡田村 | 東筑摩郡島内村 |
| 東筑摩郡入山邊村 | 上伊那郡朝日村 | 上高井郡日野村 |
| 下高井郡延徳村 | 小縣郡滋野村 | 小縣郡神川村 |
| 埴科郡松代町 | 下水内郡秋津村 | 上高井郡都住村 |
| 小縣郡神科村 | 上伊那郡東春近村 | |



(會分村里古) 置設地産増國愛

東筑摩郡日向村 南佐久郡青沼村
 分會役職員會及分會總會其他の集合

一、分會役職員會

(イ) 會次第

會場正面に國旗掲揚

- 一、開會の辭
- 一、國歌齊唱
- 一、宮城遙拜
- 一、默禱 皇軍武運長久並傷病將兵の平癒祈願
 及戦病歿軍人の英靈に對し感謝

(ロ) 支部長挨拶

支部長の挨拶要旨

本日は御忙しい處を特に御參集を煩はしました處多數の御參會を頂きましたことは誠に有難く存じます。實は御參會の時期は何かと御忙しい折で甚だ御迷惑の事とは存じましたが何分取急ぎ皆様方を通して會員御一同様へ御傳へを願つたり又御了解御賛成を煩はさねばならぬ事が御座いましたので御迷惑とは存じ乍ら御會同を煩はした次第で御座います。それは豫て懸案で御座いました婦人團體統合問題に關した事柄で御座います。御承知かと存じます。此の問題に關しましては去る六月十日の閣議で政府としての根本方針が別紙結成要項の様決定せられました之に對し我愛國婦人會の最高幹部の方々も種々考慮に考慮を重ねた結果大局から考へまして婦人團體統合に賛意を表せられた次第で御座います。之れと同時に愛國婦人會大日本國防婦人會大日本聯合婦人會の三團體協議打合せの結果統合に關する別紙の様な共同聲明を發表された次第で御座います。最近に各婦人團體から三名づつの委員と翼賛會側から三名其の他から二名計十四名の委員の方々も決定せられ新婦人

團體結成に就て協議決定下さる段取りで着々進行中で御座います。従つて新婦人會の一切の内容は該委員會終了後ならで知る由も御座いませんが大體は政府案の結成要綱が根幹を爲す事と存せられます。又新婦人會が結成されると同時に我愛國婦人會も形式上解散となる譯で御座いますが其の時期や方法等は前述の状態で御座いますので明確に御傳へは不可能で御座います。何れ追て解散に關する一切の事並に新婦人會の事については御知せ申上げて御善處願ふ事にならふと存じます何れに致しましても我愛國婦人會と致しましては奥村會祖の熱烈なる愛國精神に鑑み愛婦傳統の精神であり事業である軍事後援の仕事は統合問題の如何に關らず最後まで爲し遂げまして愛婦としての有終の美を爲す様切に希望に堪えない次第で御座います。支部と致しましても解散まではあくまで立派にやつて参りたいと存じてゐる次第で御座いますそれにつきまして是非皆様方の御了解を頂きたき事は本年の會費は是非御納入下さる様切に御願ひ申上ぐる次第で御座います。本會の性質上會費の納入なくては事業は全然不可能で御座います事を御了解願ひ度い次第で御座います。猶統合問題に關連致して差當り氣付きました二、三の點はこれから支部職員から御説明申上げたいと存じます。

以上申上げて私の御挨拶と致します。

(参考)

新婦人團體結成要綱

第一 結成方式

- 一、高度國防國家建設ノ要請ニ即應スル婦人體制確立ノタメ關係婦人團體ヲ統一シ一元的ニ統合セラレタル新婦人團體ヲ結成スルコト
- 二、新團體ハ愛國婦人會、大日本國防婦人會、大日本聯合婦人會ノ三團體ノ統合ヲ主眼トシ其ノ他ハ新團體結成後

逐次之ニ統合セシムルコト

第二 名稱

新團體ノ名稱ハ新ニ之ヲ定ムルコト

第三 目的

皇國傳統ノ婦道ニ則リ修身齊家奉公ノ實ヲ舉グルヲ以テ目的トスルコト

第四 事業

- 一、新團體ノ行フ事業左ノ如シ
 - 一、皇國傳統ノ婦徳修練ニ關スル事項
 - 一、家庭生活ノ非常準備確立ニ關スル事項
 - 一、子女ノ養育、家庭保健其ノ他家庭生活ノ整備ニ關スル事項
 - 一、家庭教育振興ニ關スル事項
 - 一、國防上必要ナル訓練ニ關スル事項
 - 一、軍人援護ニ關スル事項
 - 一、隣保相扶ニ關スル事項
 - 一、其ノ他本會ノ目的ニ照シ必要ナル事項
- 二、新團體ノ中央地方本支部ニ於テハ施設ヲ伴フ事業ハ之ヲ行ハズ、分會ニ於ケル事業ハ奉仕ノ趣旨ニ依リ且其ノ事業ハ當該分會ノ經費ノ範圍ニ止ムルコト

第五 組織

- 一、允許ヲ得 皇族妃殿下ヲ總裁ニ奉體スルコト

- 二、會員ハ日本婦人タルコト但シ年齢滿二十歳以下ノ未婚者ヲ除ク
 - 三、新團體ノ組織範圍ハ内地、臺灣、樺太、南洋群島トシ支那、滿洲、關東州ハ除ク
 - 四、新團體ハ東京ニ中央本部ヲ設クルコト
内地ニ在リテハ道府縣ニ地方本部ヲ、概ネ郡、市ニ支部ヲ、概ネ市町村ニ分會ヲ設クルコト
朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島ニ在リテハ朝鮮本部、臺灣本部、樺太本部、南洋群島本部ヲ置キ内地ノ組織ニ準ジ必要ナル下部組織ヲ設クルコト
 - 五、新團體ノ役員中各組織ノ長及副長ハ女子ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ノ役員ハ男、女子ヲ以テ之ニ充ツルモノトスルコト
 - 六、官公吏ハ新團體ノ有給常任役員トナラザルコト
 - 七、中央本部ノ役員左ノ如シ
會長 一
副會長 若干
理事 若干 内理事長一名、常任理事若干
參與 若干 外ニ顧問ヲ置クコトヲ得
 - 八、新團體ノ中央本部主要役員ハ監督官廳推薦スルコト
 - 九、外地本部主要役員ハ總督又ハ長官、地方本部主要役員ハ地方長官、關係軍部地方官廳ノ長ト協議ノ上推薦スルコト
- 第六 經 費
- 一、新團體ノ經費ハ會員（一人一年六十錢以内、但シ家庭ノ事情等ニ依リ徵收セザルコトヲ得）其ノ他ノ收入ヲ以

テ之ニ充ツルモノトス

- 二、新團體ハ寄附募集ヲ行ハザルコト

第七 監督指導

- 一、新團體ノ監督ハ内務、陸軍、海軍、文部、拓務、厚生六省共管トシ補助金豫算ハ厚生省ニ於テ計上スルコト
 - 二、新團體ノ地方ニ於ケル監督ハ地方長官之ヲ行フ但シ國防訓練ノ普及ニ關シテハ陸海軍大臣ノ定ムル地方官廳ノ長、地方長官ト協議ノ上之ヲ指導スルモノトスルコト
- 新團體ノ外地ニ於ケル監督ハ總督又ハ長官之ヲ行フ但シ國防訓練ノ普及ニ關シテハ前項但シ書ノ例ニ依ルコト

第八 雜

新團體ハ統合ニ關係アル既存團體ノ清算財産中新團體ノ目的達成上必要ナル財産ヲ引繼グモノトスルコト
統合ニ關係アル既存團體ノ解消ハ同時ニ行フモノトスルコト

(参考一)

婦人團體統合に關する三團體聲明

政府に於かれまして今回多年の懸案でありました婦人團體統合の基本方針を御決定になりました事は洵によろこばしい事と存じます。

私共の團體は夫々使命乃至はその沿革に於て相異なるものがありまして、従來はその團體夫々の立場に於て微力乍ら御奉公の誠を捧げて参つたのであります。團體が幾つにも岐れて居りました事は私共としても正直なところ時には色々な差障りを感じた點も多分にあつたのであります。世間に傳へられる程その間に抗爭摩擦があつたとは思ひませんし、各團體が互に切磋琢磨してその活動に一段の力強さを覺えて居つたのであります。他團體の存在がお互に非常に大きな激勵となつて居つた事も事實であります。然し乍らこの未曾有の時局はお互が國內に於て互に勵

まし合ふ程度では到底乗り切れるものではありません。日本婦人の凡てが眞に一體となつて時艱克服に邁進する事が現下の時局に於て最も大きな使命である事を思ひます時、政府の今回の御方針には満腔の賛意を表するものであります。而も今度の御方針に基いて私共婦人の手で新團體を結成せしめられる事になりましたのは、私共婦人の要望を盛り込んだほんとに生きて血の通つた新團體をつくり得る大きな機會でありまして、この點實にうれしく存じて居ります。

私共はこの際時局下流行的傾向とも見られる統制ばりの婦人團體を形式的につくり上げてはならないと存じます。私共各團體の歴史の中に生きて居られる先人達の血と汗によつて築き上げられた婦人報國の生命を新團體に受けついで過去の一切の行き懸りを清算し報國の至情に燃えて婦人奉公の眞の機構を作り上げる事に努力致し度いと念願して居ります。

愛 國 婦 人 會
大 日 本 國 防 婦 人 會
大 日 本 聯 合 婦 人 會

(ハ) 協議並打合せ事項

- 一、新會員募集に關する件
- 一、銃後後援事業に關する件
- 一、本會解散まで支部として繼續見込の主なる事項
- 戦病歿軍人遺族慰問金贈呈の件
- 右同 香料贈呈の件
- 産具配給に關する件

(ニ) 申合せ

當日各會議に於て夫々宣言又は申合せをなせり。今、七月二日上田市及小縣郡の役職員會議に於ける申合を掲ぐれば左の如し。

申 合 せ

愛國婦人會役職員タル私共ハ近ク世局ノ状態ニ應ジ躍進的解散ヲセラルルニ際シ本會最後ノ一日迄會員トシテノ責務ヲ果シ本會創設ノ使命ヲ達成シ有終ノ美ヲ結ブ事ヲ誓フ

(ホ) 期日及開催地

期 日 集 合 分 會 數
六月二十六日 南佐久郡北牧村外七分會

期 日 集 合 分 會 數
六月二十七日 南佐久郡白田町外十四分會

二、分會總會、其他

| | | | |
|--------|------------------|--------|---------------------|
| 同二十八日 | 北佐久郡岩村田町外十七分會 | 同二十九日 | 北佐久郡本牧村外九分會 |
| 同三十日 | 小縣郡九子町外七分會 | 七月二日 | 上田市分會、小縣郡滋野村外二十四分會 |
| 七月三日 | 埴科郡一圓十七分會(屋代町) | 同四日 | 更級郡篠ノ井町外二十二分會 |
| 同五日 | 更級郡日原村外三分會 | 同六日 | 上高井郡一圓十四分會(須坂町) |
| 同八日 | 下高井郡中野町外十一分會 | 同九日 | 下高井郡豐郷村外七分會 |
| 同十日 | 下水内郡一圓十分分會(飯山町) | 同十一日 | 長野市分會、上水内郡大豆島村外十四分會 |
| 同十二日 | 上水内郡中郷村外六分會 | 同十三日 | 上水内郡榮村外六分會 |
| 六月二十六日 | 諏訪郡上諏訪町外十九分會 | 六月二十七日 | 岡谷市分會、諏訪郡長地村外二分會 |
| 同二十八日 | 上伊那郡伊那町外十四分會 | 同二十九日 | 上伊那郡高遠町外六分會 |
| 同三十日 | 同 赤穂町外八分會 | 七月二日 | 下伊那郡大下條村外八分會 |
| 七月三日 | 飯田市、下伊那郡大島村外十九分會 | 同四日 | 同 會地村外七分會 |
| 同五日 | 西筑摩郡福島町外九分會 | 同六日 | 西筑摩郡山口村外五分會 |
| 同八日 | 東筑摩郡本城村外九分會 | 同九日 | 松本市、東筑摩郡里山邊村外十八分會 |
| 同十日 | 同 鹽尻町外六分會 | 同十一日 | 南安曇郡一圓十五分會(豊科町) |
| 同十二日 | 北安曇郡南小谷村外四分會 | 同十三日 | 北安曇郡大町外十一分會 |

尙、三月二十七日より三十日迄の間に於て北安曇郡池田町、大町、南小谷村、南安曇郡豊科町に於て分會役職員會を開催せり。

二月一日 東筑摩郡 鹽尻町

二月二十一日 上高井郡 豊洲村

二月二十三日 諏訪郡 本郷村



會悼追員會故物 會分市田上

四月十三日 南佐久郡 岸野村

| | |
|--------|-----------|
| 三月二日 | 埴科郡 寺尾村 |
| 三月七日 | 北佐久郡 北大井村 |
| 三月九日 | 諏訪郡 原村 |
| 三月十五日 | 更級郡 共和村 |
| 三月十六日 | 上高井郡 保科村 |
| 三月二十二日 | 東筑摩郡 島内村 |
| 三月二十二日 | 上水内郡 中郷村 |
| 三月二十二日 | 上水内郡 古里村 |
| 三月二十三日 | 東筑摩郡 岡田村 |
| 三月二十五日 | 東筑摩郡 入山邊村 |
| 三月二十七日 | 南安曇郡 小倉村 |
| 四月一日 | 上水内郡 三水村 |
| 四月三日 | 上高井郡 日野村 |
| 四月三日 | 更級郡 中津村 |
| 四月十三日 | 埴科郡 清野村 |
| 四月六日 | 東筑摩郡 朝日村 |
| 四月十三日 | 下高井郡 延徳村 |
| 四月十三日 | 上水内郡 鳥居村 |
| 四月十三日 | 東筑摩郡 會田村 |
| 四月十九日 | 北佐久郡 輕井澤町 |

| | | | |
|--------|------------|--------|-----------|
| 四月二十五日 | 上水内郡 上山田村 | 四月二十五日 | 南佐久郡 南相木村 |
| 四月二十七日 | 小縣郡 神川村 | 四月二十八日 | 埴科郡 松代町 |
| 四月二十九日 | 上高井郡 都住村 | 四月二十九日 | 下水内郡 秋津村 |
| 五月十一日 | 東筑摩郡 日向村 | 五月十二日 | 更級郡 小島田村 |
| 五月十三日 | 下高井郡 市川村 | 五月十五日 | 諏訪郡 上諏訪町 |
| 九月十日 | 長野野市 | 四月十三日 | 小縣郡 滋野村 |
| 九月十五日 | 諏訪市 | 九月二十三日 | 西筑摩郡 福島町 |
| 九月十三日 | 上田市物故會員追悼會 | 十月七日 | 上伊那郡 東春近村 |

二三六

三、講演會

本部派遣薄田講師の講演會左記に依り開催。

| | | | |
|--------|-----------|--------|----------|
| 四月二十三日 | 北佐久郡 輕井澤町 | 四月廿五日 | 更級郡 上山田村 |
| 四月二十六日 | 上田 市 | 四月二十七日 | 小縣郡 神川村 |
| 四月二十八日 | 松代 町 | 四月二十九日 | 上高井郡 都住村 |

四、映畫會

支部備付の映寫機による映畫會を左記分會に於て開會。

| | | | |
|--------|----------|--------|---------------|
| 三月廿七日 | 南安曇郡 小倉村 | 四月六日 | 東筑摩郡 朝日村 |
| 四月十三日 | 南佐久郡 岸野村 | 四月二十三日 | 北佐久郡 輕井澤町 |
| 四月二十五日 | 南安曇郡 小倉村 | 十月四日 | 西筑摩郡 奈川村(二個所) |
| 十月七日 | 上水内郡 古里村 | | |

其 他

一、總會

五月七日日本會第四十回總會明治神宮外苑競技場に於て開會。
 皇后陛下行啓あらせられ 令旨を賜ふ。
 尙當日優良分會として表彰せられ、支部を代表して彰功旗を樹立したる分會は諏訪郡豊田村及南佐久郡野澤町分會なり。

令 旨

茲に愛國婦人會第四十回總會に臨み諸員に告ぐ
 今や内外の情勢益々多事にして婦人の協力に俟つべきもの愈々多きを加ふ
 諸員宜しく時局に思を致し婦人報國の誠を盡さむことを望む

奉 答 文

本日愛國婦人會第四十回通常總會舉行に當り畏くも 皇后陛下行啓あらせられ且つ優渥なる 令旨を賜ふ本會の
 光榮何ものか之に如かむ惟ふに本會創立以來四十年の長きに亘り會勢年と共に伸展し殊に今次事變に際し着々銚
 後奉公の實を擧げつゝあるは一に 陛下御坤徳の餘澤にして寔に恐懼感激に勝へさるところなり
 庶幾くは會員と共に恭しく 令旨を奉體して協心戮力婦人報國の誠を捧げ益々本會使命の達成に努め以て鴻恩に
 應へ奉らんことを期す
 右謹みて奉答す

昭和十六年五月七日

愛國婦人會總裁

東伏見宮故依仁親王妃勳一等 周 子

尙各分會に對し 令旨奉戴記念式舉行方通牒を發し、支部に於ては六月二日嚴肅に記念式を舉行せり。

二、本會創立四十周年記念式

二三八

三月六日聖戦下第四次の地久節を迎へ奉るに際し支部に於ては地久節奉祝に併せて婦人報國祭並に創立四十周年記念式を長野市城山館に於て舉行、式前支部長以下評議員は會員を代表して縣社健御名方富命彦神別神社に參拜國母陛下の御健勝、皇軍將兵の武運長久を祈願し、善光寺忠靈殿に戦歿勇士の英靈に感謝の誠を捧げて後開式。本部に於て表彰せられたる功勞者松代町分會長眞田壽子外四百廿五名に對する表彰狀傳達を行ひ鈴木知事の祝辭、被表彰者總代百瀬ゑいの答辭、次で宣言決議を行ひ閉式。松本聯隊區司令部員陸軍少佐河合靜夫の蘭印問題に就ての講演を聴き午後四時閉會す。

當日の宣言左の如し。

本日地久の佳節に當り私共愛國婦人會會員は緊迫せる國際情勢に鑑み、御令旨の示し給ふところに遵ひ一層婦人報國の實を擧げ以て天業を翼賛し奉らむことを誓ふ。

昭和十六年三月六日

三、皇紀二千六百年記念事業の一として長野縣護國神社へ鳥居獻納資金を獻納せり。

四、事變發生後に於ける軍事援護費累計

昭和十二年支那事變發生當初より昭和十六年八月末日迄に於ける軍事援護費として支部より支出したる經費累計左の如し。

- イ、救護費 十萬六千五百五十七圓六十三錢
- 軍人家族慰問及救護費 九萬四千二百四十六圓三十三錢
- 現役及應召軍人(傷痍軍人を含む)慰問費 一萬一千九百一十一圓三十錢
- ロ、弔祭費 十六萬八千八百五十七圓八十一錢

ハ、輜軍費 十八萬三千十圓三十一錢

慰問袋及慰問品費 十七萬六千九百九十四圓二十三錢

軍隊歡迎及戦地慰問費 六千九百十六圓八錢

ニ、其他の軍事諸費 一萬五千八百二十七圓八十八錢

國防資材獻納諸費 一萬九百五十八圓三十六錢

銃後家庭強化に關する諸費(映寫機設備其他) 三千七十三圓四十一錢

其他軍事諸費 一千七百九十六圓十一錢

ホ、獻納費 九萬九千九百二十五圓八十一錢

日光浴室獻納費 五千圓

軍用飛行機信州婦人號獻納費 九萬四千九百二十五圓八十一錢

ヘ、雜費 三百九十九圓三十三錢

以上合計金 五十七萬四千七百七十八圓七十七錢

五、滿洲農業移民後援費

昭和十二年より昭和十六年八月迄に於ける滿洲農業移民後援費として支部の支出せる累計左の如し。

イ、移民配偶者養成斡旋に關する諸費 三千八百五十五圓八十九錢

ロ、移民及青少年義勇軍慰問品費及弔慰金 一千八百九十三圓二十二錢

ハ、移民地視察費 一千八百八十七圓五十錢

以上合計金 六千九百三十六圓六十一錢

第二篇 名簿及表簿

第一章 役員及職員名簿

(一) 顧問及支部長

| 嘱託 | 解職 | 顧問 | 支部長 |
|----------|----------|-------|-------|
| 明治四、九 | 明治三、二 | 押川則吉 | 押川愛子 |
| 同三、二 | 同三、九 | 關清英 | 關高子 |
| 同三、九 | 同四、七 | 大山綱昌 | 大山徳子 |
| 同四、七 | 大正三、三、七 | 千葉貞幹 | 千葉久子 |
| 大正三、四 | 同三、四、三〇 | 依田銈次郎 | 依田順子 |
| 同三、五、一 | 同四、八、三 | 力石雄一 | 力石喜乃子 |
| 同四、八、三 | 同二、〇、五、三 | 赤星典太 | 赤星雪子 |
| 同二、〇、五、三 | 同二、〇、一、九 | 岡田忠彦 | 岡田静子 |
| 同二、〇、一、九 | 同三、六、三 | 本間利雄 | 本間八重子 |
| 同三、六、三 | 同二、五、八、九 | 梅谷光貞 | 梅谷さと子 |

備考
明治三十六年十月九日知事
二月十九日嘱託
を顧問に
支部長と改稱す
部長と改稱す

| 嘱託 | 解職 | 顧問 | 支部長 |
|----------|----------|-------|-------|
| 同二、五、八、九 | 昭和二、四、三〇 | 高橋守雄 | 高橋雅子 |
| 昭和二、四、三〇 | 同四、七、五 | 千葉了 | 千葉敏子 |
| 同四、七、五 | 同六、八、八 | 鈴木信太郎 | 鈴木たけ代 |
| 同六、八、八 | 同八、八、四 | 石垣倉治 | 石垣谷子 |
| 同八、八、四 | 同二、〇、一、〇 | 岡田周造 | 岡田又子 |
| 同二、〇、一、〇 | 同二、三、三 | 大村清一 | 大村康子 |
| 同二、三、三 | 同三、一、二 | 近藤駿介 | 近藤信子 |
| 同三、一、二 | 同三、三、三 | 大村清一 | 大村康子 |
| 同三、三、三 | 同三、三、三 | 富田健治 | 富田マキ |
| 同三、三、三 | 同二、五、七、四 | 鈴木登 | 鈴木サダ |

(二) 副長

| 嘱託 | 解職 | 氏名 | 備考 |
|-------|------------|--------|----------------|
| 明治三、七 | 明治三、 | 横田逸尾子 | 書記官横田太郎氏夫人 |
| 同三、七 | 同三、 | 白河たき江子 | 長野大林區署長白河太郎氏夫人 |
| 同三、七 | 同四、二、八 | 早川鑑子 | 早川繁夫氏夫人 |
| 同三、七 | 同四、三、三 | 岡田とみ子 | 書記官岡田宇之助氏夫人 |
| 同三、七 | 大正三、四、 | 飯塚千代子 | 長野稅務署長飯塚忠成氏夫人 |
| 同三、七 | 明治四、四、(死亡) | 力石壽恵子 | 書記官力石雄一郎氏夫人 |

| | | | |
|-----------|-----------|---------|----------------|
| 明治三、六、三 | 大正四、八、五 | 三田 栞子 | 長野地方裁判所三田幸司氏夫人 |
| 大正三、六、三 | 同 四、七、四 | 廣瀬 テフ子 | 内務部長廣瀬直幹氏夫人 |
| 同 四、八、五 | 同 六、二、九 | 川越 あき子 | 内務部長川越壯介氏夫人 |
| 同 四、八、五 | 同 五、八、一八 | 森 幸子 | 長野地方裁判所長夫人 |
| 同 五、一〇、一八 | 死 亡 | 眞鍋 ヨシ子 | 長野地方裁判所長夫人 |
| 同 六、二、一四 | 大正一〇、六、一〇 | 稻葉 花子 | 内務部長稻葉健之助氏夫人 |
| 同 九、二、九 | 同 二、八、一 | 玉置 房子 | |
| 同 一〇、六、一四 | 同 三、一、五 | 竹井 元子 | 内務部長竹井貞太郎氏夫人 |
| 同 一三、一、二 | 同 三、六、一八 | 橋爪 トミノ | 内務部長橋爪精一氏夫人 |
| 同 一三、三、一四 | | 村松 登志子 | 辯護士村松藤太氏夫人 |
| 同 一三、七、八 | 同 一四、九、三六 | 細川 イシ子 | 内務部長細川長平氏夫人 |
| 同 一四、九、三六 | 昭和二、五、三五 | 牛島 幸子 | 内務部長牛島省三氏夫人 |
| 昭和二、六、一 | 同 三、三、八 | 原田 たま子 | 内務部長原田維織氏夫人 |
| 同 三、三、三 | 同 四、七、二 | 田中 壽子 | 内務部長田中無事生氏夫人 |
| 同 四、七、三 | 同 六、八、三九 | 石垣 谷子 | 内務部長石垣倉治氏夫人 |
| 同 六、九、二 | 同 七、一、六 | 金森 はまを | 内務部長金森太郎氏夫人 |
| 同 七、一、八 | 同 七、一〇、三八 | 上田 登喜子 | 内務部長上田莊太郎氏夫人 |
| 同 七、二、七 | 同 一〇、一、三 | 小早川 たけ子 | 内務部長小早川貞登氏夫人 |
| 同 一〇、二、七 | 同 一、四、三 | 伊手 種子 | 總務部長伊手衡氏夫人 |

| | | | |
|-----------|-----------|--------|--------------|
| 同 一、五、二三 | 同 一三、七、一〇 | 田中 勝代 | 總務部長田中修氏夫人 |
| 同 一三、七、一〇 | 同 一五、四、二 | 出石 貞子 | 總務部長出石於菟彦氏夫人 |
| 同 一五、四、二 | 同 一六、五、三 | 水谷 靜江 | 總務部長水谷秀雄氏夫人 |
| 同 一六、六、二 | | 引田 美恵子 | 總務部長引田重夫氏夫人 |

明治三十六年十二月十九日「支部副幹事長」の名稱を「支部副長」と改稱す。

(三) 評 議 員

| | | | |
|-----------|----------|--------|-----------------|
| 囑 託 | 解 職 | 氏 名 | 備 考 |
| 明治三、一〇、一〇 | 大正三、一〇、二 | 色 部 類子 | 埴科郡杭瀬下村色部義太夫氏夫人 |
| 同 三、三、一 | 同 七、三、三六 | 小坂 ちげ子 | 小坂順造氏母堂 |
| 同 三、三、一 | 同 一三、四、八 | 山口 よし子 | 長野商業學校長山口康義氏夫人 |
| 同 三、七、八年頃 | 不 明 | 河 島 初 | 長野檢事正夫人 |
| 同 | | 小早川 かね | 長野縣視學官夫人 |
| 同 | | 藤 崎 かね | 警察部長夫人 |
| 同 | | 吉 山 いく | 長野高等女學校教諭 |
| 同 | | 鳥 羽 松枝 | 長野稅務署長夫人 |
| 同 | | 中 村 いよ | 長野縣技師野田六次氏夫人 |
| 同 四〇、四、一三 | 大正三、一〇、七 | 野田 久万子 | 早川繁夫氏夫人 |
| 同 四〇、一、八 | 同 三、二、八 | 早川 鑑子 | |

| | | | |
|----------|----------|---------|----------------|
| 大正二、五、一〇 | 大正三、四、五 | 早川 鑑子 | 早川繁夫氏夫人 |
| 明治四、四、三九 | 明治五、 | 神林 汲子 | 長野市問御所町神林玄進氏夫人 |
| 同 三、 | 大正三、三 | 岩男 くに子 | 長野縣技師岩男仲氏夫人 |
| 同 三、 | 明治四、一〇、 | 宮澤 いく子 | 長野高等女學校教諭 |
| 同 三、 | 大正三、 | 佐久間 こう子 | 長野農事試験場長夫人 |
| 同 四、 | 明治四、九、 | 井上 喜勢子 | |
| 同 四、 | 同 四、 | 堀田 廣子 | 警察部長堀田義次郎氏夫人 |
| 同 四、 | 大正二、 | 戸澤 ます子 | 長野大林區署長夫人 |
| 同 四、 | 死亡 | 三家 久子 | |
| 同 四、 | 大正二、 | 中村 きみ子 | |
| 同 四、 | 同 三、 | 西田 茂子 | |
| 同 四、 | 同 四、一〇、七 | 乙竹 滋子 | |
| 同 四、 | 明治四、一〇、 | 直江 はる子 | |
| 同 四、 | 大正二、 | 小森 照子 | |
| 同 四、 | 明治五、 | 淵本 保子 | 醫師安藤重治郎氏夫人 |
| 同 四、 | 大正三、四、五 | 安藤 かく子 | 醫師桑原下學氏夫人 |
| 同 四、 | 同 三、 | 桑原 カナメ | 森本泉氏夫人 |
| 同 四、 | 同 二、六、一七 | 森本 やす子 | 田中千里氏夫人 |
| 同 四、 | | 田中 恒子 | |

| | | | |
|----------|-----------|--------|----------------|
| 大正二、六、三 | 同 三、五、二 | 池田 八重子 | 學務課長池田秀雄氏夫人 |
| 同 二、三、五 | 同 三、六、一 | 鯉沼 欽子 | 警察部長鯉沼巖氏夫人 |
| 同 三、六、五 | 同 七、六、三 | 田中 實里子 | |
| 同 三、六、五 | 同 七、一〇、九 | 白上 夫佐子 | 學務課長白上祐吉氏夫人 |
| 同 三、六、五 | 同 一三、一〇、五 | 武井 マツ子 | 死亡 |
| 同 三、七、一 | 同 五、一〇、三 | 縣 光子 | 警察部長縣忍氏夫人 |
| 同 三、一〇、八 | 同 五、二、三 | 津崎 千代子 | 學務課長津崎尙武氏夫人 |
| 同 三、一、九 | 同 一三、二、三 | 西池 キワ子 | |
| 同 四、二、八 | 同 七、七、三 | 長田 仲子 | |
| 同 五、一、六 | 同 一三、四、五 | 矢島 たよ子 | |
| 同 五、一、六 | 同 七、六、一〇 | 澤田 綾子 | 警察部長澤田竹治郎氏夫人 |
| 同 五、一、六 | 同 七、九、一〇 | 内堀 島子 | 師範學校長内堀維文氏夫人 |
| 同 七、六、三 | 同 八、三、九 | 佐藤 きく子 | 警察部長佐藤七太郎氏夫人 |
| 同 七、七、三 | 昭和六、一、三 | 小島 浪江 | (死亡)辯護士小島相陽氏夫人 |
| 同 七、七、三 | 大正八、八、三 | 木下 はま子 | |
| 同 八、三、三 | 同 一三、三、四 | 村松 登志子 | 副會長就任につき |
| 同 九、一、〇 | 昭和二、二、三 | 原 君代 | 長野市南縣町原來復氏未亡人 |
| 同 九、一、〇 | 大正三、五、三 | 磯貝 ミキエ | 師範學校長磯貝泰助氏夫人 |
| 同 九、一、〇 | 同 九、二、一 | 横尾 きよみ | |

| | | | |
|---|----------|---------|--------------------|
| 同 | 大正九、一、二〇 | 田寺 尚子 | 警察部長田寺俊信氏夫人 |
| 同 | 九、一、二〇 | 井上 まつ子 | 地方課長井上英氏夫人 |
| 同 | 九、四、八 | 村越 鶴子 | |
| 同 | 九、四、八 | 和田 志か子 | (死亡)和田榮二氏夫人 |
| 同 | 九、一、九 | 福田 磯江 | |
| 同 | 一〇、八、二六 | 村松 静子 | |
| 同 | 一〇、八、二六 | 浦井 秀子 | |
| 同 | 一〇、八、二六 | 田中 ひさ子 | |
| 同 | 一〇、八、二六 | 里見 喜代子 | |
| 同 | 一〇、八、二六 | 宮下 節子 | 長野市大門町宮下友雄氏夫人 |
| 同 | 一〇、八、二六 | 藤井 さと子 | 長野市末廣町藤井善藏氏夫人 |
| 同 | 一〇、八、二六 | 小林 節子 | 長野市 |
| 同 | 一〇、八、二六 | 西澤 りん子 | 長野市立町西澤賢吾氏夫人 |
| 同 | 一〇、八、二六 | 小林 ほう子 | 自大正一四、二、二〇再任小林暢氏夫人 |
| 同 | 一〇、八、二六 | 相原 秀子 | 醫師相原千里氏夫人 |
| 同 | 一三、三、一六 | 村井 柳子 | 警察部長村井八郎氏夫人 |
| 同 | 一三、三、一六 | 川島 みさほ子 | 學務課長川島一郎氏夫人 |
| 同 | 一三、三、一六 | 畑山 静子 | 學務課長畑山氏夫人 |
| 同 | 一三、三、一四 | 萬 静子 | |

| | | | |
|---|---------|---------|----------------|
| 同 | 一三、三、一四 | 蜂須賀 あさ子 | |
| 同 | 一三、三、一四 | 山本 峯子 | |
| 同 | 一三、三、一四 | 大濱 むめ子 | |
| 同 | 一三、三、一四 | 宮澤 きぬ子 | 辯護士宮澤要次郎氏夫人 |
| 同 | 一三、三、一四 | 笠原 節子 | 長野市伊勢町笠原十兵衛氏夫人 |
| 同 | 一三、三、一四 | 小池 一枝 | 醫師小池百藏氏夫人 |
| 同 | 一三、四、五 | 青山 時子 | 長野市立町青山新氏夫人 |
| 同 | 一三、四、五 | 小林 あゆ子 | |
| 同 | 一三、四、五 | 長谷川 不二子 | |
| 同 | 一三、四、五 | 花岡 千賀子 | 花岡次郎氏夫人 |
| 同 | 一三、四、五 | 落合 信子 | |
| 同 | 一三、八、七 | 竹下 かつ子 | |
| 同 | 一四、二、三〇 | 義澤 うら子 | 縣衛生課長義澤丈助氏夫人 |
| 同 | 一四、二、三〇 | 丸山 ふみ子 | (死亡)丸山辨三郎氏夫人 |
| 同 | 一四、二、三〇 | 羽田 ふく子 | 羽田重一郎氏夫人 |
| 同 | 一四、二、三〇 | 宮澤 富士子 | |
| 同 | 一四、一〇、三 | 細川 雅子 | |
| 同 | 一五、二、一九 | 藤岡 うあ子 | |
| 同 | 一五、二、一九 | 岡 國子 | |

昭和二、七、一五
同 二、七、一五
同 二、七、一五
同 二、七、一五
同 二、七、一五
同 二、七、一五
同 二、七、一五
同 三、六、三三
同 三、六、三三
同 三、六、三三
同 三、六、三三
同 三、六、三三
同 三、六、三三
同 三、二、三四
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一
同 四、七、一

昭和三、六、五
同 三、六、五
同 六、四、一六
同 四、六、三〇
同 四、六、三〇
同 二、一、三三
同 四、六、三〇
同 四、八、一九
同 五、七、七
同 五、七、七
同 四、一、七
昭和五、一、二三
同 一四、八、九
同 七、二、三九
同 六、九、一〇
同 六、八、一九
同 五、一〇、一

土屋 淑子
福島 そ乃子
西ヶ谷 まゆ子
丸山 みすゞ
長田 壽和子
岩永 あね子
飯島 孝子
泊 ふさ子
小西 雪子
菅 幹子
高野 以志子
同
池田 貞子
船坂 千代子
土屋 はる子
篠原 くま子
帆高 きし子
勝俣 以さ子
岩附 ちとせ

林務課長西ヶ谷正巳氏夫人
長野市本郷丸山盛雄氏女
長田茂左衛門氏夫人
飯島正一氏夫人
警察部長泊武次氏夫人
學務部長小西竹次郎氏夫人
土木課長菅良二氏夫人
高野忠衛氏夫人
地方課長池田長吉氏夫人
辯護士船坂恒久氏夫人
女子専門學校長土屋幸正氏夫人
裁判所長篠原泰助氏夫人
檢事正帆高壽一氏夫人
上田市馬場町勝俣英吉郎氏夫人
松本市片端岩附修一郎氏夫人

同 四、七、一
同 九、一、八
同 四、七、一
同 四、九、二七
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 五、一〇、一
同 一四、七、七
同 一五、一〇、一
同 六、二、三三
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 六、九、三二
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四
同 七、二、四

昭和八、九、三二
同
昭和五、八、三九
同 七、一、六
同 七、一、六
同 六、五、三六
同 七、七、三七
同 六、二、三〇
昭和三、二、一九
同 三、二、一九
同 九、七、一六
同 八、三、三〇
同 七、八、三五
同 七、三、三三
同 九、一〇、六
同 七、七、四
同 七、四、五

百瀬 ちい子
同
丸山 不美子
佐藤 ハルヨ
中里 はな子
階川 精子
佐々木 勝代
菅澤 華江
小林 よし子
同
成澤 登喜子
丸山 みさを
徳永 寛子
石塚 敏子
平木 八千代
中原 ゆき子
原田 あい子
田中 たか子
池田 年子

松本市地藏清水百瀬興政氏夫人
上諏訪町丸山榮臨氏夫人
警察部長佐藤正俊氏夫人
警察部長中里喜一氏夫人
學務課長階川良一氏夫人
會計課長佐々木安五郎氏夫人
社會課長菅澤肇氏夫人
長野市狐池
上田市原町成澤伍一郎氏夫人
長野市緑町丸山辨三郎氏夫人
檢事正徳永榮吉氏夫人
醫師石塚生氏夫人
庶務課長平木弘氏夫人
安田銀行支店長中原哲夫氏夫人
長野地方裁判所長原田繁藏氏夫人
田中藏六氏夫人
池田繁治氏夫人

昭和一四、九、三八

同 一五、三、五

同 一五、四、二

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

同 一六、二、三

昭和六、一、八

高橋 ふよ

青木 ゆき

須藤 とく

久尾 茂子

豊原 千秋

中川 あき

黒澤 初江

掛川 比さ

宮澤 けさ

伊東 さち

清水 ちん

吉川 きん

佐藤 ふみ

堀内 きみ

三原 おか

窪田 およ

北村 きく

中田 かづ

田中 うめ

二五二

岡谷市岡谷分會長

東筑摩郡筑摩地村

下高井郡科野村須藤謙吉氏夫人

學務部長久尾啓一氏夫人

警察部長夫人

學務部長中川金正氏夫人

穂積村南佐久郡町村長會長

黒澤傳三郎氏夫人

小諸町北佐久郡町村長會長掛川周三氏夫人

綱津村小縣郡町村長會長宮澤才吉氏夫人

中洲村諏訪郡町村長會長伊東一氏夫人

中箕輪村上伊那郡町村長會長

清水東洋雄氏夫人

松尾村下伊那郡町村長會長吉川亮夫氏夫人

福島町西筑摩郡町村長會長佐藤正太氏夫人

鹽尻町東筑摩郡町村長會長堀内信一氏夫人

豊科町南安曇郡町村長會長

三原儀十郎氏夫人

池田町北安曇郡町村長會長窪田滿次氏夫人

更級村更級郡町村長會長北村甚兵衛氏夫人

松代町埴科郡町村長會長中田宇兵衛氏夫人

須坂町上高井郡町村長會長田中邦治氏夫人

死亡

小林 きこ子

北山 てるの

清水 かづ

渡邊 久恵

丸山 みすゞ

福島 うめ

坂本 諒

川又 かな

花岡 志枝

島田 まさき

奥野 文子

石田 ゆる

磯田 敏

八木 かつ

昭和六、八、四

(四) 參與

囑託

大正三、六、七

同 三、六、七

解職

大正三、七、二四

同 三、四、

氏名

廣瀬 直幹

池田 秀雄

備考

内務部長

學務課長

二五三

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|---------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|------|
| 大正二、三、一 | 同 三、五、九 | 同 三、六、三〇 | 同 三、一〇、八 | 同 四、八、五 | 同 五、一〇、一六 | 同 六、三、一四 | 同 七、六、三九 | 同 七、二、一〇 | 同 八、九、三三 | 同 九、一、一〇 | 同 一〇、六、二四 | 同 一一、七、三七 | 同 一二、三、二六 | 同 一三、三、一六 | 同 一三、二、一三 | 同 一四、九、三七 | 昭和二、六、一 | |
| 大正三、六、 | 同 七、一〇、九 | 同 五、一〇、三七 | 同 五、二、三四 | 同 六、二、九 | 同 七、六、一〇 | 同 一〇、六、一〇 | 同 八、二、三九 | 同 八、八、三六 | 同 一一、三、三〇 | 同 一二、一〇、八 | 同 一三、二、一五 | 同 一三、九、一 | 同 一三、六、三八 | 同 一三、二、一八 | 同 一三、六、三八 | 昭和二、六、一 | 同 三、三、八 | |
| 鯉沼 | 白上 | 縣上 | 津崎 | 川越 | 澤田 | 稻葉 | 佐藤 | 金田 | 井上 | 田寺 | 竹井 | 三井 | 村井 | 川島 | 橋爪 | 細川 | 牛島 | 原田 |
| 佐吉 | 忍吉 | 武介 | 壯介 | 竹治 | 健之助 | 七太郎 | 才平 | 俊信 | 英平 | 三太郎 | 八郎 | 一郎 | 精一 | 平三 | 省三 | 維織 | 維織 | 維織 |
| 警察部長 | 地方、學務課長 | 警察部長 | 學務課長 | 內務部長 | 警察部長 | 內務部長 | 警察部長 | 地方課長 | 地方課長 | 警察部長 | 內務部長 | 警察部長 | 社會課長 | 警察部長 | 學務課長 | 內務部長 | 內務部長 | 內務部長 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|-----------|-----------|-------------|----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 同 三、三、三三 | 同 四、七、二三 | 同 六、八、三九 | 同 七、一、七 | 同 七、一〇、九 | 同 一〇、一、三三 | 同 一一、四、三三 | 同 一三、七、一〇 | 同 一五、四、三〇 | 同 一三、一〇、三二 | 同 一三、六、二 | 同 一三、六、二 | 同 一三、六、二 | 同 一三、六、二 | 同 一三、六、二 | 同 一三、七、九 | 同 一三、九、一九 | 同 一三、一〇、三二 | 同 一三、一、一六 | 同 一五、四、二一 | 同 一五、四、二一 | 同 一五、二、一七 | |
| 同 四、七、二三 | 同 六、八、三九 | 同 七、一、七 | 同 七、一〇、九 | 同 一〇、一、三三 | 同 一一、四、三三 | 同 一三、七、一〇 | 同 一五、四、三〇 | 同 一三、一〇、三二 | 同 一四、二、(死亡) | 同 一三、二、一六 | 同 一三、八、三一 | 同 一六、五、三三 | 昭和五、四、三〇 | 同 一五、九、三〇 | 同 一六、五、三〇 | 同 一六、一、八 | 同 一六、二、三 | 同 一六、二、三 | 同 一六、二、三 | 同 一五、二、一七 | 同 一五、二、一七 | 同 一五、二、一七 |
| 田中無事 | 石垣倉治 | 金森太郎 | 上田莊太郎(死亡) | 小早川貞登 | 伊手修 | 田中修 | 出石於菟彦 | 物部薰郎 | 池田正雄 | 飯塚金三 | 樺山俊夫 | 森下龍一 | 小松吉治郎 | 西岡廣吉 | 小野澤光廣 | 水谷秀雄 | 久尾啓一 | 宮田敬一 | 宮田敬一 | 宮田敬一 | 宮田敬一 | |
| 內務部長 | 內務部長 | 內務部長 | 內務部長 | 內務部長 | 總務部長 | 總務部長 | 總務部長 | 學務部長 | 地方課長 | 社會課長 | 社會課長 | 赤十字社、長野支部主事 | 學務部長 | 總務部長 | 總務部長 | 學務部長 | 學務部長 | 社寺兵事課長 | 社寺兵事課長 | 社寺兵事課長 | 社寺兵事課長 | |

昭和六、二、三
同 一六、二、三
同 一六、六、二
同 一六、六、二

昭和六、九、

中川金正
川崎賢太郎
引田重夫
奥村英雄

學務部長
社寺兵事課長
總務部長
社會課長

(五) 會計監督

囑託
大正 二、三、一
同 二、四、一
同 三、八、一〇
同 三、九、三
昭和 三、一、七
同 八、九、三
同 一〇、三、一
同 一〇、二、六
同 一三、六、六
同 一四、二、三
同 一五、二、一

解職
大正 二、三、一
同 二、六、一
同 三、八、一〇
同 三、九、三
昭和 二、三、九
同 八、九、三
同 一〇、三、一
同 一〇、二、六
同 一三、六、六
同 一四、二、三
同 一五、二、一
同 一六、九、三〇

氏名
安藤 兔毛喜
須藤 信敬
中山 德十
市川 多滿吉
原田 増次郎
鹽野崎 一
飯塚 金三
清水 祐作
戸田 忠臣
北村 深志
和田 定治
江野本 甚四郎

備考

(六) 幹事部顧問及幹事部長

南佐久郡

就任期間
自明治三、五 至明治三、五
自同 三、五 至同 三、五
自同 三、九 至同 三、九
自同 三、九 至同 三、九
自大正元、三 至同 三、三
自同 三、三 至同 三、九
自同 三、一〇 至同 七、七
自同 七、七 至同 八、三
自同 八、三 至同 一〇、五
自同 一〇、六 至同 一三、二
自同 一三、二 至同 一三、四
自同 一三、四 至同 一五、六

北佐久郡

就任期間
自明治三、四 至明治三、四
自同 三、四 至同 三、五

顧問

岩崎 龜太郎
二 双石 忠治
本山 純信
岩戸 市三郎
乾 長昭
平川 房吉
安藤 兔毛喜
泉 對信之助
藤根 新太郎
武盛 仲太
小林 嘉三郎
但丸 留藏

幹事部長

二 双石 きわ
本山 春未子
岩戸 みよ子
乾 鶴子
平川 さたゑ
安藤 マス子
泉 對ヤヲ子
藤根 リヨ子
武盛 種子
小林 サワ子
但丸 たみ子

備考

北佐久郡長ニ
西筑摩郡長ニ
諏訪郡長ニ
小縣郡長ニ
北安曇郡長ニ
郡 廢

備考

顧問
河村 備衛
伊藤 彌一

幹事部長
河村 さよ子
伊藤 きわ子

自明治八、五 至明治九、三
 自同 三、九、三 至同 四、二、二
 自同 四、二、二 至同 四、三、三
 自同 四、三、三 至大正二、三、三
 自大正二、三 至同 三、三、三
 自同 三、三 至同 五、七
 自同 五、七 至同 八、三
 自同 八、三 至同 一〇、四
 自同 一〇、四 至同 一二、七
 自同 一二、八 至同 一三、九
 自同 一三、九 至同 一五、六

宮澤宗三郎
 渡邊秀之丞
 廣長本光
 本山純信
 安藤貞久
 小西吉太郎
 堀江忠也
 乾長昭
 鈴木登
 田口泰藏
 市川多滿吉

宮澤ろく子
 渡邊文子
 廣長清子
 本山春未子
 安藤伊豫子
 小西ヒデ子
 堀江いと子
 乾鶴子
 鈴木サダ
 田口はる子
 市川りた子

西筑摩郡長ニ
更級郡長ニ

小縣郡長ニ

上伊那郡長ニ

上水内郡長ニ
郡 廢

小縣郡

就任期間

自明治三、一 至明治三、二
 自同 三、二 至同 四、一
 自同 四、一 至大正三、三
 自大正三、三 至同 五、二
 自同 五、二 至同 六、七
 自同 六、七 至同 七、七
 自同 七、七 至同 一三、四

小島義知
 武井一郎
 黒川光徳
 安藤貞久
 石川斧太郎
 木下信
 安藤兔毛喜

武井マツ子
 黒川美濃子
 安藤伊豫子
 石川はる子
 木下はま子
 安藤マス子

幹事部長

備考

東筑摩郡長ニ

東筑摩郡長ニ

諏訪郡長ニ

自同 一三、四 至同 一四、〇
 自同 一四、〇 至同 一五、六

白石喜郎
阿蘇温藏

白石慰枝
阿蘇淑子

郡 廢

諏訪郡

就任期間

自明治四、一 至明治三、一
 自同 三、七、四 至同 四、一、三
 自同 四、一、二 至同 四、三、〇
 自同 四、三、一 至同 四、五、六
 自同 四、五、六 至大正三、九
 自大正三、一〇 至同 一〇、三
 自同 一〇、三 至同 一三、二
 自同 一三、二 至同 一三、三
 自同 一三、四 至同 一三、三
 自同 一三、二 至同 一三、三
 自同 一三、二 至同 一五、六

山中助藏
 廣長本光
 長田章
 犬童長豊
 竹下源六
 平川房吉
 佐藤三吉
 阿蘇温藏
 安藤兔毛喜
 石原快三

廣長久米子
 長田きの子
 犬童きの子
 竹下テイ子
 平川さた子
 佐藤かつ子
 阿蘇淑子
 安藤マス子
 石原こう子

幹事部長

備考

北佐久郡長ニ

東筑摩郡長ニ

下高井郡長ニ

郡 廢

上伊那郡

就任期間

自明治三、一 至明治三、六
 自同 三、六 至同 四、二、三
 自同 四、二、一 至同 四、三、二
 自同 四、三、一 至同 四、四、一

丸山伴作
 平林斧吉
 宮澤宗三郎
 黒川光徳

平林つな子
 宮澤ろく子
 黒川美濃子

幹事部長

備考

東筑摩郡長ニ

小縣郡長ニ

自明治四、一 至大正三、一
 自大正三、一 至同 三、九
 自同 三、一〇 至同 五、二
 自同 五、二 至同 七、七
 自同 七、七 至同 八、三
 自同 八、三 至同 一三、七
 自同 一三、八 至同 一五、六

下伊那郡

就任期間

自明治三、七 至明治三、七
 自同 三、七 至同 三、六、四
 自同 三、六、四 至同 三、七、二
 自同 三、七、二 至同 四、一、四
 自同 四、一、四 至同 四、四、九
 自同 四、四、九 至大正三、三
 自大正三、三 至同 五、二
 自同 五、二 至同 一〇、四
 自同 一〇、四 至同 一五、六

西筑摩郡

就任期間

自明治三、三 至明治三、三

鈴木庄之助
 安藤兔毛喜
 長井喜太夫
 横尾惣三郎
 乾江長昭
 堀江忠也
 杉原定壽

鈴木かつ子
 安藤マス子
 長井秋子
 横尾清美
 乾江鶴子
 堀江いと子
 杉原和子

願問

幹事部長

備考

齋藤曹輔
 大浦廣
 紀浦次郎
 濱音之助
 河村備衛
 小西吉太郎
 石川斧太郎
 鈴木卯吉
 白田松太郎

志賀子
 かね子
 かよ子
 ヒデ子
 はる子
 つねの
 次尾

上水内郡長ニ
 東筑摩郡長ニ
 上水内郡長ニ
 北佐久郡長ニ
 小縣郡長ニ
 郡 廢
 備考
 北佐久郡長ニ

自同 三、九、三 至同 四、一、二
 自同 四、一、二 至同 四、二、一
 自同 四、二、一 至大正三、三
 自大正三、三 至同 三、九
 自同 三、一〇 至同 五、七
 自同 五、七 至同 五、八
 自同 五、八 至同 七、七
 自同 七、七 至同 一、三
 自同 一、三 至同 一三、三
 自同 一三、三 至同 一五、六

東筑摩郡

就任期間

自明治三、四 至明治三、四
 自同 三、四 至同 四、一、四
 自同 四、一、四 至同 四、三、一
 自同 四、三、一 至同 四、三、二
 自同 四、三、二 至大正二、二
 自大正二、二 至同 三、九
 自同 三、一〇 至同 五、一〇
 自同 五、一〇 至同 一、二、四

宮澤宗三郎
 犬童長豊
 平川房吉
 乾長昭
 松下金六
 渡邊盛太郎
 泉對信之助
 岡田竹熊
 川瀬宇吉
 羽生秀三郎

宮澤ろく子
 犬童きの子
 平川さたゑ子
 乾鶴子
 松下あき子
 渡邊しげ子
 泉對やを子
 岡田静子
 川瀬末子
 羽生きのえ

上伊那郡長ニ
 諏訪郡長ニ
 南佐久郡長ニ
 更級郡長ニ
 南佐久郡長ニ
 郡 廢

願問

幹事部長

備考

中島精一
 水上浩基
 濱音之助
 宮澤宗三郎
 武井一郎
 鈴木庄之助
 竹下源六
 安藤貞久

水上辰子
 かね子
 ろく子
 マツ子
 かつ子
 てい子
 伊豫子

上水内郡長ニ

自大正二、四 至大正三、五、六
南安曇郡

就任期間

自治治區、至明治三三、六
自治 三五、六 至同 三七、四
自治 三七、四 至同 三三、二
自治 三三、二 至大正三、三
自大正三、一 至同 三、一〇
自治 三、一〇 至同 六、三
自治 六、三 至同 七、七
自治 七、七 至同 八、二
自治 八、二 至同 一〇、四
自治 一〇、四 至同 一三、一
自治 一三、一 至同 一三、二
自治 一三、二 至同 一五、六

高野 忠衛

顧問

芥川 忠藏
廣長 本光
黒川 光徳
福田 徳藏
長井 喜太夫
野々宮 享
園田 竹熊
上原 雄一郎
白田 松太郎
手塚 十五七
須藤 信敬
長山 謙吾

高野 いし

幹事部長

廣長 清子
黒川 美濃子
福田 かち子
長井 秋子
野々宮 静子
園田 静子
上原 花子
白田 次尾
手塚 サウ子
須藤 露子
長山 とく子

郡 廢

備考

下高井郡長ニ
諏訪郡長ニ
上伊那郡長ニ

上伊那郡長ニ

西筑摩郡長ニ

下伊那郡長ニ

郡 廢

備考

下高井郡長ニ

就任期間

自治治區、至明治三六、九
自治 三六、九 至同 四二、三
自治 四二、三 至同 四五、六

顧問

鮫島 新助
梶田 三郎
大浦 頼

幹事部長

鮫島 ふみ
大浦 初枝

備考

更級

就任期間

自治治區、至明治三八、五
自治 三八、五 至同 三八、二
自治 三八、二 至同 四一、三
自治 四一、三 至同 四三、九
自治 四三、九 至大正三、九
自大正三、一〇 至同 七、七
自治 七、七 至同 八、二
自治 八、二 至同 一一、四
自治 一一、四 至同 一二、二
自治 一二、二 至同 一三、二
自治 一三、二 至同 一五、六

顧問

宮澤 宗三郎
鳥上 親賢
川上 之丞
渡邊 秀之丞
津崎 尙武
乾 長昭
田中 英
飯尾 六蔵
見戸 浩藏
須藤 信敬

幹事部長

宮澤 ろく子
川上 よし子
渡邊 文子
津崎 千代子
乾 鶴子
飯尾 いと子
見戸 多美子
須藤 露子

備考

北佐久郡長ニ

下水内郡長ニ

上伊那郡長ニ

下水内郡長ニ

南安曇郡長ニ

自大正二、二 至大正三、二
自同 一三、二 至同 一五、六

植科郡

石原 快三
小林 一重

石原 こう
小林 とみ

諏訪郡長ニ
郡 廢

就任期間
自明治三、 至明治三、二
自同 三、七、三 至同 三、九、七
自同 三、九、七 至同 四、一、二
自同 四、一、二 至同 四、五、六
自同 四、五、六 至大正三、一〇
自大正三、一〇 至同 五、七
自同 五、七 至同 一〇、三
自同 一〇、三 至同 一一、二
自同 一一、二 至同 一三、八
自同 一三、八 至同 一五、六

上高井郡

願問
濱 香之助
大鳥居 英太郎
倉田 藤太
竹下 源六
松下 金六
甲田 慶次郎
佐藤 三男
横田 克巳
志賀 市藏
長坂 治助

幹事部長
濱 かね子
大鳥居 梢
竹下 てい子
松下 あき子
甲田 滋子
佐藤 かつ子
横田 せん子
志賀 しづ子
長坂 むつ子

備考
下伊那郡長ニ
諏訪郡長ニ
西筑摩郡長ニ
諏訪郡長ニ
上高井郡長ニ

就任期間
自明治三、 至明治三、四
自同 三、七、四 至同 三、九、七
自同 三、九、七 至同 四、三、三
自同 四、三、三 至大正三、一〇

願問
伊藤 彌一郎
福武 勇次郎
樋口 兼泰
甲田 慶次郎

幹事部長
伊藤 きわ子
樋口 鶴子
甲田 滋子

備考
北佐久郡長ニ
埴科郡長ニ

自同 三、一〇 至同 五、七
自同 五、七 至同 七、七
自同 七、七 至同 一〇、三
自同 一〇、三 至同 一一、七
自同 一一、八 至同 一二、四
自同 一二、四 至同 一三、八
自同 一三、八 至同 一五、六

下高井郡

渡邊 盛太郎
藤崎 供義
横田 克巳
岡本 敬造
大久保 幸次郎
杉原 定壽
志賀 市藏

渡邊 しげ子
藤崎 信子
横田 せん子
岡本 いさを
大久保 きぬ子
杉原 和子
志賀 しづ子

西筑摩郡長ニ
埴科郡長ニ
上伊那郡長ニ
郡 廢

就任期間
自明治三、 至明治三、六
自同 三、五、六 至同 三、七、二
自同 三、七、四 至同 四、一、四
自同 四、一、四 至同 四、一、二
自同 四、一、二 至同 四、三、二
自同 四、三、二 至同 四、五、五
自同 四、五、六 至大正三、九
自大正三、九 至同 五、七
自同 五、七 至同 七、七
自同 七、七 至同 七、二二
自同 七、二二 至同 一〇、五

願問
平林 斧吉
芥川 忠藏
河村 備衛
長田 章
鈴木 庄之助
小山 忠雄
大浦 頼
松浦 昌
野々山 彌太郎
宮原 顯三
武盛 仲太

幹事部長
平林 つな子
河村 さよ子
長田 久米子
鈴木 かつ子
小山 しづ子
大浦 初枝
松浦 兼子
野々山 ます子
武盛 種子

備考
上伊那郡長ニ
下伊那郡長ニ
諏訪郡長ニ
上伊那郡長ニ
南佐久郡長ニ

自大正二〇、六 至大正二二、二
 自同 一三、二 至同 一三、八
 自同 一三、八 至同 一五、六

阿蘇温藏
 佐藤三男
 中山德十

阿蘇淑子
 佐藤かつ子
 中山壽美枝

諏訪郡長ニ

就任期間
 自明治三六、三 至明治三七、二
 自同 三七、三 至同 四一、四
 自同 四一、四 至同 四四、九
 自同 四四、九 至大正三、一〇
 自大正三、一〇 至同 一一、四
 自同 一一、四 至同 一三、九
 自同 一三、九 至同 一五、六

願問
 青山勝謙
 紀浦次郎
 水上海基
 河村備衛
 早川繁夫
 齋藤助昇
 田口泰藏

幹事部長
 青山よし子
 紀志賀子
 水上海辰子
 河村さよ子
 早川鑑子
 齋藤喜久子
 田口はる子

備考

下水内郡

就任期間
 自明治三四、一 至明治三五、四
 自同 三六、四 至同 四一、二
 自同 四一、二 至同 四四、五
 自同 四四、五 至大正元、〇
 自大正元、〇 至同 二、三
 自同 二、三 至同 三、三

願問
 紀浦次郎
 犬童長豊
 川上親賢
 安藤貞久
 江藤斧太郎
 藤崎供義

幹事部長
 紀志賀子
 犬童きの子
 川上よし子
 安藤伊豫子
 藤崎信子

備考

下伊那郡長ニ
 西筑摩郡長ニ
 北佐久郡長ニ
 北安曇郡長ニ

自同 三、三 至同 三、一〇
 自同 三、一〇 至同 五、七
 自同 五、七 至同 七、七
 自同 七、七 至同 一、四
 自同 一、四 至同 三、二
 自同 三、二 至同 三、三
 自同 三、三 至同 一五、六

渡邊盛太郎
 佐藤三男
 田中英
 高野忠衛
 藤井勝太郎
 見戸浩藏
 竹中三吉

渡邊しげ子
 佐藤かつ子
 高野イシ子
 藤井茂子
 見戸多美子
 竹中はらの

上高井郡長ニ
 埴科郡長ニ
 更級郡長ニ
 東筑摩郡長ニ

郡廢

(七) 主

事

就任

退任

明治三八、三、
 同 三八、一〇、
 大正 二、六、一
 同 四、三、一六
 同 五、七、二九
 同 七、二、九
 同 一、四、一
 同 一、六、一
 同 二、二、九
 昭和 三、二、八

大正 二、六、一
 同 元、二、二三
 同 四、三、一六
 同 五、三、二二
 同 七、二、九
 同 一、三、二九
 同 一、六、一
 同 二、二、八
 昭和 二、八、一
 同 三、九、六

岩下神太郎
 乾長昭
 安藝正堅
 河村備衛
 小西吉太郎
 野々山彌太郎
 園田竹熊
 須藤信敬
 山崎喜智家
 佐々木安五郎

備考

(死亡)

昭和 三、九、六
 同 五、九、八
 同 一三、九、二九
 同 一五、八、二〇
 主 事 補
 昭和 一三、九、二八
 同 一六、四、二

昭 和 五、七、二八
 同 一三、九、一八
 同 一五、八、二〇

昭 和 一五、九、九

飯 田 忠
 五 味 繁 作
 小 松 吉 治 郎
 高 野 忠 衛

大 内 久 男
 川 又 昂

(八) 書

記

囑 託

解 職

備 考

明治四五、六、一
 大正 三、一、三
 昭和 三、一〇、八
 同 八、六、八
 同 九、一、一
 同 一、一、二三
 同 一三、二二、二二
 同 一四、三、一八
 同 一五、二二、二三

大正 三、一〇、三
 昭和 九、一、三〇
 同 一三、二二、二三
 同 一三、九、二八
 同 一〇、二二、二八
 同 一三、二二、五

氏 名
 宮 澤 喜 兵 衛
 石 坂 政 治
 田 中 保
 大 内 久 男
 竹 内 愛 子
 井 口 善 治
 上 原 林 作
 宮 原 榮 治
 青 沼 宗 光

第二章 會員數表

| 年 次 | 特別維持會員 | | 特別會員 | | 通常會員 | | 合 計 | 贊 助 員 | 備 考 |
|--------|------------|-----------|------|----|------|----|-----|-------|------|
| | 每年出金ヲ要セザル者 | 每年出金ヲ要スル者 | 終身 | 年賦 | 終身 | 年賦 | | | |
| 明治三十六年 | — | — | — | — | — | — | — | — | 六月末調 |
| 同 三十七年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 三十八年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 三十九年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四十年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四十一年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四十二年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四十三年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四十四年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四十五年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 大正 元年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 二年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 三年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 四年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 五年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 同 六年 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 合計 | | | | | | | | | 十月末調 |

| 年次 | 項目 | 決算總額 | 會費 | 寄附金、補助金、交付金 | 事業費 | 事務費 | 擴張費 | 分會費 | 備考 |
|------|----|------|----|-------------|-----|-------|--------|--------|-----|
| 大正七年 | 同 | 一 | 一 | 九九八 | 六三三 | 九、一九 | 一六、七六三 | 二七、四九三 | 三〇五 |
| 同八年 | 同 | 三 | 一 | 一、〇八七 | 五九八 | 九、九二 | 一六、三四〇 | 二七、八八三 | |
| 同九年 | 同 | 四 | 三 | 一、一八七 | 五七八 | 二、〇九 | 一五、八二四 | 二九、七八八 | |
| 同十年 | 同 | 四 | 五 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十一年 | 同 | 五 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十二年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十三年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十四年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十五年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 昭和元年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同二年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同三年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同四年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同五年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同六年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同七年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同八年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同九年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十一年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十二年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |
| 同十三年 | 同 | 六 | 六 | 一、一八三 | 六〇八 | 二、一三八 | 一五、七五三 | 二九、七八八 | |

二七〇

十一月末調
九月末調

| | | | | | | | | | |
|------|---|-----|-----|-------|-------|--------|--------|---------|-----|
| 同十四年 | 同 | 一六四 | 一〇六 | 四、九九六 | 二、八八八 | 三三、八四六 | 五〇、九一六 | 九一、九一六 | 八三三 |
| 同十五年 | 同 | 一八〇 | 一三三 | 五、九〇一 | 二、六八八 | 三八、三九五 | 五六、〇九七 | 一〇三、三九五 | 八四三 |
| 同十六年 | 同 | 一八四 | 一三〇 | 六、四三五 | 二、三六四 | 四一、七〇三 | 六〇、二五〇 | 一一一、〇五六 | 八四〇 |

備考欄中附記なきものは、すべて十二月末調査なり。

九月末調

第三章 經濟に關する表

| 年次 | 項目 | 決算總額 | 收 入 | | | 支 出 | | | 備考 |
|-----|----|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | | 會費 | 寄附金、補助金、交付金 | 事業費 | 事務費 | 擴張費 | 分會費 | |
| 明三九 | 同 | 二、四三六 | 一、四三六 | 一〇一 | 一 | 五七四 | 一 | 六七九 | |
| 同四〇 | 同 | 一、〇八〇 | 七〇九 | 五六一 | 一 | 一、六一 | 三七〇 | 六、三三九 | |
| 同四一 | 同 | 一、三〇五 | 四、三〇五 | 三、三三三 | 一 | 四、八三 | 四、五三八 | 一、四五八 | |
| 同四二 | 同 | 九、三九一 | 三、三〇〇 | 一、〇一四 | 二、九三三 | 二、四三三 | 一〇〇 | 一、〇二七 | 事業費は特別會計に依る救護資金より支出に付()を以て示す 大正十四年度迄同じ |
| 同四三 | 同 | 九、四七七 | 四、一九四 | 四、〇一六 | 二、九二八 | 二、四八六 | 二二 | 一、三五五 | |
| 同四四 | 同 | 七、七七七 | 五、四三〇 | 三、三三九 | 二、〇〇〇 | 二、五九 | 二七 | 二、一〇二 | |
| 同四五 | 同 | 五、七六六 | 三、七五五 | 一、八四一 | 二、八一九 | 二、二五四 | 二九 | 一、六三四 | |
| 大元 | 同 | 六、二二九 | 三、六五六 | 二九 | 三、八四五 | 二、七三五 | 二九 | 一、三九二 | 特別會計救護資金へ縣費補助一、〇〇〇 |
| 同二 | 同 | 六、〇五〇 | 三、七七一 | 四九〇 | 三、四五六 | 二、五七六 | 一六 | 一、三〇七 | |
| 同三 | 同 | 六、二九九 | 二、六四五 | 二八九 | 三、七三七 | 二、四三五 | 一 | 一、三三三 | |
| 同四 | 同 | 七、六〇八 | 二、九三九 | 八二二 | 三、二四一 | 二、六二五 | 四三 | 一、三五九 | |

二七一

| | | | | | | | | |
|-----|---------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|--------------------|
| 大六 | 一六、八四九 | 六、一六〇 | 七、四七〇 | (一、八八五) | 六、四七五 | 一 | 二、八五三 | 特別會計救護資金へ縣費補助一、五〇〇 |
| 同七 | 九、〇一四 | 三、〇一〇 | 九、〇一四 | (〇〇〇、〇) | 三、〇一四 | 四六〇 | 一、九一四 | 同上縣費補助一、五〇〇 |
| 同八 | 一六、五三三 | 四、六四五 | 八、〇〇〇 | (三、八五三) | 四、七三九 | 一、三七四 | 三、三六九 | 同上縣費補助一、五〇〇 |
| 同九 | 一、三六〇 | 三、〇七〇 | 三、〇七〇 | (六、一〇〇) | 五、九三九 | 七九四 | 二、三三三 | 同上縣費補助一、五〇〇 |
| 同〇 | 一、三五五 | 三、〇七六 | 一、三三三 | (五、八〇八) | 七、一〇一 | 八五一 | 一、七〇五 | 同上縣費補助一、五〇〇 |
| 同一 | 一、九〇八 | 六、三五二 | 五、三六〇 | (三、五三三) | 七、五二八 | 二、三六七 | 四、六一七 | 同上縣費補助二、〇〇〇 |
| 同一二 | 一、四〇八 | 五、〇七五 | 三、〇九六 | (七、一三六) | 六、八四三 | 一、一五五 | 二、八八六 | 同上縣費補助二、〇〇〇 |
| 同一三 | 一、五、一四七 | 七、三九〇 | 三、八二〇 | (六、八三三) | 七、七二四 | 一、二七九 | 三、〇四〇 | 同上縣費補助三、〇〇〇 |
| 同一四 | 一、九〇七 | 七、三九〇 | 三、一一九 | (六、三九三) | 七、三六六 | 四、〇一九 | 三、五八四 | 同上縣費補助三、〇〇〇 |
| 昭元 | 三、四、一九一 | 一六、一三三 | 三、八二七 | 六、九七五 | 九、六三〇 | 三、三三九 | 二、三五五 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同二 | 二、〇、四八〇 | 一〇、一〇一 | 四、八七三 | 九、四八九 | 八、一八〇 | 一、〇七二 | 九六〇 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同三 | 二、四、三六四 | 一、三、八六二 | 六、六三三 | 一〇、七七六 | 八、三九二 | 二、七〇一 | 一、五五五 | 縣費補助四、一〇〇 |
| 同四 | 二、三、七二七 | 一、四、〇五〇 | 三、八二二 | 九、三三七 | 八、三六八 | 一、六六八 | 一、六六八 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同五 | 一、八、五〇三 | 九、四八二 | 三、二二二 | 〇〇、〇 | 七、〇〇〇 | 一、七〇一 | 一、三三三 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同六 | 一、八、一九二 | 八、一六七 | 四、三三三 | 七、七二七 | 七、三三三 | 一、〇六二 | 一、〇六二 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同七 | 三、三、七一九 | 八、六八八 | 五、九二一 | 一、二、三三三 | 六、七六六 | 一、三二九 | 一、三二九 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同八 | 三、二、九七七 | 一〇、五九一 | 四、五六四 | 一、八、二六一 | 〇、〇 | 一、二二九 | 一、五〇一 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同九 | 三、三、〇四七 | 八、六四八 | 五、四三〇 | 七、八二六 | 三、〇三〇 | 一、〇二九 | 一、五五一 | 縣費補助三、〇〇〇 |
| 同一〇 | 一、七、六五四 | 二、一〇、六一 | 三、四一五 | 四、六一五 | 六、六二二 | 一、五九二 | 二、六七七 | 縣費補助一、〇〇〇 |
| 同一一 | 三、三、〇一九 | 三、四、六一〇 | 六、一三三 | 五、三三七 | 七、二二〇 | 六、〇九六 | 二、六九七 | 縣費補助一、〇〇〇 |

第四章 分會概要

左表は昭和十六年七月「沿革誌編纂に關し」各分會に發したる照會に對する回答を輯録したるものなり。
役員氏名は紙面の都合上數名を摘録するに留めたり。

南佐久郡 23

| | | | | | | | | |
|-----|---------|-------|---------|---------|--------|--------|--------|--|
| 同一二 | 七三、四五三 | 三、八六九 | 一四、一三六 | 三七、四九一 | 六、七三九 | 六、五七七 | 七、一五二 | 縣費補助一、三〇〇 縣交付金一〇、〇〇〇 外臨時部収入五、三〇〇(記念事業、臨時 工事) |
| 同一三 | 一四一、〇七五 | 三、七二八 | 三、五〇八 | 一〇四、五〇五 | 七、三三八 | 七、四二九 | 八、七一九 | 縣交付金九、三〇〇 御下賜金五〇〇 縣費補助四、三七五 |
| 同一四 | 一四七、五二四 | 六、〇九四 | 二、三六四 | 九七、六七〇 | 一〇、八六五 | 一一、四八〇 | 一一、三三五 | 規程改正に依り決算總額及會費は 本部納付金(一三、六〇九)を差引かざる 額なり |
| 同一五 | 一六九、一三七 | 八、四〇五 | 三、四七五 | 七六、一〇五 | 一〇、六四八 | 一一、一八〇 | 一六、七二二 | 豫算を示す |
| 同一六 | 一六五、五五二 | 八、〇二六 | 一、三、〇〇〇 | 九七、五〇〇 | 一一、〇一〇 | 一一、八〇〇 | 三三、二〇五 | |

| 町村名 | 創立年月日 | 會員數 | | | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|-----------|------|----|-----|----------|----------|---------|
| | | 創立當時 | 現員 | 在會 | | | |
| 白田 | 昭和一〇、三、一〇 | 一〇〇 | 一四 | 六五九 | 昭一〇、一〇、七 | 昭一〇、一〇、三 | 並木 齡輔 |
| 野澤 | 昭和一〇、三、一〇 | 五 | 一四 | 六五九 | 昭一〇、一〇、三 | 昭一〇、一〇、三 | 並木 忠太郎 |
| 中込 | 明治二二、二、二五 | 一六 | 一〇 | 六五 | 昭二三、一〇、三 | 昭二三、一〇、三 | 柳 澤 ぬみね |

岩村田 | 町村名 | 創立年月日 | 創立當時 | 特種 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計

北佐久郡 28

總會年月日

創立當時役員

現在副會長

| | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 岸野 | 前山 | 櫻井 | 内山 | 平賀 | 田口 | 大澤 | 切原 |
| 大正八、七 | 明治四〇、五、一 | 明治四二、四、八 | | 明治三九、四、一 | | 明治四一、七、〇 | 不詳 |
| 一九 | 三〇 | 二七 | | 三 | | 五 | |
| 一 | | | | 一 | | | |
| 四〇 | 二六 | 三 | | 五 | | 二四 | 三 |
| 五〇八 | 二〇七 | 二二 | | 四七 | | 一五三 | 二五一 |
| | | | | | | | |
| 五四九 | 二二三 | 二二五 | | 四五三 | | 一七 | 三五 |
| 同大、四、一三(村) | 同大、三、一〇(村) | 同大、二、一〇(村) | 同大、二、一〇(村) | 同大、二、一〇(村) | 同大、二、一〇(村) | 同大、二、一〇(村) | 同大、二、一〇(村) |
| 岩内政藏 | 早川權彌 | 箕輪愛之助 | 白田哲彌太郎 | 淺沼信太郎 | 中井爲昇助 | 吉岡徳重助 | 松浦吉一郎 |
| 新井らめじ | 市川ゆきな | 箕輪はな | 白田ひでよ | 白田ひでよ | 池田とよ | 高畑すゑじ | 三浦てふ |

| | | | | | | | | | | | |
|------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 青沼 | 菜八 | 畑八 | 大日向 | 海瀨 | 穂積 | 北相木 | 南相木 | 小海 | 北牧 | 南牧 | 川上 |
| 不詳 | | 昭和二三、二、二 | 明治四二、三、一 | 明治四五、五、 | 明治四二、五、 | 大正三、三、三 | 大正二〇、(分區) | 明治四〇、八、六 | 明治四〇、八、六 | | 明治四〇、八、〇 |
| | | 三 | 六 | 一八 | 七 | 三〇 | | 四 | 五 | | 一九 |
| | | 一 | | | | | | | | | |
| 五 | | 二 | | 一 | 一七 | 一 | | 五 | 三 | | 四 |
| 二二五 | | 一三七 | 五〇 | 二五九 | 一九一 | 三九 | | 八五 | 一七二 | | 一九二 |
| | | 四 | | | | | | | | | 三 |
| 三〇 | | 一四 | 五〇 | 二六〇 | 二〇八 | 四〇 | | 九〇 | 一七五 | | 一九八 |
| ナ | | 同昭三、三、一〇 | ナ | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 | 同昭三、三、一〇 |
| 日向喜助 | 小宮山友勝 | 佐々木友勝 | 淺川健二郎 | 新海憲一郎 | 井出伊太郎 | 井出萬平 | 井出とら | 中島爲市 | 武川よみ | 油井彌治右衛門 | 篠原武重 |
| 新津たけ | 井出喜野 | 佐々木らうし | 淺川武磨 | 高見澤キミヨ | 黒澤初江 | 井出池ス | 井出きく | 菊地しな | 油井みよし | 井出きく | 川上以満子 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------------|--------------|---------------|------------------------------|-------|-------|-------|------|-------------|------|------------------|-------|
| 北御牧 | 三都和 | 横鳥 | 芦田 | 本牧 | 協和 | 春日 | 布施 | 南御牧 | 新田 | 五郎兵衛 | 川邊 | 大里 |
| | 明治 四〇、一〇、二二 | 昭和 九、四、一〇 | 明治 四〇、九、二六 | 大正 三、四、二五 | | | | | 昭和 八、二、三 | | 明治 四〇、 | |
| | 二 | 六 | 〇 | 二四八 | | | | | 七 | | 元 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | 三 | 八 | 九 | 三〇 | | | | | 一 | | | |
| | 四〇 | 一八五 | 二〇三 | 五九 | | | | | 二三 | | | |
| | | | | 一 | | | | | | | | |
| | 四三 | 一九三 | 三三 | 五四〇 | | | | | 二三 | | | |
| | ナ シ | ナ シ | 昭三、五、九 | 大正三、四、五 昭三、五、九 同四、一〇、八 | | | | | 昭三、五、九(八ヶ村) | | 昭七、二、八 同三、二、六 | |
| | 市川市郎重 | 山浦代重 | 高橋くに | 荻原嘉之助 | 岩下政三 | 中村まさの | 永井まさの | 武重たつ | 武重たつ | 高橋よし | 高橋よし | 柳澤善太郎 |
| | 小林よしみ | 市川なみ | 浦野よし | 高橋よし | 中村まさの | 永井まさの | 武重たつ | 武重たつ | 武重たつ | 高橋よし | 高橋よし | 荻原きわ |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------------------|------------|--------------------|---------------|--------------|-------|---------------|--------|-------|--------|----|--------------|------------|---|
| 北大井 | 小沼 | 御代田 | 南大井 | 三岡 | 中津 | 中佐都 | 高瀬 | 志賀 | 三井 | 平根 | 伍賀 | 西長倉 | 輕井澤 | 小諸 |
| 昭和 七、一、二三 | | 昭和 三、六、 | 大正 三、四、八 | 明治 三、七、六、一 | 明治 三、七、〇、 | | 明治 四〇、八、三〇 | | | | | 大正 一〇、四、一 | 明治 三、四、 | 明治 三、四、一 |
| 三 | | 三 | 三 | 三 | 三 | | 五 | | | | | 六 | 七 | 六〇 |
| | | | | | | | | | | | | | | 一七 |
| 三 | | 一 | 三 | 三 | 二 | | 三 | | | | | | 六 | 三五 |
| 四三〇 | | 一四五 | 一五五 | 一〇一 | 八六 | | 三七〇 | | | | | 八 | 五〇八 | 三七二 |
| | | | | | | | | | | | | | | 一 |
| 四三三 | | 一四六 | 一六二 | 一〇四 | 九七 | | 三七三 | | | | | 八 | 五七六 | 四四 |
| 同三、一〇、一〇 同三、一〇、四 | 昭八、一〇、一 同六、三、七 | 昭二、二、(合同) | 昭三、二、一五 同三、一〇、九 | ナ シ | ナ シ | | 昭五、一〇、一 | | | | | ナ シ | 昭三、二、三 | 明三、四、一 同四、〇、五 大正二、九、七 昭三、一〇、一五 |
| 小山 りい | 安川嘉三平 | 安川孝三 | 小林まさじ | 中澤けきた | 中村剛之助 | 中村剛之助 | 佐藤貞五郎 | 藤田儀三郎 | 大井小重郎 | 羽毛田佐助 | | | 土屋孫作 | 伊藤常雄 |
| 小山 ひで | 市川貞子 | 酒井よし | 甘利梅司 | 甘利梅司 | 鹽川猪壽恵 | 古平よお | | 大工原しづか | 羽毛田く | 大工原しづか | | | 遠山ひで | 伊藤そめ |

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|----------|-----|----|----|-----|----|-----|-------------|---------|--------|
| 鹽尻 | 明治三三、四 | 三 | | 七 | 一〇〇 | | 一六七 | 昭八、四、一六 | 佐藤袋 しまよ | 佐藤 丑 |
| 長瀬 | | | | | | | | | | |
| 鹽川 | | | | | | | | | | |
| 依田 | | | | | | | | | | |
| 西内 | | | | | | | | | | |
| 東内 | 明治三九、三、一 | 五 | | | 一〇〇 | | 一三〇 | | 山本 親 | 大野 すけの |
| 武石 | 明治三九、三、一 | 二 | | | 五九 | 二 | 六一 | | 池内 寛治 | 中村 ちうの |
| 大門 | | | | | | | | | 池内 若人 | 橋詰 ますち |
| 和田 | 昭和二、八、三六 | 二九 | | 二 | 一〇三 | | 一〇五 | 昭二、二、一八(聯合) | 長井 むめみ | 田中 四郎 |
| 川邊 | 明治三〇、五 | 五 | | 三 | 二六 | 二 | 二二 | ナシ | 山浦 せき | 飯島 しかつ |
| 泉田 | | | | | | | | | 塩崎 せき | 金山 一郎 |
| 室賀 | 昭和二、 | | | | | | | | | |
| 浦里 | | | | | | | | | | |
| 青木 | | | | | | | | | | |
| 西鹽田 | 昭和五、一、二 | 六〇 | | 四 | 一八九 | | 一三三 | 毎年四月六日 | 宮澤 久三郎 | 小池 育 |

二七九

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|------|-----------|-----|----|-----|-----|----|-----|---------------------------|--------|--------|
| 長久保新 | 明治三三、九 | 六 | | | | | 六 | | 大澤 八太郎 | 武重 房子 |
| 長窪古 | | | | | | | | | 武重 昌次 | 竹内 佐和子 |
| 丸子 | 明治三九、五、一〇 | 三 | | 一九六 | 九二 | | 一一七 | 昭八、一〇、一七 同二、二、一八(十一ヶ村) | 工藤 清之助 | 金子 まさを |
| 縣 | | | | | | | | | 工藤 五郎 | 齋藤 くま |
| 滋野 | 不詳 | 三 | | 一〇 | 五四二 | 五 | 五六一 | 昭二、二、三九(十二ヶ村) 同六、四、一三 | 田口 龜吉 | 長岡 なみの |
| 和 | | | | | | | | | 丸山 しゃう | 寺島 ぶみ |
| 神川 | 明治四〇、四、二二 | 五 | | 三 | 三五六 | | 三七七 | 昭九、二、三(十二ヶ村) 同六、四、二七 | 松本 けん | 坂田 ぶみを |
| 豐里 | 明治三〇、四、一 | 一 | | 二 | 二九 | | 三二 | 昭二、三、二六 同二五、三、三 | 久保田 外治 | 竹内 喜代子 |
| 殿城 | | | | | | | | | 細田 貞次郎 | 細田 喜代子 |
| 本原 | 大正三、一、二五 | | | | | | | | | |
| 長 | | | | | | | | | 坂口 権次郎 | 坂口 たの |
| 傍陽 | 明治三〇、三、三 | 二 | | 一 | 三 | | 三 | ナシ | 落合 いさ | 柳澤 やすの |
| 神科 | 昭和二、一〇、五 | 五 | | 一 | 五〇三 | | 五〇四 | 昭二、二、二九 同二五、四、七 | 倉島 直一郎 | 倉島 なみ |

二七八

| 別所 | 中鹽田 | 東鹽田 | 富士山 |
|---------|----------|----------|------------|
| 明治、四、 | 明治、一〇、一〇 | 明治、一〇、一〇 | 明治、三九、四、三五 |
| 一六 | 二四 | 二四 | 二五 |
| 一 | 二 | 二 | 一〇 |
| 一六 | 二七 | 二七 | 一〇 |
| 一七 | 三九 | 三九 | 一〇 |
| 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 |
| 山極治一郎 | 宮原 かくわ | 宮原 かくわ | 室林 長十郎 |
| 半田 郁子 | 宮原 かくわ | 宮原 かくわ | 西澤 みよし |

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|----------|-----|----|-----|-------|----|-------|----------|--------|--------|
| 上諏訪 | 明治、五、 | 三 | 一 | 四七九 | 一、八六一 | 五五 | 二、三九五 | | 寺島 静明 | 宮坂 木よみ |
| 下諏訪 | 明治、一〇、二四 | 二二 | 一 | 一九五 | 六八三 | 三四 | 九二二 | 昭四、一〇、二四 | 武居 さいつ | 宮坂 木よみ |
| 川岸 | | | | | | | | | 山田 さいつ | 下條 ちとせ |
| 平野 | | | | | | | | | 三澤 ますか | 長崎 ちとせ |
| 長地 | 明治、三、一七 | 九 | 四三 | 五八 | 五八 | 一四 | 六五三 | | 三澤 ますか | 山邊 久恵 |

諏訪郡 24

| 四賀 | 永明 | 米澤 | 北山 | 湖東 | 豊平 | 玉川 | 泉野 | 原野 | 本郷 | 境 |
|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|---|
| 明治、四、三 | 明治、四、一 | 明治、五、一 | 明治、一、二 | 明治、三、九、〇 | 明治、六、二〇 | 明治、四、 | 明治、三、三〇 | 明治、一〇、三〇 | 明治、三、一〇 | |
| 一六九 | 一四六 | 三七 | 九 | 五 | 三八 | 三五 | 八 | 一五 | 三五 | |
| 一 | 五〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 三六 | 三六三 | 六 | 七 | 三 | 一〇 | 二二 | 一〇 | 四三 | 四九 | |
| 四三二 | 三二八 | 二五 | 二八〇 | 二五一 | 四二五 | 四九四 | 二四四 | 八三三 | 五九二 | |
| 一六 | 三三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 六 | 一 | 六 | 三 | |
| 五〇四 | 六六四 | 二二三 | 二八七 | 二五四 | 四二六 | 五三三 | 二五四 | 八八一 | 六六二 | |
| 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | 昭三、四、一〇 | |
| 北澤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | 伊藤 せつ | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----|----|---------------------|-------------------|--------------------|--------------|---------------|-------------------|--------------------|----|--------------------|--------------------|
| 高遠 | 小野 | 川島 | 伊那富 | 中箕輪 | 南箕輪 | 西箕輪 | 西春近 | 宮田 | 赤穂 | 飯島 | 七久保 | 上片桐 |
| 明治 三〇、一〇、四 | | | 不詳 | 明治七、 | 明治 一〇、 | 明治 二、九、三〇 | 明治 一〇、一〇、五 | 明治 三、一、一〇 | 明治 三、三、三五 | | 明治 一〇、八、二六 | 明治 一〇、六、三五 |
| 六 | | | | 三 | 五 | 七 | 四 | 四 | 一 | | 二 | 二 |
| 二 | | | | 一 | | | | | | | | |
| 三 | | | 五 | 四 | 一 | 二 | 三 | 四 | 一 | | 一 | 一 |
| 一四五 | | | 八〇八 | 六九八 | 三二七 | 一七〇 | 二〇四 | 二八九 | 三三五 | | 七 | 六五 |
| | | | | 三 | | | 二 | | 二 | | | |
| 一五〇 | | | 八五九 | 七四六 | 三五六 | 一七五 | 二二八 | 二九三 | 三三七 | | 七 | 六八 |
| 不 | | | 昭一〇、三、一 同二、三、五、二 | 大二、二、二四 昭二、三、六 | 昭一〇、二、二四 同二、三、四 | | 不 | 明四、二、三 昭一五、三、五 | 明四、一〇、一七 昭八、四、四 | | 明四、一〇、三〇 昭二、三、一 | 大五、四、一〇 昭二、四、三九 |

| | | | | | | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|---------|--------|
| 黒河内 ゆう | 黒河内 猪之吉 | 河野 國太郎 | 林 浦吉 | 伊藤 亥 | 北村 たいし | 福澤 たいし | 竹内 みつよ | 高坂 つぢ | 宮本 喜代太郎 | 竹内 銚次郎 |
| 廣瀬 よしの | 赤羽 敬治 | 小松 茂成 | 小林 昌太郎 | 清水 ととき | 小町 谷はま江 | 小出 いな | 片桐 しん | 有賀 千春 | 宮澤 しげり | 森下 鎌恵 |
| 黒河内 ゆう | 黒河内 猪之吉 | 河野 國太郎 | 林 浦吉 | 伊藤 亥 | 北村 たいし | 福澤 たいし | 竹内 みつよ | 高坂 つぢ | 宮本 喜代太郎 | 竹内 銚次郎 |
| 黒河内 ゆう | 黒河内 猪之吉 | 河野 國太郎 | 林 浦吉 | 伊藤 亥 | 北村 たいし | 福澤 たいし | 竹内 みつよ | 高坂 つぢ | 宮本 喜代太郎 | 竹内 銚次郎 |

二八三

上伊那郡 31

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--------|--------|------------------------------|------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------|-------------------------------|
| 伊那 | 湊田 | 豊田 | 湖南 | 中洲 | 宮川 | 金澤 | 富士見 | 落合 |
| 明治 一〇、一〇、 | | | 明治 三、五、 | 明治 三、七、四、一四 | 明治 三、一、一〇 | 明治 三、七、二、 | 明治 三、一〇、一 | 明治 三、四、 |
| 九 | | | 三九 | 七 | 二〇五 | 二二 | 四一 | 八 |
| | | | | 六 | | | | |
| 九〇 | | | 三三 | 三三 | 三三 | 一七 | 五五 | 二五 |
| 一、二、五、九 | | | 五三九 | 四二〇 | 六四七 | 五七二 | 五九 | 三六七 |
| 一 | | | | | 七 | | 五 | |
| 一、三、五〇 | | | 五七三 | 四四九 | 六七七 | 五八九 | 五七九 | 三九三 |
| 昭二、四、三九 同二、四、三九 同二、三、一 | | | 昭三、五、二 同三、一、二八 同四、九、三〇 | 昭三、四、三五 同九、九、三六 同〇、一、八 | 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 同二、一〇、一〇 | 大二、一〇、三〇 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 | 大二、昭二、 | 昭三、五、二 同四、三、二八 同二、六、三、六 |
| 田中 多加子 | 田中 多加子 | 田中 多加子 | 小池 喜三郎 | 矢島 ちよ子 | 磯岐 きん | 山崎 きちす | 小林 ことつ | 名取 厚次郎 |
| 下平 多加子 | 下平 多加子 | 下平 多加子 | 關 よし江 | 岩波 よしの | 守五 とも | 濱口 ひろの | 小川 美和 | 植松 めう |
| 春原 せん | 春原 せん | 春原 せん | 關 よし江 | 岩波 よしの | 守五 とも | 濱口 ひろの | 小川 美和 | 植松 めう |

| | |
|----------------------------------|--------|
| 創立年月日 | 現在分會長 |
| 昭二、四、三九 同二、四、三九 同二、三、一 | 田中 多加子 |
| 昭三、五、二 同三、一、二八 同四、九、三〇 | 小池 喜三郎 |
| 昭三、四、三五 同九、九、三六 同〇、一、八 | 矢島 ちよ子 |
| 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 同二、一〇、一〇 | 磯岐 きん |
| 大二、一〇、三〇 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 | 山崎 きちす |
| 大二、昭二、 | 小林 ことつ |
| 昭三、五、二 同四、三、二八 同二、六、三、六 | 名取 厚次郎 |
| 昭二、四、三九 同二、四、三九 同二、三、一 | 田中 多加子 |
| 昭三、五、二 同三、一、二八 同四、九、三〇 | 小池 喜三郎 |
| 昭三、四、三五 同九、九、三六 同〇、一、八 | 矢島 ちよ子 |
| 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 同二、一〇、一〇 | 磯岐 きん |
| 大二、一〇、三〇 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 | 山崎 きちす |
| 大二、昭二、 | 小林 ことつ |
| 昭三、五、二 同四、三、二八 同二、六、三、六 | 名取 厚次郎 |
| 昭二、四、三九 同二、四、三九 同二、三、一 | 田中 多加子 |
| 昭三、五、二 同三、一、二八 同四、九、三〇 | 小池 喜三郎 |
| 昭三、四、三五 同九、九、三六 同〇、一、八 | 矢島 ちよ子 |
| 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 同二、一〇、一〇 | 磯岐 きん |
| 大二、一〇、三〇 昭九、一〇、一〇 同二〇、一〇、六 | 山崎 きちす |
| 大二、昭二、 | 小林 ことつ |
| 昭三、五、二 同四、三、二八 同二、六、三、六 | 名取 厚次郎 |

二八二

| | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------------------------|------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 美 | 長 | 藤 | 三 | 伊 | 美 | 河 | 富 | 東 | 伊 | 中 | 南 | 片 |
| 篤 | 藤 | 澤 | 義 | 那 | 和 | 南 | 縣 | 春 | 那 | 澤 | 向 | 桐 |
| 大正五、 | 明治 〇〇、八、一〇 | 昭和三 二、四、一 | 昭和三 二、三 | 明治 〇〇、七、三〇 | 明治 四四、七、二四 | 明治三五、 | 明治 四四、八、三〇 | 明治 〇〇、七、一五 | | | | 明治 〇〇、七、一五 |
| 六 | 三 | 一 | 三 | 五 | 七 | 二 | 二 | 二七 | 一 | 一 | 一 | 三 |
| 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 三 | 三 | 一 | 一 | 一 | 二 | 七 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 五 |
| 二四 | 一八三 | 一 | 一 | 二九 | 一六七 | 二六三 | 四七三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一五六 |
| 一 | 三 | 一 | 一 | 五 | 一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 三三 | 一八九 | 一 | 一 | 二四 | 一六〇 | 二七二 | 四七八 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一六二 |
| 一 | 同四〇、八、一〇 同四四、一〇、三 同四六、二、一五 | 昭二、四、三〇(毎年) 同六、四、三五 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 | 昭二、四、三〇 同四、四、三〇 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 橋爪 勇男 | 春日 梅平 | 高島 熊太郎 | 松井 濱子 | 小松 とう子 | 伊藤 繁三郎 | 高見 兼松 | 丸山 藤一郎 | 鹽原 英一 | 池上 初太郎 | 飯塚 初太郎 | 飯塚 初太郎 | 前澤 貞次 |
| 白鳥 くにん | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす |
| 白鳥 くにん | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす | 北原 すす |

二八四

| | | | |
|---------------|-----|----|--------------|
| 朝日 | 東箕輪 | 箕輪 | 手良 |
| 明治 〇〇、三、一〇 | | | 明治 〇〇、八、一 |
| 三 | 一 | 一 | 二 |
| 一 | 一 | 一 | 一 |
| 一六 | 一 | 一 | 一 |
| 二五 | 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 | 一 |
| 二九 | 一 | 一 | 二 |
| 明治 〇〇、三、一〇 | | | 不明 |

| | | |
|--------|-------|---------|
| 有賀 いよ | 三輪 横郎 | 佐々木 けさよ |
| 北原 正次郎 | 海野 資雄 | |

下伊那郡 39

| | | | | | | | |
|-----|---------------|-----|----|----|----|-----|-------------------------------------|
| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計 | 總會年月日 |
| 飯田 | | | | | | | |
| 上飯田 | | | | | | | |
| 大島 | 明治 〇〇、九、二 | 三 | 一 | 一 | 一 | 四七五 | 同三、一、二 同三、一、二 同三、一、二 |
| 山吹 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 四一八 | 同三、一、二 同三、一、二 同三、一、二 |
| 市田 | 明治 四〇、 | 九 | 一 | 一 | 一 | 五九五 | 昭一〇、一〇、一七 昭一〇、一〇、一七 昭一〇、一〇、一七 |
| 座光寺 | 明治 三九、一〇、一 | 三 | 一 | 一 | 一 | 三三〇 | 昭一、一、五 昭一、一、五 昭一、一、五 |
| 上郷 | 明治 三七、三、三 | 一八 | 一 | 一 | 一 | 二七二 | 昭三、四、二五 |

| | |
|---------|---------|
| 創立當時役員 | 現在分會長 |
| 飯田 初太郎 | 飯田 初太郎 |
| 上飯田 初太郎 | 上飯田 初太郎 |
| 大島 初太郎 | 大島 初太郎 |
| 山吹 初太郎 | 山吹 初太郎 |
| 市田 初太郎 | 市田 初太郎 |
| 座光寺 初太郎 | 座光寺 初太郎 |
| 上郷 初太郎 | 上郷 初太郎 |

二八五

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|----|----|----|-----|-----|--------------------------------|------------------|-----------------------|----|-----------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------------------|
| 生田 | 河野 | 神野 | 喬木 | 上久堅 | 下久堅 | 龍江 | 千代 | 泰阜 | 平岡 | 神原 | 且開 | 豊 | 大下條 | 富草 | 下條 |
| 明治 四〇、八、 | | | | | | 明治 四〇、八、三五 | 明治 四〇、一、 | | | 明治 四〇、二、三五 | | 明治 四〇、八、 | 明治 四〇、 | | 明治 四〇、 |
| 三 | | | | | | 九 | | | | 三 | | 八 | 不詳 | | 不詳 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一〇 | | | | | | 二六 | 四六 | | | 二 | | 五 | 六 | | 一〇 |
| 三〇 | | | | | | 三五 | 一六 | | | 五 | | 三九 | 五 | | 三六 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二二〇 | | | | | | 三七 | 三二 | | | 七 | | 四 | 六 | | 三六 |
| 昭大 二、三、四、一〇、 昭一五、四、一五 | | | | | | 同三、三、三〇 昭八、四、二〇 昭一四、二、一五 | | | | | | | | | |
| 松 下 喜 太 郎 | | | | | | 澤 柳 善 三 | 木 下 善 富 | 北 澤 順 太 郎 | | 大 杉 茂 喜 延 | 福 島 正 良 | 井 澤 鍊 平 | 熊 谷 と し | 金 田 津 掄 | 龜 刻 民 惠 |
| 池 上 千 榮 | | | | | | 松 島 貞 治 | 奥 村 賢 治 | 小 山 ち さ る | | 村 松 た ま よ | 大 杉 し げ 代 | 後 藤 萩 野 | 熊 谷 と し | 熊 谷 と し | 佐 々 木 か つ み 文 |

二八七

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----------------------|------------------|------------------|----------------------------|-----------------------|----|-----------------------|----------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 根羽 | 平谷 | 波合 | 智里 | 伍和 | 會地 | 清内路 | 三穂 | 山本 | 伊賀良 | 川路 | 龍丘 | 松尾 | 郡 |
| | | 明治 三六、四、一 | | 明治 三七、三、一 | 不詳 | | | 昭和 二、七、三六 | | 明治 三九、四、 | 明治 三七、三、二六 | 明治 三七、 | 昭和 八、七、二二 |
| | | 三五 | | 三 | | | | 九 | | 七 | 七 | 三 | 二四 |
| | | | | | 二 | | | 一 | | | 三 | 二 | |
| | | | | 五 | 三六 | | | 四 | | 七 | 三 | 三 | 三 |
| | | 三 | | 三 | | | | 二四 | | 二六 | 二五 | 二五 | 三二 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | 三 | | 五 | 三〇 | | | 一九 | | 二七 | 二六 | 二七 | 三五 |
| | | 每年 一〇、二、五 | | | 昭一三、一〇、三 | | | | | 昭八、四、一五 同二四、四、三六 | 昭八、一〇、一五 昭一四、四、三三 | | 昭二、四、三九 同二四、二、一九 |
| | | 山 口 ま さ き | 後 藤 ち よ | 高 坂 勝 雄 | 佐 藤 贊 視 郎 | 北 原 藤 吾 | | 坂 井 重 太 郎 | 久 保 田 重 太 郎 | 今 村 信 夫 | 代 田 市 郎 | 吉 川 亮 夫 | 關 島 い さ |
| | | 河 原 久 子 | | | 原 新 井 マ ス エ | 矢 澤 か つ み | | 坂 井 美 那 え | | 吉 川 千 春 | 興 津 屋 壽 | 代 田 市 郎 | 大 澤 茂 喜 尾 |
| | | | | | | | | | | | 原 市 郎 | 福 島 都 喜 尾 | 小 木 曾 エ イ |

二八六

大鹿
和田組合

西筑摩郡 16

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|-----------|-----|----|----|----|----|----|------------------|--------|-------|
| 和鹿 | | | | | | | | | | |
| 大鹿 | | | | | | | | | | |
| 福島 | 明治三六、 | 七 | 一 | 四 | 七 | 六 | 八三 | 昭三、二、二〇、四 | 伊藤正太 | 佐藤ふみ |
| 上松 | 明治三六、 | 一九 | 一 | 一五 | 四九 | 一 | 五三 | 昭三、二、三三、同二五、二、二六 | 伊藤正太 | 香下せつみ |
| 楡川 | | | | | | | | | 澤口徳太郎 | 野中安伊 |
| 木祖 | | | | | | | | | 谷口徳太郎 | 塚山だ |
| 奈川 | 昭和二〇、〇 | 七 | | | 一四 | 三 | 一七 | | 齋藤縫喜 | 齋藤芳子 |
| 日義 | | | | | | | | | | 齋藤芳子 |
| 新開 | | | | | | | | | | 齋藤芳子 |
| 開田 | 明治四〇、八、一〇 | 五 | | | | | | 昭三年ヨリ毎年十一月 | 齋藤縫喜 | 齋藤芳子 |
| 王瀧 | | | | | | | | | 野中儀一 | 齋藤芳子 |
| 三岳 | | | | | | | | | 細澤儀一 | 齋藤芳子 |

東筑摩郡 36

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 賛助 | 計 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|-----------|-----|----|----|----|----|----|--|-------------------------------|----------------------|
| 大桑 | 明治三九、四、 | 二 | | 三 | 一三 | 一 | 一三 | | 市川圓次郎 | 仁科つとむ |
| 讀書 | | | | | | | | | 勝野節造 | 松原つとむ |
| 吾妻 | | | | | | | | | | |
| 山口 | | | | | | | | | | |
| 山立 | | | | | | | | | | |
| 田立 | | | | | | | | | | |
| 神坂 | | | | | | | | | | |
| 鹽尻 | 明治二二、五、一〇 | 二五 | 九 | 三〇 | 七四 | 二 | 七九 | 明四、一、五、一〇 昭三、三、四、一三 同四、三、四、一〇 同二、三、四、一三 同五、四、三、〇 同二、三、四、一三 同五、四、三、〇 同二、三、四、一三 | 堀内千蔵 堀内貫一郎 堀内右衛門 小松會 | 堀内きみ 有賀今朝江 中野乙 |
| 里山邊 | 明治四〇、 | 一〇 | | 二 | 二〇 | 一 | 二四 | 昭三、三、一七 | 丸山彌一郎 | 新井とうめ |
| 入山邊 | 大正六、三、 | 八 | 三 | 三 | 二九 | 一 | 三四 | 大六、三、一〇 昭六、三、三三 | 赤羽九馬市 | 田村とうめ |
| 本郷 | | | | | | | | | 降旗庄吉 | 豊島よしみ |
| 岡田 | 明治三六、三、 | 二 | 一 | 三 | 三九 | 一 | 四三 | 昭六、三、三三 | 原旗源重 | 丸山よしみ |

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 贊助 | 計 | 總會年月日 |
|----------------|-----------|-----|----|----|----|----|----|--------------|
| 溫田 | 明治〇〇、五、 | 三 | 一 | 二 | 六 | 一 | 一〇 | 昭二、一、三、五 |
| 三田 | 明治三六、四、三五 | 三 | 四 | 七 | 七 | 一 | 六 | 昭二、六、三、二七 |
| 小倉 | 昭和一〇、三、〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 | |
| 鳥川 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 高家 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 南穂高 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 西穂高 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 北穂高 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 有明 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 北安曇郡 17 | | | | | | | | |
| 大正 | 大正四、二、七 | 一三 | 七 | 七 | 五九 | 一 | 六三 | 大正四、二、七 (郡) |
| 池田 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭二、一、三、五 (郡) |
| 社田 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭二、一、三、五 (郡) |

二九三

創立當時役員
 福島 秀重
 平林 ちやう
 福島 幸重
 金原 たか

現在分會長
 福島 やう
 平林 すめ

中松村 津さき
 中岡 津さき
 丸山 数太郎
 降旗 数太郎
 飯田 まさほ
 高木 幸
 飯田 幸

二木 りやう
 石曾 根いせ
 二村 けさへ
 布山 けさへ
 飯田 みち
 竹内 ゆきみ

| 町村名 | 創立年月日 | 創立時 | 特種 | 特別 | 通常 | 贊助 | 計 | 總會年月日 |
|----------------|-----------|-----|----|----|----|----|----|------------------|
| 中山 | 明治四〇、七、一 | 三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 廣丘 | | 三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 芳川 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 坂井 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 南安曇郡 15 | | | | | | | | |
| 豊科 | 不詳 | 一 | 三 | 三九 | 五 | 一 | 四〇 | 昭二、五、 |
| 穂高 | 明治三三、三、二〇 | 三〇 | 一 | 六 | 三〇 | 一 | 三六 | 昭二、一、三、 |
| 安曇 | 明治三三、一、 | 一 | 一 | 一七 | 三六 | 一 | 三六 | 昭二、一、三、 |
| 梓 | 明治三六、三、 | 三 | 二 | 三 | 二九 | 四 | 三三 | 昭二、一〇、一〇 同三、四、一六 |
| 俊盛 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 明盛 | | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |

二九二

創立當時役員
 岡村 政雄
 三原 儀十郎
 望月 ちよ
 白井 壽恵
 等々力 もよ
 相馬 もとき
 川上 義雄
 上川 律恵

現在分會長
 三原 なかよ
 岡村 こし江
 白井 さかみ
 望月 たみ
 川上 年か
 齋藤 はる子
 前田 愛子
 三井 なるを
 金井 智榮の
 樽沼 宮尾

不詳

手塚 しま江
 保科 きん

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 篠ノ井 | 上田 | 力石 | 村上 | 更級 | 八幡 | 桑原 | 鹽崎 | 川柳 | 信田 | 牧郷 | 大岡 | 信級 | 日原 | 更府 |
| 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 明治 三、七、五、 | 昭和 七、四、一 | 昭和 七、四、一 | 昭和 七、四、一 | 昭和 七、四、一 | 昭和 七、四、一 | 昭和 七、四、一 |
| 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 |
| 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 | 三九六 |
| 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------------|----------------|----------------|------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 宮原和 山崎郡平 | 堀口万吉 塚田貞治郎 | 北川原申太郎 宮坂豊春 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 清水筆治 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 |
| 宮原和 山崎郡平 | 堀口万吉 塚田貞治郎 | 北川原申太郎 宮坂豊春 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 清水筆治 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 | 柳澤三太郎 宮島森太郎 |

二九五
吉澤馬太郎
宇都宮信衛
柳澤千代
中澤はつのみ
丸山

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 常盤 | 松川 | 會染 | 七貴 | 陸郷 | 廣津 | 八坂 | 美麻 | 平城 | 神城 | 北城 | 南谷 | 北谷 | 中土 | 稻荷山 |
| 明治 三、八、三、 | 明治 三、八、三、 | 明治 三、八、三、 | 明治 三、八、三、 | 明治 三、八、三、 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 | 昭和 一〇、一、二、四 |
| 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 | 二五〇 |
| 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 | 二五 |
| 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 | 同昭一、一、三五 同昭一、一、三五 |

| | | | | | |
|---------------|-------|------|---------------|-------|-------|
| 山崎善治 高田元一郎 | 遠藤八子壽 | 小林うめ | 山崎清江 横山やすみ | 茅野喜美江 | 平林かつゑ |
| 山崎善治 高田元一郎 | 遠藤八子壽 | 小林うめ | 山崎清江 横山やすみ | 茅野喜美江 | 平林かつゑ |

二九四
創立當時役員
現在分會長

| 町村名 | 創立年月日 | 員数 | | | | 總會年月日 |
|-----|------------|------|----|----|----|------------|
| | | 創立當時 | 特別 | 通常 | 贊助 | |
| 信里 | 明治〇〇、六、三〇 | 三 | 一 | 一 | 一 | 明治〇〇、六、三〇 |
| 共和 | 昭和二、四、一 | 六 | 一 | 三〇 | 一 | 昭和二、四、一 |
| 中津 | 昭和二、四、一 | 一 | 一 | 三〇 | 一 | 昭和二、四、一 |
| 御厨 | 昭和二、四、一 | 一 | 一 | 三〇 | 一 | 昭和二、四、一 |
| 川中島 | 大正三、七、一 | 五 | 一 | 三六 | 一 | 大正三、七、一 |
| 稻里 | 明治三三、一〇、一〇 | 一 | 一 | 三〇 | 一 | 明治三三、一〇、一〇 |
| 眞島 | 明治四〇、八、一〇 | 一〇 | 一 | 二八 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 小島田 | 明治四〇、八、一〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 青木島 | 明治四〇、八、一〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 東福寺 | 明治四〇、八、一〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 西寺尾 | 明治四〇、八、一〇 | 六 | 一 | 二五 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |

埴科郡 17

| 町村名 | 創立年月日 | 員数 | | | | 總會年月日 |
|-----|------------|------|----|----|----|------------|
| | | 創立當時 | 特別 | 通常 | 贊助 | |
| 信里 | 明治〇〇、六、三〇 | 三 | 一 | 一 | 一 | 明治〇〇、六、三〇 |
| 共和 | 昭和二、四、一 | 六 | 一 | 三〇 | 一 | 昭和二、四、一 |
| 中津 | 昭和二、四、一 | 一 | 一 | 三〇 | 一 | 昭和二、四、一 |
| 御厨 | 昭和二、四、一 | 一 | 一 | 三〇 | 一 | 昭和二、四、一 |
| 川中島 | 大正三、七、一 | 五 | 一 | 三六 | 一 | 大正三、七、一 |
| 稻里 | 明治三三、一〇、一〇 | 一 | 一 | 三〇 | 一 | 明治三三、一〇、一〇 |
| 眞島 | 明治四〇、八、一〇 | 一〇 | 一 | 二八 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 小島田 | 明治四〇、八、一〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 青木島 | 明治四〇、八、一〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 東福寺 | 明治四〇、八、一〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |
| 西寺尾 | 明治四〇、八、一〇 | 六 | 一 | 二五 | 一 | 明治四〇、八、一〇 |

| 創立當時役員 | 現在分會長 |
|--------|-------|
| 山崎嘉平 | 清水けさげ |
| 埴村象太郎 | 秋里つげ |
| 稲田義治 | 宮島喜美子 |
| 鳥田義治 | 宮島喜美子 |
| 色部しづ | 北原雅子 |
| 色部しづ | 安達はつ |
| 山崎重太郎 | 宮坂ちか |
| 宮坂敬藏 | 宮坂ちか |
| 瀬内要吉 | 飯島しげの |
| 竹内萬太郎 | 飯島しげの |
| 兒玉源八郎 | 宮本久喜 |
| 宮本靖雄 | 宮本久喜 |
| 柳澤多治郎 | 塚田むつ |
| 塚田多治郎 | 塚田むつ |
| 間庭しのぶ | 寺澤とよ |
| 眞田しよ | 眞田しよ |
| 横田しよ | 眞田しよ |
| 渡邊新治郎 | 山田獅子雄 |
| 新村寅治郎 | 山田獅子雄 |

| 創立當時役員 | 現在分會長 |
|--------|-------|
| 齋藤善治 | 中村としげ |
| 齋藤善治 | 中村としげ |
| 北村儀藏 | 北村富美子 |
| 北村儀藏 | 北村富美子 |
| 青木市藏 | 青木善尾 |
| 青木市藏 | 青木善尾 |
| 馬場義雄 | 若林ふさ |
| 馬場義雄 | 若林ふさ |
| 西澤なをい | 小出あやじ |
| 西澤なをい | 小出あやじ |
| 川島あ | 羽生田銀助 |
| 川島あ | 羽生田銀助 |
| 鳥田嘉三郎 | 小出あやじ |
| 鳥田嘉三郎 | 小出あやじ |
| 小風重義 | 宮下憲雄 |
| 小風重義 | 宮下憲雄 |

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------|------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 井上 | 高甫 | 仁禮 | 豊丘 | 日野 | 豊洲 | 日流 | 高井 | 山田 | 都住 | 小布施 |
| 創立年月日 | 昭和三十九年九月一日 | 昭和三十九年九月一日 | 明治四十年八月十日 | 明治四十年八月十日 | 明治四十年八月十日 | 昭和八年二月三日 | 昭和八年二月三日 | 明治三十八年六月三十日 | 明治四十年二月一日 | 昭和十一年五月一日 |
| 創立時 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 七 | 六 | 六 | 六 | 一〇 |
| 特別 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 現員 | 三 | 三 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 四 | 七 |
| 通常 | 二〇 | 二〇 | 二 | 二 | 二 | 一五 | 一四 | 一 | 一六 | 二七 |
| 贊助 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 在計 | 二〇 | 二〇 | 三 | 三 | 三 | 一七 | 一五 | 二 | 一七 | 二八 |
| 總會年月日 | 昭和三十九年五月四日 | 昭和三十九年五月四日 | 明治四十年三月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 明治四十年三月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 昭和三十九年五月五日 |

下高井郡 20

二九九

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 創立當時役員 | 柳澤周平 | 中村貞之助 | 篠塚梅吉 | 市川欣二 | 宮川欣二 | 植木新太郎 | 遠山茂太郎 | 宮前たまき | 太田まさき | 勝山まさき | 宮川順吉 | 久保田啓吉 | 浦井重右衛門 | 田中慶次郎 | 神戶徳次郎 | 市川文三郎 | 池田文三郎 |
| 現在分會長 | 井上つよ | 中村せん | 柄澤ぜん | 青木菊榮 | 青木菊榮 | 浅井フサノ | 三木むつ子 | 依田琴治 | 宮前たまき | 黒岩まつの | 久保田とわ | 北島たつ | 田中たつ | 北島たつ | 市渡村とも | 市渡村とも | 池田文三郎 |

| | | | | | | | | | |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 雨宮縣 | 清野 | 西條 | 東條 | 豊榮 | 寺尾 | 須坂 | 保科 | 川田 | 綿内 |
| 創立年月日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 | 明治三十五年三月五日 |
| 創立時 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 特別 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 現員 | 四 | 四 | 四 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 通常 | 二六 | 二六 | 二六 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 贊助 | 三 | 三 | 三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 在計 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 |
| 總會年月日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 | 昭和三十九年五月五日 |

上高井郡 15

二九八

| | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|
| 創立當時役員 | 志津かね志 | 廣瀬のぶ | 佐藤ハル子 | 柄澤ハル子 | 井口文治 | 青松角治 | 村松角治 | 岡澤三郎 | 小池與三郎 |
| 現在分會長 | 小出よし | 齋藤ふじい | 上原なみ | 八木澤クメ | 北澤クメ | 柳澤うめ | 伊藤うめ | 岡澤はる | 岡澤はる |

上水内郡 29

| 町村名 | 創立年月日 | 創立當時 | 特種 | 現員 | 特別 | 通常 | 賛助 | 在 | 數 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|----------|------|----|----|----|----|----|---|---|----------|--------|-------|
| 長丘 | 明治三九、三、三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治三九、三、三 | 江口啓之助 | 須藤とく |
| 科野 | 明治三九、三、三 | 三 | 一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治三九、三、三 | 浦野武八 | 豊田たけし |
| 倭 | 明治四〇、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、二、二 | 松本たよし | 武田とら |
| 木島 | 昭和八、七、四 | 六 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和八、七、四 | 關はいの | 佐藤はつね |
| 上木島 | 明治四〇、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、二、二 | 關はいの | 佐藤はつね |
| 往郷 | 明治四〇、二、二 | 三 | 一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、二、二 | 岩井教祐 | 成田照枝 |
| 穂高 | 明治四〇、八、八 | 四 | 一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、八、八 | 芳山よしう | 藤澤すな |
| 瑞穂 | 大正六、二、一 | 二五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 大正六、二、一 | 川久保たね | 宮崎千代 |
| 豊郷 | 明治三九、一、一 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治三九、一、一 | 河野房吉 | 片桐朴子 |
| 市川 | 大正九、八、八 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 大正九、八、八 | 樋口徳治 | 齋藤雪枝 |

| 町村名 | 創立年月日 | 創立當時 | 特種 | 現員 | 特別 | 通常 | 賛助 | 在 | 數 | 總會年月日 | 創立當時役員 | 現在分會長 |
|-----|------------|------|----|----|----|-----|----|---|---|------------|--------|-------|
| 中野 | 明治三六、一〇、一〇 | 三〇 | 一 | 四二 | 一 | 四六三 | 一 | 一 | 一 | 明治三六、一〇、一〇 | 近山久子 | 頓所ちか |
| 延徳 | 昭和八、七、七 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和八、七、七 | 傳林しん | 鈴木ちか |
| 高丘 | 明治四〇、二、二 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 明治四〇、二、二 | 宮崎わか | 青木エツ |
| 平野 | 昭和四、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和四、二、二 | 北原徳兵衛 | 丸谷より |
| 日野 | 昭和四、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和四、二、二 | 高見澤龜吉 | 丸谷より |
| 穂波 | 昭和四、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和四、二、二 | 北原徳兵衛 | 丸谷より |
| 平稔 | 昭和四、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和四、二、二 | 山本喜雨 | 宮崎をり |
| 夜間瀬 | 昭和四、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和四、二、二 | 山本喜雨 | 宮崎をり |
| 平岡 | 昭和四、二、二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 昭和四、二、二 | 町田文治郎 | 山田ちよ |

| 町村名 | 創立年月日 | 創立當時 | 現員 | 在 | 總會年月日 |
|-----|---------------|------|----|-----|---|
| 大豆島 | | | | | |
| 朝陽 | | | | | |
| 柳原 | 明治 三六、四、三〇 | 一六 | 二 | 二〇七 | 昭二、二、三 大、四、二、三 同、五、一〇、一九 |
| 長沼 | | | | | |
| 鳥居 | 昭和 二、四、 | 七 | 六 | 三七六 | 昭二、四、一 同、三、五、二六 同、四、一、一六、四、五、九 |
| 神郷 | 明治 三九、八、一 | 五 | 一九 | 四八八 | 昭〇、一、二七 同、二、四、〇 同、三、五、六 同、四、一〇、三、六 |
| 古里 | 明治 四〇、七、一〇 | 七 | | | |
| 若槻 | | | | | |
| 浅川 | | | | | |
| 高岡 | 大正 一五、二、 | 五 | 二 | 一三七 | |
| 中郷 | 明治 四〇、七、三〇 | 六 | 八 | 三二四 | 昭三、三、九 |

創立
當時
特維
特別
通常
賛助
計

總會年月日

創立當時役員
現在分會長

| | |
|---------|--------|
| 池田 友之助 | 池田 友之助 |
| 青山 左馬允 | 青山 左馬允 |
| 高橋 せき | 佐藤 好野 |
| 小林 せき | 佐藤 好野 |
| 木田 壽代 | 佐藤 好野 |
| 佐藤 彌吉 | 佐藤 好野 |
| 大草 彌吉 | 佐藤 好野 |
| 磯水 千代 | 佐藤 好野 |
| 岡本 千代 | 佐藤 好野 |
| 倉鳥 千代 | 佐藤 好野 |
| 久保田 高太郎 | 佐藤 好野 |
| 山口 千代治 | 佐藤 好野 |
| 中村 厚 | 佐藤 好野 |
| 松本 まさ子 | 佐藤 好野 |
| 峯村 よし | 佐藤 好野 |

三〇三

| | | | | | |
|-----|---------------|----|----|-----|-------------------------------|
| 三水 | | | | | |
| 信濃尻 | 明治 四〇、 | 一七 | | | |
| 柏原 | | | | | |
| 古間 | 明治 四〇、四、一 | 三 | 六 | 一八七 | 昭二、四、九 |
| 富士里 | 明治 三八、三、九 | 四 | 八 | 三三〇 | 大、四、一、二九(聯合) 昭、四、四、三九(四ヶ村) |
| 芋井 | | | | | |
| 戸隠 | | | | | |
| 柵 | 明治 四〇、三、九 | 六 | 三〇 | 三三 | 每年五月第三日曜 |
| 鬼無里 | 明治 四〇、二、三 | 三 | 二 | 一七〇 | 大、四、二、一九 |
| 北小川 | 昭和 一〇、三、二二 | 六〇 | 一 | 五 | 昭三、五、一八 |
| 南小川 | | | | | |
| 津和 | | | | | |
| 水内 | | | | | |
| 榮水 | | | | | |

三〇二

| | | | |
|---------------|---------|-----|-----|
| 日里 | 七二會 | 小田切 | 安茂里 |
| 創立年月日 | 大正一〇、一〇 | | |
| 創立當時特維特別通常贊助計 | 二〇〇 | | |
| 現員數 | 一九 | | |
| 總會年月日 | | | |
| 創立當時役員 | 小林 信一 | | |
| 現在分會長 | 渡内 山岡三 | | |

下水内郡 10

| | | | | | | | |
|---------------|--------|----|--------|--------|-----------|----------|--------|
| 町村名 | 飯山 | 豊井 | 永田 | 秋津 | 常盤 | 柳原 | 外様 |
| 創立年月日 | | | 昭和八、一〇 | 明治三七、四 | 昭和二〇、七、一五 | 明治二〇、四、一 | |
| 創立當時特維特別通常贊助計 | | | 一〇六 | 二 | 一三 | 二七 | |
| 現員數 | | | 一九 | 三 | 六 | 三 | |
| 總會年月日 | | | 昭和〇、五 | 明治三、三〇 | 昭和一〇、七、一五 | | |
| 創立當時役員 | 永井 よし子 | | 阿部 傳次郎 | 小野 澤吉 | 木内 とき | 井上 みき尾 | 古谷 きのぶ |
| 現在分會長 | 町田 美津江 | | 石川 みづめ | 萩原 まつみ | 丸山 たけの | 阿部 満枝 | 萩原 とみ |

| | | | |
|---------------|---------|-----------|--------|
| 市名 | 太田 | 岡山 | 水内 |
| 創立年月日 | 昭和九、二、五 | 明治三七、二、一七 | |
| 創立當時特維特別通常贊助計 | 一〇 | 五 | |
| 現員數 | 六 | | |
| 總會年月日 | | | |
| 創立當時役員 | 水野 野さく環 | 藤巻 源藤二 | 宮崎 喜三郎 |
| 現在分會長 | 高野 博子 | 米持 喜兵衛 | 風間 英二 |

長野市

| | |
|---------------|---------|
| 市名 | 長野 |
| 創立年月日 | 大正二、五、一 |
| 創立當時特維特別通常贊助計 | 一、七、三 |
| 現員數 | 九三 |
| 總會年月日 | 昭和三、一、二 |
| 創立當時役員 | 丸山 辨三郎 |
| 現在分會長 | 高野 伊子 |

松本市

| | |
|---------------|---------|
| 市名 | 松本 |
| 創立年月日 | 明治三五、六 |
| 創立當時特維特別通常贊助計 | 二〇〇 |
| 現員數 | 七六五 |
| 總會年月日 | 昭和九、八、八 |
| 創立當時役員 | 加藤 ちとせ |
| 現在分會長 | 百瀬 ちとせ |

上田市

上田

大正
八、九、三五

七六

三三

二三

一、三五九

九

一、五〇四

大正二、三、三
昭三、一〇、三三

同二四、四、七

河合はさり
鈴木いさり
勝木

河合はよる
成澤

飯田市

飯田

明治八、

一

二

九三

一、一七五

一七

一、三六七

大正三、四、五
昭二、二、五

一

野原きぬ

岡谷市

岡谷

委員區
大正三、四、一

五六三

一

五五三

一、八七三

一

二、四三七

昭三、五、三
同八、五、三
同七、七、七
同五、四、六

中村みとり
小口さき
小武花代

高橋ふよ
野村江津

昭和十六年十二月二十日印刷
昭和十六年十二月二十日發行

編輯
發行人

長野市南縣町

愛國婦人會長長野縣支部

印刷人

長野市妻科一七三番地

飯田忠

印刷所

長野市南縣町六五七番地

信濃毎日新聞社印刷部

發行所 長野市南縣町
愛國婦人會長長野縣支部



